中隊陣地前ニ出ス監視部隊教育計畫（其一、其二）

情況

各小隊ハ夫々所命ノ位置ニ分進シ其任務ニ着手ス

11 **防禦配備ニ就カシメタル後ノ中隊長ノ必要ナル處置**

處置トシテ第八研究ノ命令ニ次ノ諸項ヲ補足ス

七、特務曹長ハ中隊長ト各小隊長間ニ遞傳ヲ配置シ且中隊ノ陣地占領要圖ヲ調製スヘシ

八、曹長ハ中隊ト大隊間ニ連絡兵ヲ配置シ大隊本部ニ在リテ連絡ニ任スヘシ

九、某軍曹（給與掛）ハ火網内ノ各要點ニ至ル距離ヲ測量シ要スレハ距離ノ基準トナルヘキ箇所ニ標識ヲ設置シ其要圖ヲ調製スヘシ

十、第三小隊ヨリ笠松附近ニ監視哨要員トシテ二名ヲ出セ

十二、中隊長ハ第一小隊方面ヨリ巡視ノ後大松高地ニ在リ

情況

中隊長ハ聯備隊長ニ自己ノ意圖ヲ示シテ大松高地上ニ射撃設備ヲ命シ右支點ヨリ逐次ニ陣地細部ノ觀察ヲナス

中隊長ノ支點細部ノ配備觀察上ノ着眼及處置

中隊長ハ配備ノ完全ヲ期スルタメ支點細部ノ配備ヲ觀察シ要スレハ之ニ一部ノ修正ヲ加ヘ又ハ支點ノ配備ニ關シ所要ノ指示ヲ與フ（歩操三二五）

一、右支點ニ就キ

1. 自己ノ火器ヲ以テ支點ノ前地ヲ側防セシム

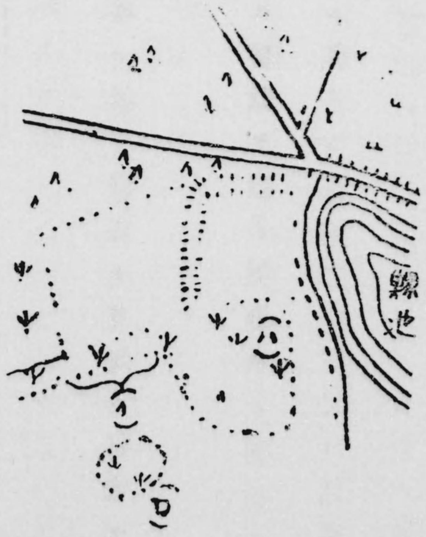
敵ノ近接時自己ノ輕機ヲ以テ火線直前ヲ側防スルトキハ隊池ト支點間ニ自動火器ノ威力ヲ及ホスコト能ハス聯備隊ヨリ輕機一分隊ヲ增加セルハ此缺點ヲ補ハシムルタメナルコトヲ示ス

2. 右支點ト僞陣地トノ關係並ニ兩者僞裝ノ程度
中隊陣地ノ位置ハ遠方ヨリ觀察スルモ臺上ニ在リテ
最モ明瞭ナルヲ以テ其僞裝ニ充分ノ注意ヲ拂ヒ且僞
陣地ハ半僞裝トシ敵ノ火力ヲ誘致スル如クス

3. 鰍池西方ノ小松叢ニ對スル射撃及之カ爲擲彈筒ノ用
法（歩操二一八〇）
此地點ハ敵ノ我ニ近ク遮蔽ヲ求メテ近接シ攻撃ノ重
點ヲ形成スル所ナルモ小銃輕機ノ火力ヲ充分發揚シ
得ラレサルニヨリ擲彈筒ヲシテ之ニ對シ射撃セシム
而シテ其陣地ハ射程ノ關係上要スレハ僞陣地ニ通ス

ル交通壕附近ニ選定セシム

4. 敵ノ遮蔽ニ利用スヘキモノノ排除
右ノ目的ノ爲ニハ充分ノ時間ト作業人員ヲ有セサル
ヲ以テ全地域ヲ排除スル能ハス故ニ特ニ重要ナルモノヨリ實施ス即チ下圖（イ）（ロ）（ハ）ノ順序ニ行フ



13 中隊長大松高地ニ歸還後ノ處置

一、監視部隊ヲ配置ス

監視部隊ノ位置、兵力、任務ハ第十研究ニヲ既ニ研究セリ

二、中隊ノ防禦配備ヲ大隊長ニ要圖ヲ以テ報告ス

三、中隊ノ逆襲計畫ヲ大隊長ニ報告シ且第二中隊長ニ通報ス

14 小隊長トシテ中隊長ヨリ任務受領後直ニ爲スヘキ處置

一、先ッ配備ニ關スル概要ノ腹案ヲ示ス

二、左支點長ト協定ヲナス

即チ互ニ支點ノ前緣、翼、配備スヘキ區域、側防ノ關係ヲ現地ニ就キテ通報ス

三、小隊ヲ支點ノ後方ニ招致シ爾後ノ準備ヲナサシム

陣地占領ノ爲ノ小隊長ノ動作

之カ爲ニ下ス命令ノ一例

某軍曹(先任下士)ハ小隊ヲ笠松臺ノ東方十字路附近ニ

引率シ器具ヲ下シ置クヘシ

尚標兵トシテ各分隊ヨリ卒一名(十字鍬手)ヲ小隊長ノ許ニ出セ

四、陣地ヲ偵察ス

傳令トシテ喇叭手一ヲ伴ヒ陣地ヲ偵察シ配備ヲ決定ス

15 **小隊長ノ防禦計畫**

小隊長ハ狀況ノ許ス限リ綿密ニ地形ヲ偵察シ左ノ事項ヲ決定ス(歩操二七九)

一、防禦配備計畫 { 火網ノ決定 / 火線ニ出スヘキ分隊及其占領スヘキ位置並ニ射撃區域 / 援隊ノ配置

二、防禦戰鬪計畫 戰況ノ推移ニ應シ取ルヘキ處置

三、防禦工事 工事ニ關スル事項

小隊長ノ防禦配備計畫上ノ着眼

一、小隊ノ火網構成（歩操二八〇）

右支點直前ノ地區ハ鰥池ノ東側ヨリスル機關銃ノ側防火及第二中隊ノ右地區ヨリスル輕機ノ側防火ニヨリ援助セラルルカ如キモ此附近ノ地形タルヤ左圖ノ如ク恰モ兩膝ヲ開キタルカ如キ狀ヲナシ兩側方ヨリスル火力ハ其股間ノ如キ箇所ニ及ハサルノ狀態ニアリ然ルニ小隊ハ重要ナル支點トシテ獨立性ヲ帶ヒサルヘカラサルヲ以テ自己ノ輕機ヲ以テ各正面ヲ側防シ得ル如ク配備シ豫備隊ヨリ增加ノ輕機一分隊ハ終始鰥池西南側ニ對

シ射撃ヲ準備セシムルヲ可トス而シテ鰥池西方小松叢ノ地域ハ小銃輕機ノ火力ヲ發揚スルニ困難ナル箇所ナルヲ以テ擲彈筒ノ特性ヲ發揮セシムル如ク使用ス之カ爲第一線右分隊附近ニ其陣地ヲ構築セシムルヲ要ス

二、火線ニ出スヘキ分隊ノ占ムヘキ位置及射撃區域（歩操二八一、二八二、二八六）

南森ハ撒毒地帶トナシ且曲射歩兵砲ノ射撃ヲ豫メ準備シ置クモ敵カ南森南方ノ開濶地ヲ避ケ南森ニ侵入スル場合アルコトヲ顧慮シ第一線右分隊ヲシテ之ニ應シ得ルノ準備ヲナサシメ置クヲ必要トス

輕機ハ敵ノ陣地前至近ノ距離ニ來リシ時特ニ右方ノ輕機ヲ以テ左第一線分隊ノ直前ヲ左方ノ輕機ヲ以テ右第一線分隊ノ直前ヲ側防セシムル意圖ヲ有スルヲ以テ最初ヨリ交叉スル如ク斜射セシム

小隊ノ射撃區域ノ後端ハ小松原街道ヲ基準トシテ明瞭ニ指示シ得ヘク而シテ小隊ノ占ムヘキ地點ハ地形上全

般的ニ突出シ左支點ヨリ早ク敵ニ近迫セラルルノ慮レアルヲ以テ勉メテ其位置ヲ後退セシメ之カ爲其前地ニ生スヘキ死角ハ擲彈筒ヲ以テ消滅スルヲ要ス

三、援隊ノ配置（歩操二八一、二八三）

援隊ノ火線補塡ハ第一線兩分隊陣地間ニ十分ノ間隔アルヲ以テ一分隊ハ此處ニ豫メ陣地ヲ作リ置キ補塡ノ要アレハ此處ニ據リテ射撃セシメ直接第一線兩分隊ノ陣地ヘ增加スルコトナク以テ部隊ノ混亂ヲ防キ且待機間ノ掩護ニ利用セシムルヲ要ス

他ノ一分隊ハ左支點及其前地ニ對シ射撃シ得ル如ク陣

地ヲ構築セシメ笠松臺ノ東斜面ニアリテ待機セシム

右支點ノ配備（附圖第四參照）

一、第一線各分隊ノ配備

1. 右小銃分隊ノ配備（イ）

右分隊ノ位置ハ地形上左分隊ニ比シ突出シアルヲ以テ之ヲ顧慮シ若干前面ニ死角ヲ生スルモ出過キサル樣注意ヲ要ス

敵カ南ノ森南側開濶地ヲ避ケ南ノ森ニ侵入シ來ル場合ヲ顧慮シ右翼ヲ右折シ鉤形トナシ鰥池西側地區ヲモ射撃シ得ル如ク配備ス

2. 左小銃分隊ノ配備（ロ）

擔任セル射撃地區ニ對シテハ此附近ニテ前後左右何レニ位置スルモ大差ナキヲ以テ地形上工事ノ容易ナルコトヲ顧慮シテ選定ス但シ左支點トノ關係上突出セサルヲ可トス

3. 左輕機關銃分隊ノ配備（ハ）

此陣地ハ左小銃分隊ノ陣地ニ近接シ過クル感アルモ後退スル時ハ陣地直前ニ死角ヲ生ス而シテ左小銃分隊ノ位置ヨリ北方ニ離ルヽニ從ヒ右小銃分隊陣地前ノ射撃困難トナル

敵ノ集中火ヲ避クルタメ又戰況ノ推移ニ應シ且ハ左支點ノ火力援助ノタメ豫備陣地(ニ)ヲ構築セシム此位置左ニ偏スルニ從ヒ重機關銃ノ射撃ヲ防ク

4. 中央輕機關銃分隊ノ配備（ホ）

イ、主トシテ小隊ノ左方面ヲ側射シ得ル如ク配置ス

ロ、此分隊ハ右小銃分隊ヨリ勉メテ後方ニ離隔シテ位置セシムル如クスルモ笠松ニ近ツキ敵ノ射撃ヲ容易ナラシムル如キコトナキヲ要ス　此地ハ敵ノ重火器ニ探求セラレ集中火ヲ受ケ易キヲ以テ(一)ノ位置（歩操二四一）ニ豫備陣地ヲ設ク此陣地ハ後方約五米ノ所ニ天然ノ交通壕有リテ委勢ヲ低クスルコ

トニヨリ遮蔽シテ笠松後方ヲ經テ到リ得ヘシ

5. 右輕機關銃分隊ノ配備（ト）

此分隊ハ主トシテ鰌池西側地區ヲ射撃スルヲ任トス之カタメ前面鰌池西側地區ハ敵カ近接スル程射界廣クナリ射撃時間ニ餘裕アルヲ顧慮シナルヘク後退位置セシム

而シテ戰況ノ推移ニ應シ小隊左方面ノ火力援助ヲ要スル場合及逆襲ノ際ヲ顧慮シ豫備陣地（チ）ヲ構築ス

逆襲ハ支點ノ右翼方面ヨリスルモ左翼方面ヨリスルモ充分火力ヲ發揚シ得ヘシ

二、援隊ノ各分隊配備

援隊タル兩分隊ノ位置（リ）

此所ニ掩壕ヲ作リ射撃設備ヲナス之レ支點ニ於ケル最高所ニシテ敵ノ我支點内ニ進入セントスル時之ヲ逆襲スルニモ火線ヲ補塡スルニモ便ナルヲ以テナリ

而シテ戰況ノ推移ニヨリ火線ノ補塡ヲ要スル場合ヲ顧慮シ（ヌ）ノ位置ニ散兵壕ヲ構築ス

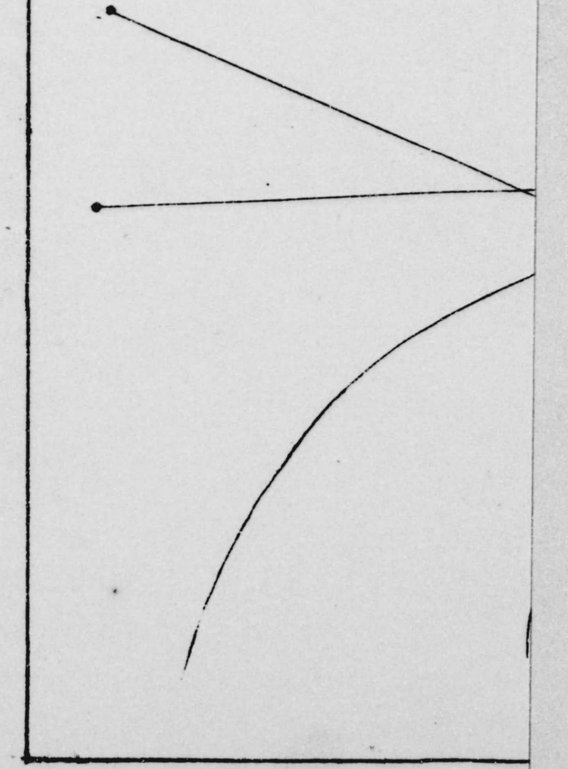
三、擲彈筒ノ配備

戰鬪ノ初期ニ於テ南ノ森内ニ行動ヲ準備スル敵ヲ妨害スルタメ（イ）陣地附近ニ配備シ右分隊前面ノ死角

ヲ消滅セシムル如ク配備ス

擲備隊ヨリ配属セラレタル擲弾筒ハ小隊長ノ附近(ヌ)

ニ配備シテ主トシテ左小銃分隊前面ノ死角ヲ消滅ス



笠松台附近右支吳配備要圖

18 **小隊長カ防禦配備ニ就カシムル爲示スヘキ事項**

小隊長ハ部署ヲ決定セハ分隊ヲ其占ムヘキ位置ニ進メ配備ニ就カシム（歩操二八五）

一、小隊長ノ各分隊ニ對シ其任務ノ履行ヲ容易ナラシムルタメ示スヘキ必要事項

自己ノ企圖
友軍ノ關係
前方ノ地形
其他所要ノ事項

二、小隊長カ分隊ノ占ムヘキ位置ニ於ヲ分隊長ニ與フル任務

分隊ノ占領スヘキ位置

分隊ノ射撃區域

三、小隊長ハ爾後細部ノ配備及準備ヲ整ヘシムルタメ所要ノ指示ヲ與フ

19

小隊長カ分隊ヲ其占ムヘキ位置ニ分進セシムルニ當リ下スヘキ合同命令

第一小隊命令　九月一日午前八時三十分　於大松高地

一、小隊(第三小隊ノ輕機一分隊ヲ屬セラル)ハ右支點トナリ笠松ノアノ標兵ヨリ概シテ防界線ニ沿ヒアノ標兵ニ亘ル間ニ陣地ヲ占領シ主トシテ南森ノ東方及南方林縁及アノ突端ヲ經テ小松原街道トアノ地隙ノ交點ニ亘ル間ヲ射撃シ得ル如ク火網ヲ構成セントス

敵ノ近接時我陣地直前ハ鰍池東北側ヨリ機關銃ヲ以テ又第二中隊右翼地區ヨリ輕機一分隊ヲ以テ側防セラルル筈

二、右ヨリ配属軽機、第一、第五、第二、第六分隊ノ順序ニ火線
第三、第四、分隊ハ援隊
配属軽機分隊ハアノ標兵ノ居ル所ニ到レ
第一分隊ハアノ標兵ノ居ル所ニ到レ
第五分隊ハアノ標兵ノ居ル所ニ到レ
第二分隊ハアノ標兵ノ居ル所ニ到レ
第六分隊ハアノ標兵ノ居ル所ニ到レ
第三分隊ハアノ標兵ノ居ル所ニ到レ
第四分隊ハアノ標兵ノ居ル所ニ到レ
射方向其他細部ノ指示ハ現地ニ於テ示ス

三、各分隊ハ背嚢ヲ下シ携帯僞裝網ヲ着用シ立射用散兵壕ヲ構築スヘシ
爾後ノ工事ハ別命ス
四、餘池西方小松叢ノ狹長部ハ第四分隊之カ清掃除去ニ任スヘシ
五、濃煙中ニ於ケル射撃材料ハ後刻分配ス
僞陣地ノ構築ハ中隊ノ豫備隊之ニ任スル筈

小隊長カ各分隊ノ位置ニ到リ順次ニ與フヘキ任務

「配屬輕機分隊」

主トシテ鰊池西方小松叢及其南方地區ヲ射撃シ得ル如ク此地點ニ陣地ヲ占領スヘシ

尙狀況ノ變化ニ應シ左支點前ヲ射撃シ得ル如ク又逆襲ノ際ヲ顧慮シアノ地點ニ豫備陣地ヲ構築スヘシ

「第一分隊」、

鰊池西方小松叢ヨリ南森各南端及アノ突端ヲ經テアノ地點(後刻標識ヲ設ク)ニ亘ル間ヲ射撃シ得ル如ク此線ヲ占領スヘシ

「配屬擲彈筒」

第一分隊ノ後方小松叢ニ對シニ射撃設備ヲナスヘシ

「第五分隊」

主トシテ南森ノ突角以南ノ地區ヲ射撃シ敵ノ陣地直前ニ來リシ時第二分隊ノ前面ヲ側防シ得ル如ク此地點ニ陣地ヲ占領スヘシ

尙同一目的ヲ以テ援隊ノ豫備陣地ノ右翼ニ豫備ノ陣地ヲ構成スヘシ

「第二分隊」

南森ノアノ突角ヨリ小松原街道ノアノ地點ニ亘ル間ヲ

射撃シ得ル如ク此線ヲ占領スヘシ

飛行臺ニ有利ナル目標ヲ發見セハ狙撃スヘシ

又戰況ノ變化ニ應シ南森ノ各南端ヲ射撃シ得ル如ク設備スヘシ

「第六分隊」

綵池西方小松叢及南ノ森ノ各南端特ニ其突角ヲ射撃シ敵カ陣地直前ニ來リシ時第一分隊ノ前面ヲ側防シ得ル如ク此地點ニ陣地ヲ占領スヘシ

同一目的ヲ以テ第二分隊ノ左翼ニ豫備陣地ヲ構築スヘシ

「第三分隊」

支點ノ前地ヲ射撃シ得ル如ク豫備陣地ヲ此處ニ構築スヘシ

「第四分隊」

小松叢ノ一部ヲ清掃シタル後此線ニ掩壕ヲ構築シ且前面ニ對シ射撃ノ設備ヲナスヘシ

一、主要ナル地點ニ至ル距離ノ測定及標示

小隊長ハ射撃ノ統轄上最初ノ射撃開始ニ於テ敵線ニ至ル距離ヲ示スノ要アルヲ以テ其距離ヲ精確ニシ且直接射撃指揮ニ任スル分隊長ノ距離測量ヲ容易ナラシムル目的ヲ以テ距離ヲ測定シ且標示ス

即チ小隊射撃區域ノ左端及五百米四百米三百米ノ地點ニ標識ヲ設ケ距離ヲ測定シ要圖ニ調製シ分隊長ニ頒ツ

二、前方ノ要點ニ簡單ナル名稱ヲ附ス

尚名稱ヲ附スルノ外ニ機關銃射撃ノ如ク基點ヲ利用ス

第一基點　孤立小松叢

第二基點　南森ノ南突角

第三基點　右支點射撃區域ノ左端ノ標識

22 小隊長ノ指揮位置ニ歸還後爲スヘキ處置

一、連絡

音聲ヲ以テスル外ニ網ヲ張リ筆記セシモノヲ送達ス

遮蔽シテ交通シ得ル設備ヲ講ス

二、配備ヲ要圖ヲ以テ中隊長ニ報告ス

三、支點ノ後方ニ陣地ヲ構築スル機關銃小隊長ト連絡ス

四、中隊長巡視シ來ラハ現地ヲ指示シテ配備ヲ報告ス

23 陣地占領ノ爲ノ分隊長以下ノ動作

火線ニ任スル小銃(第二)分隊ノ陣地占領ノ動作

一、小隊長ヨリ分隊ノ占領スヘキ位置ノ指示ヲ受ケ其位置ニ就ク動作

1. 占領スヘキ地點ニ分隊ノ誘導法

一列縱隊ヲ以テ或ハ一列橫隊ノ儘斜行進ヲ以テ其位置ニ前進ス

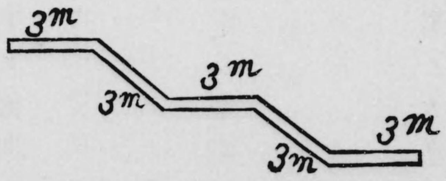
2. 到着後ノ姿勢

占領スヘキ地點ノ後方約八歩ノ處ニ一列橫隊

3. 工事着手ノ準備ヲナス
小圖匙手ト小十字鍬手トヲ區分ス
4. 僞裝材料ノ蒐集
小十字鍬手一名ヲ使用シ鰊池附近ヨリ青草小樹枝等ヲ蒐集ス
5. 小隊長ノ來着ヲ待ツ間綿密ニ地形ヲ偵察ス

ニ 小隊長ヨリ分隊ノ任務ヲ與ヘラレテヨリ掩体ノ完成迄

1. 散兵配置ノ計畫（歩操二三四、二三五）
正面射ノ外ニ狀況ノ變化ニ應シテ射撃ヲ準備スヘキ南森南線ニ對スル陣地ハ測點高地ヨリスル敵ノ火器殊ニ重火器ニ對シ全ク縱射セラルルヲ以テ左ノ如ク梯次ニ配置ス
此經始ハ第五分隊ノ分隊正面前ニ施ス
側防火ノ威力ヲ益々大ナラシムルコトナル
2. 散兵壕ノ經始法（築敎二九、三〇）
散兵配置ノ計畫ニ基キ其前緣ヲ標示ス之カ爲ニハ標兵ヲ補助トシテ用ス
3. 散兵ノ誘導配列（築敎三五）
散兵ハ正面ニ對スル經始線ノミニ配置ス即チ小十字



鍬手ヲ除キ小圓匙手ノミ九名ヲ三名宛ノ三組トシ逐次ニ誘導シ片手間隔ニ配列シ各三米ノ壕ヲ堀開スル如ク一名宛約一米ノ工區ヲ作ラシム

4. 工事ニ着手セシム

胸墻ノ高サ〇米五〇(築敷附圖第二、立射用散兵壕)及壕幅一米二〇ヲ示シ工事ニ着手セシム

5. 工事ヲ監督指導ス(築敷三一)

器材ノ配當(小十字鍬)作業手ノ配置及作業ノ方法ヲ適當ナラシム

6. 敵情監視(歩操二三七)

自ラ敵情ニ注意シ要スレハ小十字鍬手ヲシテ敵情ノ監視ニ任セシム

三、掩体略ゝ完成後ヨリ附屬設備完了迄

1. 工事(歩操二三六)

イ、上空並ニ地上ノ敵ニ對シ除積土部ニ僞裝ヲ施ス(築敷一七三、一七四)

ロ、敵ノ實施スル煙幕射撃ニ對シ我射撃ヲ中止セサルノ設備ヲナス　即チ銃ノ射線ヲ規正シ且銃口ノ扛起ヲ豫防ス

2. 散兵ノ射撃ヲ適切ニシ且分隊ノ射撃指揮ヲ容易ナラ

シムル爲ノ有ユル手段

3. 距離ノ測定ハ小隊長ノ指示セヲレシモノアレハ直接射撃指揮ニ任スル分隊長トシテ狀況ノ變化ニ際シ南森ノ南緣ヲ射撃スヘキコトヲ顧慮シ之ニ對シ距離ヲ測定シ標示ノ要アリ

四、陣地完成後ヨリ戰鬪開始迄ノ待機間

1. 監視兵ヲ命シ前地ノ視察ヲ怠ラシメス他ハ壕内ニ遮蔽セシム
2. 隣分隊長及小隊長トノ連絡ニ關スル規定ヲ承知ス
3. 爾後ノ工事即チ遮蔽交通設備ヲナス等ヲ小隊長ノ命令ニヨリ實行ス

輕機關銃分隊ノ陣地占領ノ動作

一、射撃位置ノ占領並工事

1. 一般動作ハ小銃分隊ニ準ス（第二十三研究參照）
2. 輕機關銃掩體ノ經始並ニ隣面ハ築敎附圖三二、三三、三四ニ據ル
3. 彈藥手ノ掩體ハ彈藥補充ニ便ニシテ相互ノ連繫容易ナル如ク且正面ノミナラス敵兵近迫スルニ及ヒ之ニ對シ特ニ威力ヲ發揚スヘキ我輕機關銃ノ射撃位置ノ側面ヲ掩護シ得ル如ク經始スルヲ要ス（步操二四二）
4. 射撃位置ニ近ク彈藥集積所ヲ構築ス又銃ノ手入ニ便

ナル様壕内ニ餘地ヲ設クルコト必要ナリ（歩操二四二）

二、豫備陣地ノ構築要領

先ッ占領陣地構築ノ部署ヲナシ工事實施ニ着手セシメ其間ニ豫備陣地ノ經始其他ノ研究ヲナシ前者ノ工事相當ニ進捗ノ後其一部ノ人員ヲ以テ工事ニ着手セシム

射界ノ清掃ニ任スル分隊ノ動作

第四分隊ハ將來構築スヘキ掩壕ノ附近ニ武器裝具ヲ置キ之ヲ僞裝シテ敵ヨリ發見ヲ困難ナラシメ小圓匙小十字鍬ヲ携ヘ�traverse池西方小松叢ノ狹長部ニ至リ清掃ニ任ス（第十二研究ノ四參照）

元來此清掃ノ目的ハ�traverse池西方小松叢ノ掩蔽地帶ニ敵ノ侵入ヲ妨ケ且敵侵入後其後方トノ連絡ヲ困難ナラシメ以テ之ヲ孤立無援ノ窮地ニ陷ラシメントスルモノニシテ要ハ小作業ヲ以テ林空内部迄火力ヲ以テ穿貫セントスルニアリ

而シテ此射界清掃ノ材料ハ中隊陣地ノ偽装並ニ煙幕射撃ヲ受ケシトキ及夜間射撃ノ際ノ銃ノ照標定材料ニ利用スサレハ之カ運搬ノ方法モ併セ講スルヲ要ス（築城附圖一四參照）

擲彈筒ノ配置

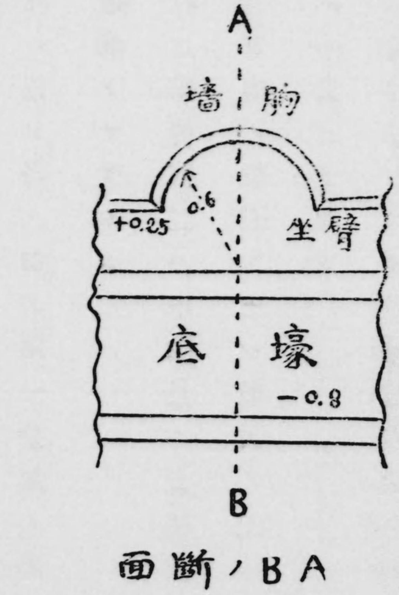
一、第三小隊ヨリ配屬ノ擲彈筒ニハ第一線右分隊ニ配屬シ其戰鬪ニ協力シ且鰊池西方小松叢ニ掩蔽セラルル敵ノ制壓ニ任シ得ル如ク第一分隊ノ陣地ノ近ク後方ニ射撃ノ設備ヲナサシム

二、小隊ノ擲彈筒二ハ小隊長ノ直接指揮ニ屬シ其指揮所附近ニ射撃ノ設備ヲナシ敵兵ノ近接時迄小隊長ノ連絡機關ノ一員タラシム

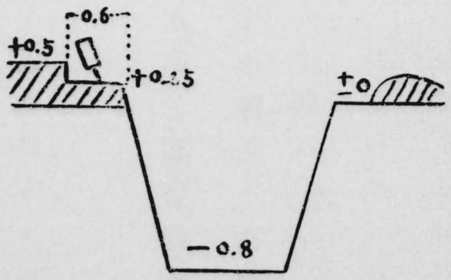
三、擲彈筒射撃ノタメノ掩體左圖ノ如シ

1. 散兵壕ノ前崖ニ設クルモノ

イ、踵鈑ノ位置ハ散兵壕ノ火線ト略ゝ同一線上ニ置ク
ヲ可トス　而シテ此位置ハ堅固ナル糾草又ハ土嚢
等ヲ用ヒ過早ニ踵鈑ノ埋沒セサル處置ヲ講スルコ



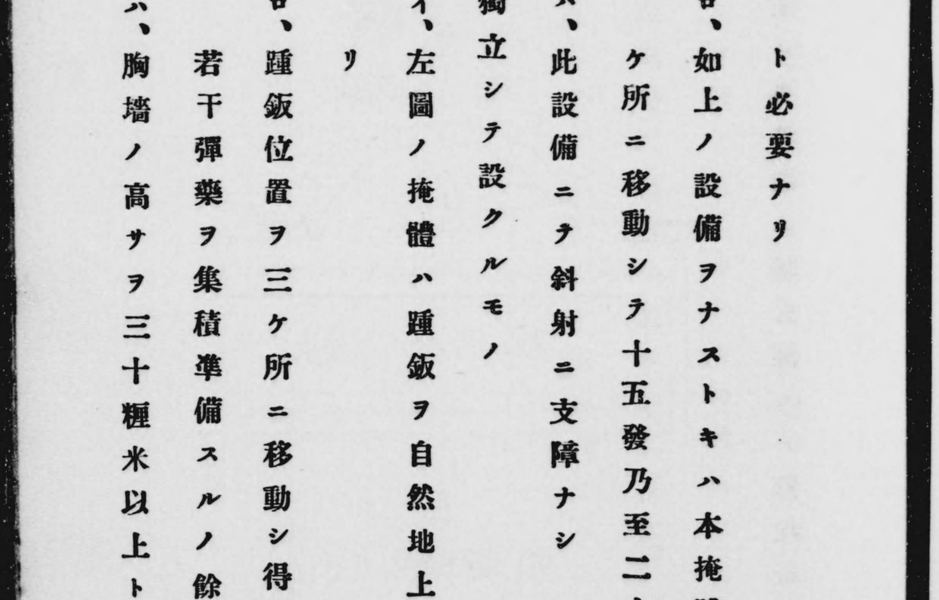
AB ノ斷面



ト必要ナリ
ロ、如上ノ設備ヲナストキハ本掩體ヲ利用シ踵鈑ヲ三
ケ所ニ移動シテ十五發乃至二十發ヲ發射シ得ヘシ
ハ、此設備ニテ斜射ニ支障ナシ

2. 獨立シテ設クルモノ

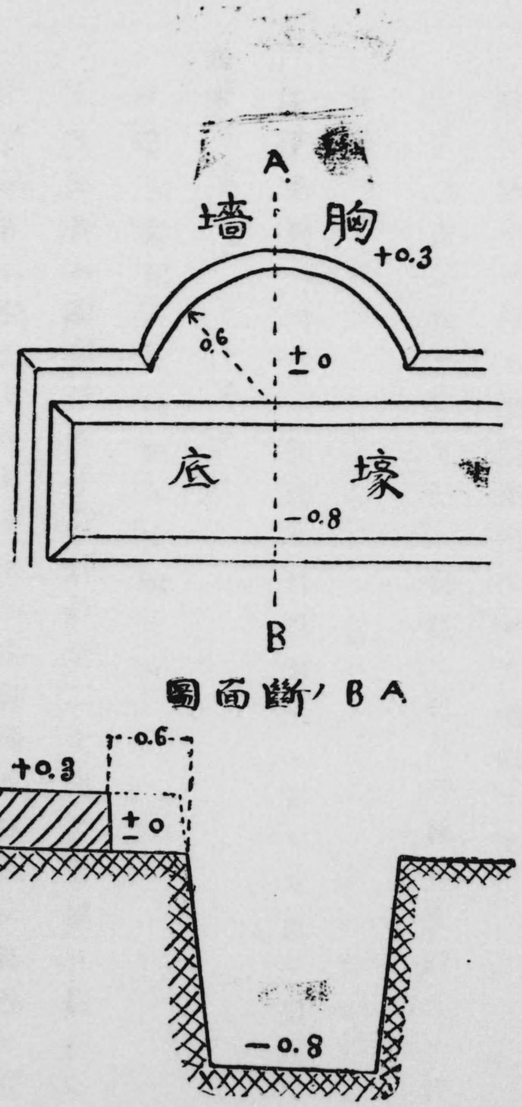
イ、左圖ノ掩體ハ踵鈑ヲ自然地上ニ置クヲ以テ堅固ナ
リ



ロ、踵鈑位置ヲ三ケ所ニ移動シ得且斜射ニ支障ナク尙
若干彈藥ヲ集積準備スルノ餘地アリ
ハ、胸墻ノ高サヲ三十糎米以上トスルトキハ照準困難

ナリ

3. 右ノ外特別ノ場合例ヘハ陣地戦等ニ於テハ要スレハ



壕底ヨリ射撃ヲ實施スルコトモ不可能ニハアラス之カ爲ニハ壕ノ後崖ヲ若干擴張スルコト及射向ノ標示並ニ其豫定射撃位置ニ對スル距離（要スレハ射角）ノ標示等間接射撃ニ必要ナル諸準備ヲナスヲ要ス

備考

一、遮蔽設備

射撃ノ際ニ於テハ假令（1）（2）ノ如キ設備ヲナシタル場合ニ於テモ筒身及射手ハ胸墻上ニ比較的著明ナル目標ヲ呈スヘキヲ以テ何レノ場合ニ在リテモ少クモ地上ノ敵眼ニ對スル遮蔽ノ設備ヲ必要ナリトス

二、夜間濃霧煙幕内等ニ於ケル射撃設備

托架ヲ設ケ所望ノ方向ニ對シ照準並ニ射角ヲ固定シ置クカ或ハ照準ノ爲至近ノ距離ニ假標（明瞭ナル）ヲ設ケ射角ハ手加減ニ依ル

防禦戰鬪ニ於ケル小隊長ノ動作

情況

一、東田、向山、橋良、小濱ノ線ヲ占領シアリシ我警戒部隊ハ敵ノ漸次近接スルヤ敵情ヲ捜索シ且敵ノ偵察ヲ妨害シアリシカ午後零時三十分頃ヨリ攻撃ヲ受ケ同一時頃撤退ヲ開始ス

敵ノ第一線ハ午後二時ヨリ同三時ノ間ニ野依、空池、山田ノ線ニ侵入シ我砲兵ハ射撃ヲ開始シ敵ノ攻撃準備ヲ妨ケツツアリ

ニ、大隊前面ニ於テハ午後三時頃敵ノ第一線ト認ムヘキモノ秣倉庫及其北側ニ約二中隊又上ノ山西南側地區ヨリ約二三中隊一齊ニ前進シ來リシ砲兵ハ之ニ對シ阻止射撃ヲナス

ニ、第[一]中隊長ハ午後三時三十分頃飛行臺ノ監視部隊カ中央森林東方臺上ニ進出シ來リシ約一小隊ノ敵ノ攻撃ヲ受ケアルヲ目撃シ且北山二軒屋附近監視部隊ノ報告ニヨリ該監視部隊ハ午後三時十五分頃十數名ノ敵ノ攻撃ヲ受ケテ後退シ目下飛行臺ノ我監視部隊ノ側面ヲ捻護シツヽ敵ト觸接ヲ保テアルコトヲ知ル尚此時七本松東

方二三百米ノ地點ニ約一中隊疎開シテ前進シ來リ且中央森林附近ノ谷地ニモ敵ノ部隊アルカ如ク又測點高地ヲ占領セル第四中隊ノ[一]小[隊]ハ同シク敵ノ攻撃ヲ受ケ該地附近ハ小銃機關銃火盛ンニシテ敵砲彈時ヽ落達土砂ヲ揚ケアルヲ目撃ス

敵兵未夕我準備セル火制地帶ニ入ラサル間ノ動作

一、守兵ヲ掩護下ニ入ラシム

火戰ニ參與セサル間小隊長ハ配備ヲ秘匿シ且砲彈ノ彈子破片ノ危害ヲ避クル爲守兵ヲシテ散兵壕ノ內斜面ニ背部ヲ密接シ壕底ニ跌座ヲカキ若ハナゲアシヲナシ或ハ踏墌ニ腰掛ケ散兵壕ノ掩護下ニ入ラシム（歩操二八七）

二、敵情監視

敵情監視ハ小隊長自ラ之ニ任シ尙監視兵ヲ選定シ（附近ニアル擲彈筒手ヲシテ之ニ充ツルヲ便トス）監視ヲ中絶スルコトナキヲ要ス（歩操二八七）

敵ノ近接ニ伴フ戰鬪指揮

一、分隊ヲ火線ニ配置

敵兵漸次近接スルヤ小隊長ハ火線分隊（但第三小隊ヨリ配屬ノ輕機分隊ヲ除ク）ヲ配置ニ就カシメ爾餘ハ待機ノ姿勢ニ在ラシメ部下ノ志氣ヲ鼓舞ス

而シテ第五分隊ヲシテ飛行臺ニ、第六分隊ヲシテ南森ノ南ノ突端ニ注意セシメ該地ニ有利ナル目標ヲ發見セハ直チニ射擊ヲ開始スヘク第一第二分隊ノ射擊開始ハ小隊長ノ指示ヲ待ツヘク命ス　但敵兵ノ飛行臺ヨリ前進ノ刹那猛火ヲ注キ之ヲ壓倒セシムル爲充分ノ準備ヲ整

ヘ置カシム（歩操二八八）

情況

飛行臺ノ我監視部隊ノ撤退スルヤ間モ無ク敵ハ該地ニ現出シ其他ノ部隊ハ水無川ノ谷地ニ沿ヒ飛行臺方面ニ前進シアルモノノ如ク其左方測點高地ニ亘ル間ノ開濶地ニハ約一中隊ノ敵兵疎開シテ我ニ向ヒ前進中ナリサレト左支點ハ未タ之ニ對シ射撃ヲ開始シアラス

ニ、射撃開始

突如第六分隊ハ南ノ突端附近ニ進入中ノ敵ノ機關銃ヲ發見シテ射撃ヲ開始ス小隊長ハ直チニ敵ノ機關銃ノ位置ヲ中隊長ニ報告ス（中隊長ハ三日月高地ニ在ル大隊ノ平射歩兵砲ニ通報スルナルヘシ）暫クシテ小隊長ハ飛行臺附近ヨリ一齊ニ敵兵前進ヲ開始セントスルノ狀ヲ見テ第一第二分隊ニ射撃ヲ命ス（歩操二八八）

情況

小隊ノ飛行臺ニ對シ射撃ヲ開始スルト略ボ同時ニ小室高地ノ機關銃ハ之ヲ猛射シ加フルニ我砲兵ハ又此敵ニ對シ阻止射撃ヲ行ヒ爆煙其附近ニ漲リ敵ノ攻撃發進ノ初動ヲ挫キ得タリ

ニ、指揮統轄

爾後敵ノ近接ニ伴ヒ火力ヲ發揚シ殊ニ敵ノ躍進ノ際大ナル目標ヲ暴露スル時機其射撃ヲ熾盛ナラシム而シテ敵ハ近接スルニ從ヒ南森ヲ利用シ其戰鬪正面自然大トナリ第一分隊ノ射撃正面モ亦自然廣クナルヲ以テ小隊長ハ要スレハ其射撃區域ヲ變更シテ戰況ノ變化ニ應シ火網ニ缺陷ヲ生セサル如クス（歩操二八八）

間モナク小隊長ハ敵兵約四五十名南森ヲ前進シ來ルヲ斥候ノ報告ニ依リ之ヲ知リ第三小隊ヨリ配屬ノ輕機分隊ヲ配置ニ就カシメ林縁ニ現出ノ機ニ乘シ射撃ヲ開始スヘク命シ且ツ此情況ヲ曲射歩兵砲小隊ニ通報ス

四、火線ノ補塡

小隊長ハ第三分隊ヲ戰備陣地ニ就カシメ第一線ノ兵力ヲ增加シ以テ火力ヲ熾盛ニス此際第一第二分隊ノ陣地内ニ補塡セサルハ分隊ノ建制ヲ破ラス指揮ヲ容易ナラシメンカ爲ナリ又第三分隊ノ增加ヲ第一第二分隊ニ通報スヘシ是レ分隊ノ增加ニ伴ヒ其射撃スヘキ區域ヲ適當ナラシメンカ爲ナリ（歩操二八八）

五、煙幕射撃ニ對スル處置

小隊長ハ敵カ煙幕射撃ニ掩ハレ突入シ來ルコトアルヘキヲ顧慮シ其際火力ヲ發揚スルコトニ遺憾ナカラシム

ルタメ火力ノ配當ヲ定メ其場合ノ射撃區域ヲ豫メ各分隊ニ指示ス（歩操二九一）

29 敵我陣地ノ一部ニ侵入シタルトキノ小隊長ノ動作

情況

敵兵逐次近迫シ來リシモ至近ノ距離ヨリ熾盛ナル火力ヲ以テ打撃ヲ與ヘ其大部ヲ陣地前二十米乃至五十米ノ附近ニ停止ノ止ムヲ得サルニ至ラシメタリ然レトモ其一部ハ尚勇敢ニ突進シ來レリ茲ニ於テカ守兵ハ手榴彈ヲ投擲シテ擾亂シ遂ニ銃劍ヲ以テ迎ヘ之ヲ撃滅セリ

爾後戰鬪數刻各兵ハ最後ノ一員トナルモ戰鬪ヲ繼續スルノ意氣ヲ以テ奮戰セシカ第一分隊ハ終ニ約倍數ノ敵ノ突入ヲ受ケ格鬪トナリ混亂シ彼我死傷相繼キ陣地ハ

僅カニ三名ノ殘兵尙舊陣地ニ踏ミ止マリ勇敢ニ敵ト對峙ス

一、小隊ノ逆襲

小隊長ハ自ラ先頭ニ立チ直チニ援隊タル第四分隊ヲ率ヒテ此敵ニ對シ笠松北側地區ヨリ果敢ナル逆襲ヲ決行スル而シテ此際第三小隊ヨリ配屬ノ輕機分隊ニ侵入セル敵ヲ側防ヨリ射撃セシメ我逆襲ヲ成功セシムルコトニ努力セシム（歩操二九〇）

教練指導計畫（附表第十二）

輕機關銃分隊防禦戰鬪指導計畫

30 逆襲成功シタル場合ニ於ケル小隊長ノ處置

情況

此逆襲ハ成功シ敵ヲ撃退シテ第一分隊ノ舊陣地ヲ恢復ス

一、火網組織ノ恢復

小隊長ハ逆襲成功セル第四分隊ヲシテ其儘陣地ヲ占領セシメ速ニ一時破壞セラレタル火網組織ヲ恢復シ執拗ニ攻撃ヲ反覆スル敵ヲ殲滅スルコトニ努力ス

教練指導計畫ノ一例

第一　敵陣地偵察ノ爲派遣スル斥候教育計畫
第二　戰鬪間翼側警戒ニ任スル分隊教練指導計畫
第三　小銃分隊教練（援隊ヨリ火線ニ增加シテ攻撃）指導計畫
第四　小銃分隊射撃目標指示法教育計畫
第五　鐵條網破壞班教育計畫
第六　小銃分隊突撃及敵陣内攻撃指導計畫
第七　輕機關銃分隊突撃及敵陣内攻撃指導計畫
第八　中隊防禦配備ノ初期陣地前方ニ在リテ警戒ニ任スル斥候教育計畫
第九　中隊防禦配備ノ初期陣地前方地區ノ捜索ニ任スル斥候教育計畫
第十　中隊陣地前ニ出ス監視部隊教育計畫（其一）
第十一　同　右（其二）
第十二　輕機關銃分隊防禦戰鬪指導計畫

附表第一

敵陣地偵察ノ爲メ派遣スル斥候教育計畫

立案ノ基礎	一般斥候ノ動作ヲ會得シアル斥候長以下ニ對シ別項主要演練事項ヲ徹底セシメ此種斥候ノ特異ノ點ヲ理會セシムルニ在リ
演練課目及主要演練事項	戰鬪ノ爲ノ前進間中隊ヨリ敵陣地偵察實地時間二時間 ノタメ派遣セラレタル斥候ノ動作 一、敵ノ撤退ノ機ニ乘シ追尾スル動作 二、森林内ノ前進法 三、敵陣地ノ偵察要領
演習部隊ニ關スル事項	一、人員　上等兵一、卒四 二、服裝　通常演習ノ軍裝 三、集合時刻　午前九時 四、同　場所　空池南端三叉路 五、携行品　手旗一、各人空包五發 所要ノ筆記具及地圖

戰況

一、敵ノ陣地ハ現ニ見ユル如ク小室高地ヨリ大松高地及笠松臺上ニ亘リ尚測點高地ニ約一小隊、飛行臺ニ輕機關銃ヲ有スル十數名、北山西端ニハ數名ノ敵兵アリ此敵ヲ攻撃スル西軍第一線中間大隊ノ左第一線タル中隊ハ現在地ニ攻撃ヲ準備中ナリ

二、中隊ハ攻撃前進ニ方リ先ツ第一小隊ヲ以テ飛行臺ニ在ル敵ヲ驅逐セシメ主力ハ其後方ヲ水無川ニ沿フ凹地ヲ前進シ飛行臺附近ニ展開シ笠松台附近ノ敵ヲ攻撃シ其後端マテ進出セントス

三、某伍長ハ部下四名ヲ率ヒ當初第一小隊ノ飛行臺ニ對スル攻撃進捗ニ伴ヒ前進シ飛行臺ノ敵ノ撤退ノ機ニ乘シテ之ニ尾シ南森ヲ遮斷ニ利用シテ近接シ笠松台ノ敵陣地ニ關シ左ノ諸件ヲ偵察スヘシ

1. 陣地ノ狀態　2. 兵力配置　3. 障碍物ノ狀態　4. 側防機能ノ狀態

著眼	指導要領	時間
一、出發時ノ處置適當ナリヤ	一、敎令戰況ヲ示シ中隊長トシテ任務ヲ與ヘ演習ヲ開始ス	一、任務ヲ復唱シ第一小隊長ト協定（攻撃計畫ノ概要ヲ聞ク）シ部下ニ任務ヲ告ケテ前進ノ區署ヲナス
二、進路ノ選定及第一小隊飛行臺占領迄ノ前進目標適當ナリヤ	二、第一小隊ハ目下中央森林北側著眼第一ヲ檢ス	二、進路要圖ノ如シ
三、前進時機ノ看破及區署適當ナリヤ	二、第一小隊ハ目下中央森林北側附近ニ於テ攻撃ヲ準備シ其斥候ハ北山南側地區ニ進入セル狀況ヲ與フ 斥候若シ原案以外ノ進路ヲ選定シタルトキハ兩者ノ利害ヲ說明シ其良否ヲ知得セシム 第一小隊ハ目下火線ヲ構成シ敵前約二百米ノ線ニ達ス、斥候ノ前進目標如何、意ノ如ク動作セシム	著劍ス 特ニ左方北山方向ニ對シ警戒シ先ツ速ニ(イ)ノ小松並木迄前進ス 斥候ハ速ニ(ロ)ノ三叉路附近ニ前進シ斥候長ハ主トシテ飛行臺ノ敵ニ注意シ前進ノ機ヲ伺ヒ且ツ松ヲ以テ僞裝ヲ補足ス
四、敵斥候ト不意ニ遭遇セシ場合ノ動作	三、前進時機ノ看破及區署適當ナリヤ 四、敵斥候ト不意ニ遭遇セシ場合ノ動作	三、斥候長ハ速ニ全部ヲ以テ之ニ追尾シ前進ス 部下ヲ區署シテ特ニ兩翼及背後ニ注意セシム 四、直ニ停止シ三名ヲ以テ敵斥候ニ對セシメ他ノ一名ハ他方面ノ警戒ニ任セシム 要スルニ直ニ之ニ應シ得ル
	三、第一小隊ハ飛行臺ノ敵ヲ擊退シ該地ヲ占領ス敵ハ今南森ノ林緣ヲ退却中ナリトノ狀況ヲ與フ 著眼第三ヲ檢ス 四、斥候森林内ニ入ルヤ行進中機ヲ見テ敵斥候二名ヲ以テ不意ニ射撃セシム、長ノ意ノ如ク動作セシム	
	四、敵斥候ト不意ニ遭遇セシ場合ノ動作	

40分間

標適當ナリヤ

三、前進時機ノ看破及區署適當ナリヤ

四、敵斥候ト不意ニ遭遇セシ場合ノ動作

五、前進方向ノ維持可ナリヤ

六、偵察位置ノ選定可ナルヤ

七、偵察中ノ斥候ノ警戒可ナリヤ

八、偵察ノ順序方法可ナリヤ

九、偵察ノ際深サ及幅ヲ判定スル尺度ノ基準如何

十、報告ノ時機適當ナリヤ

十一、歸路ノ動作適當ナリヤ

定シタルトキハ兩者ノ利害ヲ說明シ其良否ヲ知得セシム

第一小隊ハ目下火線ヲ構成シ敵前約二百米ノ線ニ達ス、斥候ノ前進目標如何、意ノ如ク動作セシム

三、第一小隊ハ飛行台ノ敵ヲ擊退シ該地ヲ占領ス敵ハ今南森ノ林緣ヲ退却中ナリトノ狀況ヲ與フ

著眼第三ヲ檢ス

四、斥候森林內ニ入ルヤ行進中機ヲ見テ敵斥候二名ヲ以テ不意ニ射擊セシム、長ノ意ノ如ク動作セシム

森林內ノ警戒ノ特ニ必要ナル所以ヲ深刻ニ知ラシム

五、右ノ場合ニ於テ之ヲ他方面ニ避ケントシテ行動セシ場合ハ特ニ注意ス

六、斥候概ネ豫期ノ地點ニ到達セハ斥候長ニ意ノ如ク選定セシメ若シ原案以外ノ位置ヲ選定セハ不意ニ敵斥候ノ利害ヲ研究シ後所見ヲ述フ

七、長ノ意ノ如ク動作セシメ若シ不備ナル點アレハ不意ニ敵斥候ヲシテ襲擊セシム

八、見學者アラハ敵陣地偵察ノ結果ヲ報告セシメ上等兵以上ハ寫景圖或ハ要圖トナシテ報告セシム

九、笠松臺上ニ構築セラレタル敵ノ工事線ノ幅、鉄條網ノ深サ破壞口ノ幅ハ何ニ依リ判定スルヤ

十、發令者ハ此斥候ノ報告ヲ何レノ地點ニテ受クヘキ希望シアリヤヲ試問ス

十一、長ノ意ノ如ク行動セシム要スレハ注意ヲ與フ

木迄前進ス

斥候ハ速ニ(ロ)ノ三叉路附近ニ前進シ斥候長ハ主トシテ飛行臺ノ敵ニ注意シ前進ノ機ヲ伺ヒ且ツ松ヲ以テ僞裝ヲ補足ス

三、斥候長ハ速ニ全部ヲ以テ之ニ追尾シ前進ス

部下ヲ區署シテ特ニ兩翼及背後ニ注意セシム

四、直ニ停止シ三名ヲ以テ敵斥候ニ對セシメ他ノ一名ハ他方面ノ警戒ニ任セシム

要スルニ直ニ之ニ應シ得ル準備ヲ肝要トス

五、此場合等ニ於テハ特ニ部下ノ掌握ヲ確實ニシ成ルヘク迂回ヲ避ケ速ニ目的地(ハ)ニ向ヒ前進スルヲ要ス

六、先ツ(ハ)ニ選定スルヲ要ス該地ハ敵ニ遮蔽シ陣地全般ヲ視察スルニ便ナリ

次ニ(ニ)ニ移動スルヲ可トス之レ敵ノ側防機能及後方ノ配備狀態ヲ視察ニ適スレハナリ

七、長ハ專ラ偵察ニ任シ三名ノ部下ヲ以テ左右及背後ノ警戒ニ任セシメ殘リノ一名ハ偵察ノタメノ補助トシテ手許ニ置キ前方ヲ監視セシム

八、先ツ陣地全般ノ狀態(深サ、强度、破壞ノ景況、通過ノ難易)工事ノ位置程度、僞工事、僞裝ニ就キ視察シ次テ兵力配置最後ニ側防機能ノ狀態(種類及配置)ヲ偵察ス

偵察補助ノタメ部下ノ用法(某ハ彼方迄前進シテ彼ノ鉄條網ノ破壞口ノ幅ヲ見テ來イ)

九、工事ノ幅員ハ腕長規尺ニヨル指幅ト實距離ノ比例ニヨリ鉄條網ニ關スルモノハ杭ノ間隔約二米ヲ基準トシテ計ル

十、此斥候ハ元來突擊準備ニ關シ必要ナル資料ヲ得ル爲ノモノナレハ遲クモ中隊ノ水無川合流點(A)附近ニ前進スル頃迄ニハ報告スルヲ要ス

十一、偵察終レハ成ルヘク速ニ中隊長ノ許ニ歸着スルヲ要ス此ノ際特ニ往路ト同樣ノ方法ヲ以テ警戒ス歸着ノトキ中隊長ノ許ニ部下ヲ螺集

40分間　20分間　50分間

八、偵察ノ順序方法可ナリヤ

九、偵察ノ際深サ及幅ヲ判定スル尺度ノ基準如何

十、報告ノ時機適當ナリヤ

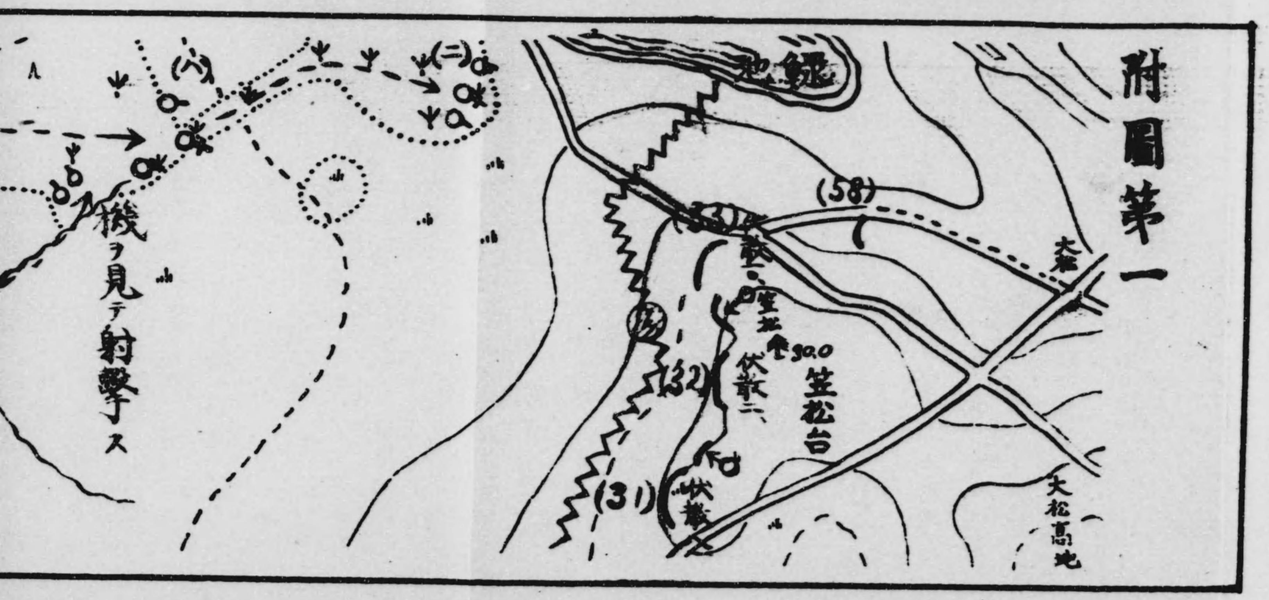
十一、歸路ノ動作適當ナリヤ

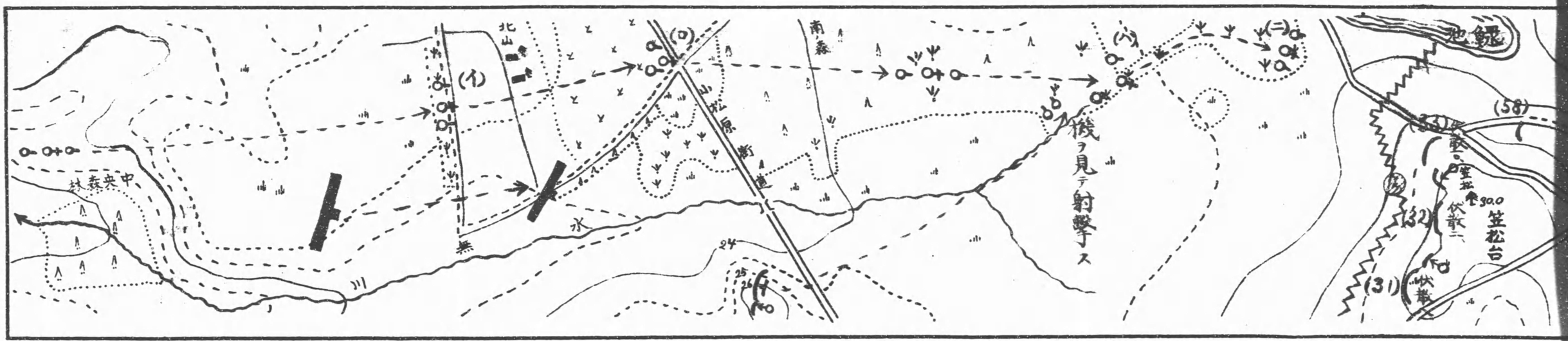
八、見學者アラハ敵陣地偵察ノ結果ヲ報告セシメ上等兵以上ニハ寫景圖或ハ要圖トナシテ報告セシム

九、笠松臺上ニ構築セラレタル敵ノ工事線ノ幅、鐵條網ノ深サ破壞口ノ幅ハ何ニ依リ判定スルヤ

十、發令者ハ此斥候ノ報告ヲ何レノ地點ニテ受クヘク希望シアリヤヲ試問ス

十一、長ノ意ノ如ク行動セシム要スレハ注意ヲ與フ





北山
(イ)
(ロ)
南森
(ハ)
(ニ)
中央森林
無水川
山松原街道
機ヲ見テ射撃ス
(58)
(33)
(32)
(31)
笠松台
伏散二
伏散

附表第二

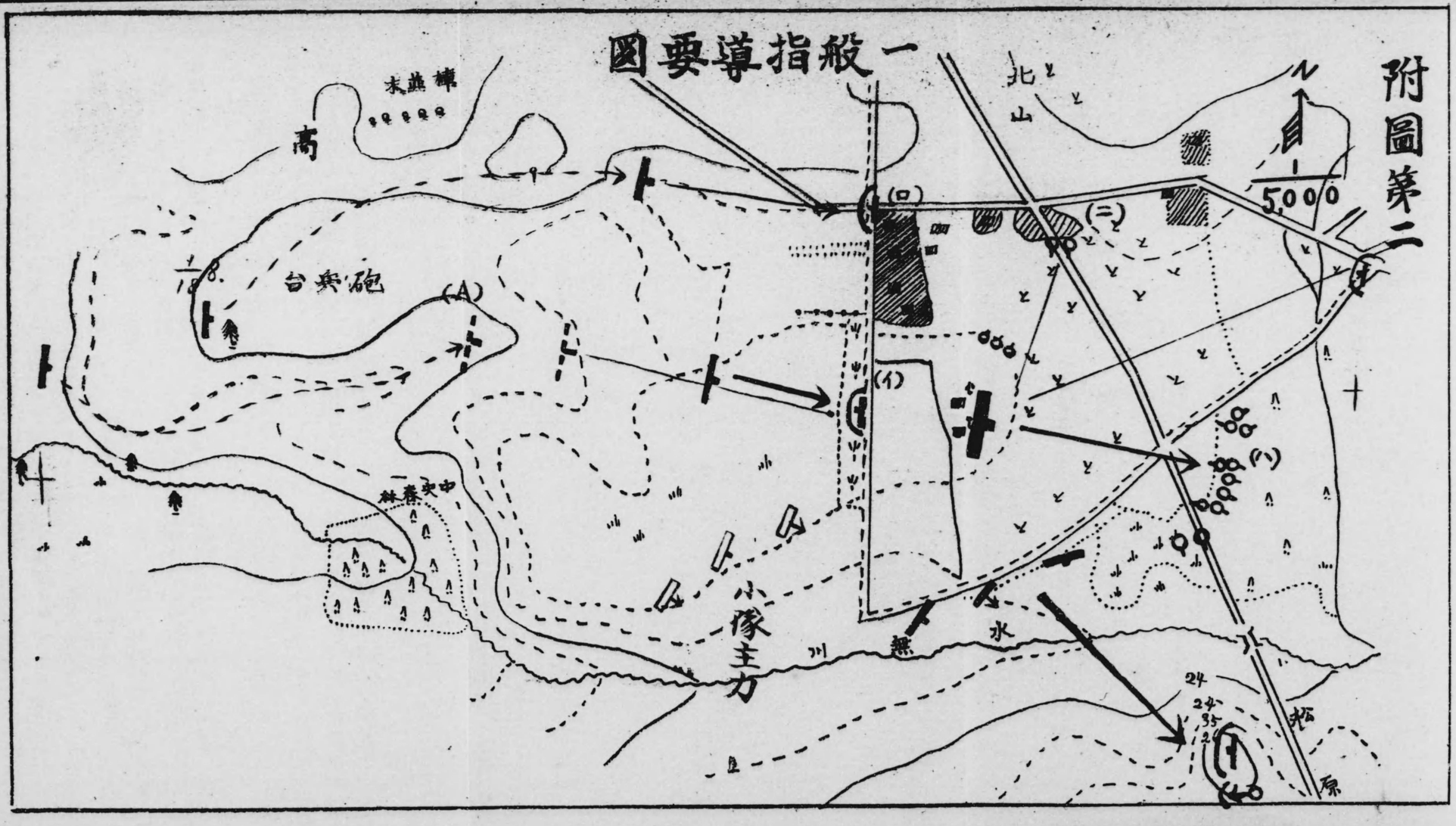
附表第二

戰闘間翼側警戒ニ任スル分隊教練指導計畫

立案ノ基礎	一、本計畫ハ分隊長ノ指揮技能ヲ向上シ併セテ操典第二百五十九第二項ノ塲合ニ於ケル獨斷應用能力ヲ附與スルヲ以テ目的トス 二、被教育者ハ分隊長ノ動作ハ概ネ完成セルモノトス
演習課目	小隊ノ攻撃ヲ容易ナラシムル目的ヲ以テ一時獨立的任務ヲ帶ヒタル小銃分隊戰闘教練
主要演練事項	一、任務ニ對スル積極的動作 二、蔭蔽地通過ノ要領 三、一任務達成後ニ於ケル獨斷
戰況	一、敵ハ一昨日來此方面ニ於テハ小室高地ヨリ大松高地笠松台ヲ經テ歩兵作業塲附近ニ亘リ陣地ヲ占領シ尙測點高地ニハ一小隊飛行臺ニハ輕機ヲ有スル十數名北山ニハ數名ノ敵兵アリ 二、中隊ハ此敵ヲ攻撃スル中間大隊ノ左第一線トシテ飛行臺ノ線ニ展開シ笠松臺ノ敵ヲ攻撃ス 小隊長命令 1. 小隊ハ中隊ノ前進ニ先チ中央森林東方臺上ニ於テ火線ヲ構成シ飛行臺ニ在ル敵ヲ攻撃ス 2. 第四分隊ハ小隊ノ左側前ヲ警戒シ北山西側二軒屋附近ノ敵ヲ驅逐シ小隊ノ攻撃ヲ容易ナラシムヘシ 特ニ砲兵臺ノ一本松附近ニアリテ左大隊トノ連絡ニ任スル第八中隊ノ小銃分隊ト連繫スルヲ要ス
著眼	一、左方ニ行動スル部隊トノ連繫 二、射撃開始 三、任務ニ基ク積極的動作 四、敵兵退却時ノ動作 五、蔭蔽地通過ノ要領 六、任務ニ基ク積極的動作 七、部下ノ指揮掌握 八、任務達成後ノ處置
指導要領	一、戰況及小隊長トシテ任務ヲ與フ 二、分隊長先行偵察中(イ)ヨリ狙撃セシメ戰況中ノ人タラシム 三、(イ)ノ敵ヨリ猛射セシメ分隊ニ二三名ノ死傷者ヲ生セシム左方ニ在ル連絡部隊モ亦攻撃進捗セス左後方ニ在リ 四、(イ)ノ前方百五十米付近ニ近迫セシ時(イ)ノ敵ヲ後退セシム小隊ハ既ニ飛行臺ノ敵ニ對シ攻撃開始ノ情況ヲ示ス 五、(イ)ノ敵ハ退路ヲ秘匿シ(ハ)ニ後退セシメ別ニ二名ヲ(ニ)ニ遮蔽シテ位置セシメ警戒粗漏ナルトキハ奇襲シテ反省ヲ促ス 六、急ニ南森北端ヨリ輕機ノ射撃ヲ又(ニ)ヨリ小銃火ヲ被ラシム小隊ノ第一線ノ左ハ小松並木ノ南端ニ進出ノ情況ヲ與フ 七、第八中隊ノ部隊ハ(ロ)ノ敵ヲ驅逐シ北山村落内ニ入リ(ニ)ノ敵ハ退却ス 八、分隊ノ前方近ク敵兵ナカラシム 小隊主力ハ飛行臺ヲ占領シ隊勢ヲ整ヘアルノ情況ヲ示ス
原案	一、分隊長ハ任務ヲ受クルヤ之ヲ部下ニ傳フ而シテ一名ヲ第八中隊ノ連絡部隊ニ派遣シ分隊ノ任務ヲ告ケ(イ)ニ對スル攻撃ニ連繫シテ(ロ)ノ敵ヲ攻撃セラレタキ旨ヲ通告ス 二、自ラ先行シテ敵情ヲ視察シ分隊ヲ(A)附近迄前進セシメ蔭蔽シテ散開不意ニ現出シテ射撃ヲ開始セシム 三、分隊ハ翼側ニアリテ警戒ニ任シ小隊ノ攻撃ヲ容易ナラシムルニ在ルヲ以テ多少ノ損害ハ顧ミルコトナク決意前進シ小隊ノ行動ヲ澁滯ナカラシム 四、分隊ハ敵ヲ急追シ北山南側地區ヲ小松原街道ニ向ヒ前進シ一名ヲ以テ敵情及爾後ノ企圖ヲ小隊長ニ報告ス 五、追撃地區ハ蔭蔽錯雜地ナルヲ以テ二名ヲ前方ニ進メ警戒ニ任シ殘餘ハ廣間隔ニ散開シテ不意ニ應シ得ラルル如ク特ニ部下ノ掌握ヲ確實ニス 六、左翼三名ヲ以テ(ニ)ノ敵ヲ攻撃セシノ殘餘ヲ以テ小松原街道迄進出ヲ敢行ス蓋シ小隊カ飛行臺ノ敵ノ右側ニ向フ攻撃ニ餘地ヲ與ヘンカ爲ナリ 七、(ハ)ノ敵ヲ包圍的ニ攻撃シ南森ノ一角ニ侵入ス 八、現在地ニ在リテ警戒ヲ怠ラス小隊長ニ報告シテ連絡ス蓋シ小隊、中隊ハ一時此線ニ隊勢ヲ整フ情況ニアレハナリ

附圖第二

一般指導要圖



六、任務ニ基ク積極的動作

七、部下ノ指揮掌握

八、任務達成後ノ處置

六、急ニ南森北端ヨリ輕機ノ射撃ヲ又(ニ)ヨリ小銃火ヲ被ラシム小隊ノ第一線ノ左ハ小松並木ノ南端ニ進出ノ情況ヲ與フ

七、第八中隊ノ部隊ハ(ロ)ノ敵ヲ驅逐シ北山村落内ニ入リ(ニ)ノ敵ハ退却ス

八、分隊ノ前方近ク敵兵ナカラシム

小隊主力ハ飛行臺ヲ占領シ隊勢ヲ整ヘアルノ情況ヲ示ス

六、左翼三名ヲ以テ(ニ)ノ敵ヲ攻撃セシノ殘餘ヲ以テ小松原街道迄進出ヲ敢行ス蓋シ小隊カ飛行臺ノ敵ノ右側ニ向フ攻撃ニ餘地ヲ與ヘンカ爲ナリ

七、(ハ)ノ敵ヲ包圍的ニ攻撃シ南森ノ一角ニ侵入ス

八、現在地ニ在リテ警戒ヲ怠ラス小隊長ニ報告シテ連絡ス蓋シ小隊、中隊ハ一時此線ニ隊勢ヲ整フ情況ニアレハナリ

六、任務ニ基ク積極的動作

七、部下ノ指揮掌握

八、任務達成後ノ處置

ニ部下ノ掌握ヲ確實ニス

附表第三

小銃分隊教練援隊ヨリ火線ニ増加シテ攻撃　指導計畫

立案ノ基礎	別項主要演練事項ヲ演練シ分隊長トシテノ指揮技能ノ向上ヲ圖ルト共ニ操典ノ條項ヲ徹底セシムルヲ以テ目的トス	
主要演練事項	一、援隊タル分隊長ノ動作 二、火線ニ増加セラレタル時ノ動作	
教令	一、敵ハ帽ニ白帶ヲ附シタル實員及幕的ヲ以テ示ス 二、赤テープノ附シアル網ノ張リタル所ハ敵機關銃射撃地帶ヲ示ス 三、友軍標示ハ連接幕的及標旗ヲ以テ示ス	
戰況	一、敵ハ天白山小室島地笠松臺歩兵作業場及其以北ニ亘リ陣地ヲ占領シ測點高地飛行臺北山ニハ各々敵ノ一部隊アリ 二、中隊ハ觀測松附近ニ於テ展開セル大隊ノ左第一線トシテ笠松臺ノ敵ヲ攻撃ス 三、小隊ハ中隊ノ前進ニ先チ飛行臺ノ敵部隊ヲ驅逐シテ該地ヲ占領スル任務ヲ以テ現在地ニ達ス此時ニ於ケル小隊ノ態勢左ノ如シ 第五第一第六分隊第一線　第二第三分隊第二線　第一分隊基準　基準分隊ノ目標中央森林ノ左端　尚第四分隊ハ小隊ノ左翼前ヲ警戒シ北山西側二軒屋附近ニ在ル敵ヲ驅逐スルタメアノ臺（中央森林東北臺）ヲ前進中 四、當分隊ハ第三分隊、第六分隊ノ後方ヲ前進中ナリ	
著眼	一、戰況ニ基ク小隊ノ態勢ヲ取ラシメタル後演習ヲ開始ス小隊長トシテ左ノ指示ヲ與フ 「各分隊ハ特ニ北山二軒屋及同西北端附近ノ敵ヨリスル火力ヲ顧慮シ中央森林北側凹地ニ向ヒ前進スヘシ」	一、戰鬪ノ爲ノ前進間地形ニ應スル隊形ノ選擇 二、援隊タル分隊ノ長トシテ火線構成時ノ動作
指導要領	一、分隊長ハ此際地形ヲ利用スルタメ三十米ノ間隔ヲ墨守スルコトナク縮少シ一列側面縦隊ヲ以テ要圖ノ點線ヲ經テ前進ス 停止ニ方リテハ附近ノ地形ニ適應スル如ク横隊ニ停止スル之カ爲左ノ號令ヲ下ス 前ノ凹地ヲ利用シテ「左ヘ並ヘ進メ」「伏セ」（歩操一七〇） 二、分隊長ハ小隊長ヨリ命令ヲ受領セハ直チニ前方及附近ノ地形ヲ觀察シタル後部下ニ小隊ノ攻撃目標火線ノ分隊及射撃開始ノ地點、分隊ハ援隊トシテ左翼後ヲ前進スルコト等ヲ通告シ直チニ單獨前進シ小隊長及第一線ノ狀況ヲ通視シ得ル地點ニ位置シ爾後分隊ノ前進路等ニ付第二分隊長ト協定ス（歩操二七〇）	一、戰況ニ基ク小隊ノ態勢ヲ取ラシメタル後演習ヲ開始ス小隊長トシテ左ノ指示ヲ與フ 「各分隊ハ特ニ北山二軒屋及同西北端附近ノ敵ヨリスル火力ヲ顧慮シ中央森林北側凹地ニ向ヒ前進スヘシ」 第三分隊及他ノ假設分隊概ネ中央森林附近ニ至ルヤ停止セシム 二、小隊長トシテ火線構成ノ命令ヲ下ス 「小隊ノ攻撃目標ハ飛行臺ノ敵（現在見ユルハ輕機關銃一及小銃兵十名内外） 右ヨリ第五、第一、第六分隊 火線第五分隊基準 第二、第三分隊援隊左翼後ヲ前進、射撃開始ノ地點ハ此臺上ノ東南端距離六百米　攻撃前進」 斯クテ第一線假設分隊ヲ前進セシム 三、火線分隊ヲ一齊ニ前進セシメ其途中測點高地方向ヨリ機關
三、援隊ノ前進運動		三、分隊長ハ此狀況ヲ見援隊ヲシテ再ヒ斯カル敵火ヲ被ラサル

時間	原案
40分間	

三、援隊ノ前進運動

四、援隊タル分隊長ノ位置火線トノ距離適當ナリヤ

五、火線ニ増加ノ方法進路ノ選定隊形ノ撰擇

六、射撃指揮

七、飛行臺ノ占領法及追撃射撃ノ要領

八、集結

セシム

三、火線分隊ヲ一齊ニ前進セシメ其途中測點高地方向ヨリ機關銃ノ猛射ヲ被ル狀況ヲ與フ火線分隊ハ一時前進ヲ阻止セラレタルモ巧ニ機關銃射撃ノ間斷ヲ利用シ前進スル狀況ヲ示ス

四、援隊若シ臺上ヲ暴露前進セハ再ヒ機關銃射撃ヲ被ムラシメ其非ヲ諭シ尚分隊長以下全員凹地ヲ前進シタル時ハ火線ノ狀況ヲ急變セシメ共ニ其不可ナルコトヲ了解セシム此際火線ト援隊トノ距離ニ就キ戰鬪ノ爲ノ前進間ノ距離トノ差ノ在ル所ヲ知ラシム

五、輕機關銃分隊ハ射撃ヲ開始シ第一分隊續イテ射撃ヲ始ム飛行臺ノ敵ノ火力ヲ熾ナラシムル如クス

小隊長トシテ左ノ命令ヲ下ス

「第三分隊ハ火線第六分隊ノ左ニ增加」

飛行臺ノ敵ニ遮蔽シ成ル可ク其側方ヨリ不意ニ射撃スル如ク努ムヘシ（實際ナレハ小隊長トシテ具体的ニ進出地點ヲ示スナランモ分隊長ノ獨斷ヲ養成スル爲細部ヲ示サス）分隊長若シ機ヲ失セス小隊長ノ使用ニ應スル著意ナク徒ラニ迂路ヲ探リ或ハ其隊形適切ナラサル時ハ操典ノ條項ヲ引用シ充分ニ徹底セシム

六、不意ニ射撃ヲ開始スル如ク指導シ其動作不充分ナル時ハ複行シテ演練セシメ其印象ヲ深刻ナラシム

七、第三分隊火線ニ增加シ猛烈ニ射撃ヲナスヤ飛行臺ノ敵ヲ撤退セシム

小隊長トシテ直ニ飛行臺ノ占領ヲ命シ他ノ各分隊ヲ飛行臺ニ躍進セシム

此際徒ラニ大ナル姿勢ヲトリ追撃射撃ヲ爲ス時ハ小室高地附近ヨリMGノ猛射ヲ受クル狀況ヲ與ヘ死傷者ヲ續出セシメ步操第二百八第二項ヲ徹底セシム

八、小隊トシテ各分隊ハ稜線後ニ於テ何時ニテモ射撃シ得ル如ク準備セシメ第三分隊ハ其後方ニ隊伍ヲ整ヘシムヘク下命シ後所見ヲ述ヘテ演習ヲ終ル

四、分隊長ハ防界線ニ沿ヒ小隊長ト連絡シ火線ノ狀況及敵狀ヲ觀察シツツ成ル可ク機敏ナル動作ニ依リ前進ス此際火線ト援隊トノ距離ハ操典ニ明示ナシト雖モ成ル可ク火線分隊ニ近接シ小隊長ノ使用ニ應シ得ル如ク著意ス

三、分隊長ハ此狀況ヲ見援隊ヲシテ再ヒ斯カル敵火ヲ被ラサル爲左方凹地ヲ利用シ努メテ右方ニ遮蔽スル如ク屈身ヲ以テ躍進セシムノカ爲散兵ヲ縱方向ニ配置ス（步操二七〇）

五、分隊長ハ小隊長ヨリ任務ヲ受領セハ部下ニ分隊ハ今ヨリ火線ニ增加スル旨ヲ傳ヘ且敵ニ此企圖ヲ秘匿スル爲成シ得ル限リ暴露セサル樣注意ヲ與ヘ進路ヲ選定ス

即チ小隊ハ今獨立シテ戰鬪シアル故戰鬪地域ハ比較的廣正面ヲ使用シ得ルノミナラス左前方ハ既ニ第四分隊ノ獲得シタル地域ナルヲ以テ北山二軒屋南方地區ヲ經テ其南方百五十米小松附近ニ進出シ射撃スルヲ要ス此際尚左方ニ迂回シテ敵ヲ包圍スルヲ可トスヘキモ小隊長ノ手裡ヨリ脫逸セサルヲ要ス

六、速ニ射撃ヲ開始スル爲射撃位置ニ就ク迄ニ目標及照尺距離ヲ兵卒ニ知ラシメ置クヲ要ス殊ニ本狀況ノ如ク獨立セル目標ハ此動作容易ナリ

即チ此分隊ハ全力ヲ擧ケテ敵ノ小銃分隊ヲ射撃スルヲ要ス（步操第一九六、一九三）尚此際著劍シアルコト必要ナリ

七、敵退却ノ狀況ヲ知ルヤ分隊長ハ直チニ猛烈ナル射撃ヲナシ第一分隊ト協力シテ飛行臺ヲ占領シ敗退セル敵ニ追撃射撃ヲナス

此際兵卒ヲ成ルヘク飛行台ノ後方ニ停止セシメ敵主陣地ヨリスル射撃ノ損害ヲ避ケシムルヲ要ス（步操第二〇八）

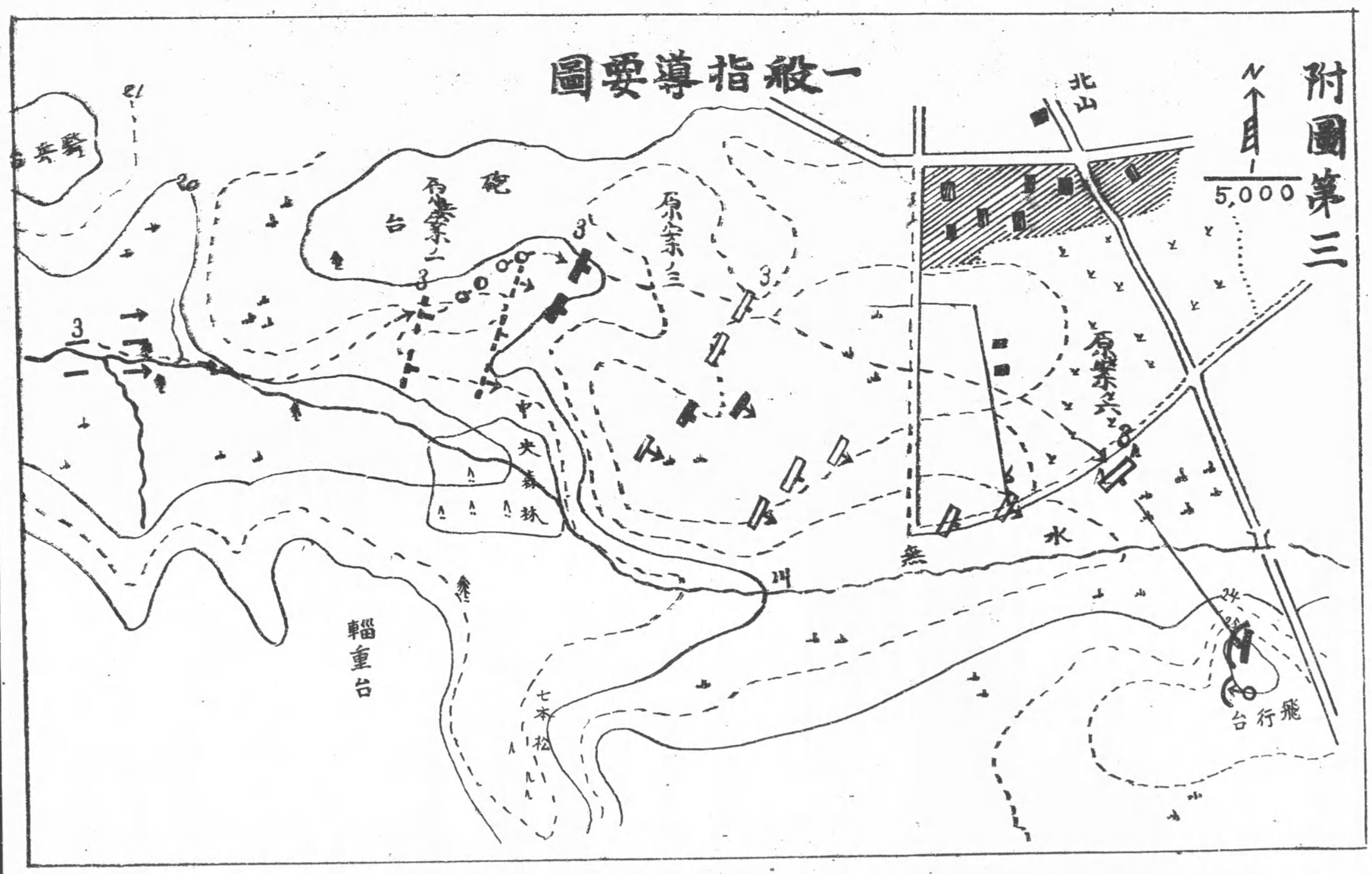
八、小隊長ヨリ集結ノ命アルヤ後方凹地ニ隊伍ヲ整ヘ且兵卒ノ狀況及消費彈藥ノ狀況ヲ取調ヘ小隊長ニ報告ス

1時間

一級指導要圖

附圖第三

1/5,000



八、集結

八、小隊トシテ各分隊ヲ飛行臺ノ占領ヲ命ゼ他ノ各分隊ヲ飛行臺ニ躍進セシム

此際徒ラニ大ナル姿勢ヲトリ追撃射撃ヲ爲ス時ハ小室高地附近ヨリMGノ猛射ヲ受クル狀況ヲ與ヘ死傷者ヲ續出セシメ歩操第二百八第二項ヲ徹底セシムル

小隊トシテ各分隊ハ稜線後ニテ何時ニテモ射撃シ得ル如ク準備セシメ第三分隊ハ其後方ニ隊伍ヲ整ヘシムヘク下命シ後所見ヲ述ヘテ演習ヲ終ル

此際著劍シアルコト必要ナリ

七、敵退却ノ狀況ヲ知ルヤ分隊長ハ直チニ猛烈ナル射撃ヲナシ第一分隊ト協力シテ飛行臺ヲ占領シ敗退セル敵ニ追撃射撃ヲナス

此際兵卒ヲ成ルヘク飛行台ノ後方ニ停止セシメ敵主陣地ヨリスル射撃ノ損害ヲ避ケシムルヲ要ス（歩操第二〇八）

八、小隊長ヨリ集結ノ命アルヤ後方凹地ニ隊伍ヲ整ヘ且兵卒ノ狀況及消費彈藥ノ狀況ヲ取調ヘ小隊長ニ報告ス

附表第四

小銃分隊ノ射撃目標指示法教育計畫

立案ノ基礎	目標指示ニ關スル重要ナル操典ノ原則ハ學科的ニ教育シアル上等兵以上ニ對シ現地教育ニ依リ十分之ヲ體得セシメントスルニ在リ
主要演練事項	一、射撃目標指示ノ時機 二、射撃目標ノ指示法及之カ爲採ルヘキ手段
戰況	中隊ハ第一第二小隊ヲ第一線トシテ笠松臺上ノ敵ヲ攻撃ス 火線構成ニ方リ第二小隊長ノ下セシ命令(歩操二五七) 小隊ノ射撃目標ハ笠松ノ直ク右ニ在ル工事ノ中央ヨリ左ニ亘ル笠松臺上ノ敵 右ヨリ第五 第一 第六分隊 火線、第一分隊ハ小松原街道上水無川橋梁ノ西側 第一分隊基準、第二 第三 第四分隊援隊 援隊ハ左翼後 敵線ニ至ル距離七〇〇米射撃開始ハ小松原街道ヲ過キタル後ニ於テセヨ

主要教育課目	著眼點	指導要領	原案
射撃スヘキ部分ヲ以テ示スヲ有利トスル場合	一、分隊ノ射撃目標ヲ如何ナル時機ニ示スヤ(歩操一九六) 二、目視困難ナル場合ノ目標ノ指示法 三、射撃スヘキ部分ヲ示ス著意アリヤ(歩操一九三) 四、敵線ニ近キ地物ヲ示シテ其補助トナスヘキヤ(歩操一九五)	(A)ノ線ニ於テ戰鬪ノタメノ前進態勢ヲ採ラシメ火線構成ノ命令ヲ下ス 目標ノ景況寫景圖ノ如シ 但距離約七〇〇米アリ目視極メテ困難ニシテ兵卒ハ工事線ハ認メ得ルモ守兵ノ有無ヲ判定シ得ス 前進ヲ起サシメ小松原街道ヲ過キタル處ニテ射撃ヲ開始セシメ散兵ノ銃ノ指向ヲ檢ス	第一分隊ハ要圖ノ位置ニ火線ヲ構成ス 分隊長ノ號令 小隊ノ射撃目標ハ前方臺上ノ大キナ松ノ直ク右ニアル工事ノ中央ヨリ左ノ臺上ノ敵 分隊ノ射撃スヘキ部分ハ大キナ松ノ直ク左下ノ工事及其左ノ工事ニ據レル敵
現實ノ目標ヲ以テ示スヲ有利トスル場合	一、稍目視困難ナル場合ノ目標ノ指示法ナリ 二、我輕機關銃分隊ノ射撃ニ關係ナク目標ヲ指示スルヤ(歩操一九三) 三、現實ノ目標ヲ示スノ著意アリヤ(歩操一九二)	更ニ前進セシム目視尚稍〻困難ナリ 敵ノ射撃ニ依リ笠松ノ直ク左ノ工事ニ據レルハ輕機關銃タルコトヲ示ス又笠松ノ直ク右ノ工事ノ左ノ部分ニ二名ノ敵ヲ現出ス 第五分隊ハ笠松ノ直ク左ノ輕機ヲ第六分隊ハ其左ノ小銃兵ヲ射撃シアル旨ヲ通報ス	一番右ニ在ル兵ハ大キナ松ノ直ク右ノ工事ニアル敵 次ノ三名ハ大キナ松ノ直ク左ノ輕機其他ハ其左ノ小銃兵
通常ノ場合(區域ヲ以テ示ス)	一、目視容易ナル場合ノ目標指示法 二、目標ノ指示的確簡明ナリヤ(歩操一九五)	更ニ二三回躍進シ敵前四〇〇米附近ニ達シ目視容易トナリ笠松ノ右ノ工事ニ敵兵約十名增加ス 第二分隊ハ第六分隊ノ左ニ增加ス	分隊ノ射撃目標 大キナ松ノ直ク右ニアル工事ノ中央ヨリ左笠松ノ直ク左ノ輕機關銃陣地ニ亘ル間ノ敵 第二分隊ハ火線ヲ增加シ其ヨリ左ノ敵ヲ射撃ス

射撃スヘキ部分ヲ以テ示スヲ有利トスル場合

一、分隊ノ射撃目標ヲ如何ナル時機態勢ヲ採ラシメ火線構成ノ命令ニ示スヤ（歩操一九六）

二、目視困難ナル場合ノ目標ノ指示法

三、射撃スヘキ部分ヲ示ス著意アリヤ（歩操一九二）

四、敵線ニ近キ地物ヲ示シテ其補助トナスヘキヤ（歩操一九五）

現實ノ目標ヲ以テ示スヲ有利トスル場合

一、稍目視困難ナル場合ノ目標ノ指示法ナリ

二、我輕機關銃分隊ノ射撃ニ關係ナク目標ヲ指示スルヤ（歩操一九二）

三、現實ノ目標ヲ示スノ著意アリヤ（歩操一九三）

通常ノ場合（區域ヲ以テ示ス）

一、目視容易ナル場合ノ目標指示法

二、目標ノ指示的確簡明ナリヤ（歩操一九五）

（A）ノ線ニ於テ戰鬪ノタメノ前進態勢ヲ採ラシメ火線構成ノ命令ヲ下ス

目標ノ景況寫景圖ノ如シ

但距離約七〇〇米アリ目視極メテ困難ニシテ兵卒ハ工事線ハ認メ得ルモ守兵ノ有無ヲ判定シ得ス

前進ヲ起サシメ小松原街道ヲ過キタル處ニテ射撃ヲ開始セシメ散兵ノ銃ノ指向ヲ檢ス

更ニ前進セシム目視尙稍〻困難ナリ

敵ノ射撃ニ依リ笠松ノ直ク左ノ工事ニ據レルハ輕機關銃タルコトヲ示ス又笠松ノ直ク右ノ工事ノ左ノ部分ニ二名ノ敵ヲ現出ス

第五分隊ハ笠松ノ直ク左ノ輕機ヲ第六分隊ハ其左ノ小銃兵ヲ射撃シアル旨ヲ通報ス

更ニ二三回躍進シ敵前四〇〇米附近ニ達シ目視容易トナリ笠松ノ右ノ工事ニ敵兵約十名增加ス

第二分隊ハ第六分隊ノ左ニ增加ス

第一分隊ハ要圖ノ位置ニ火線ヲ構成ス

分隊長ノ號令

小隊ノ射撃目標ハ前方臺上ノ大キナ松ノ直ク右ニアル工事ノ中央ヨリ左ノ臺上ノ敵

分隊ノ射撃スヘキ部分ハ大キナ松ノ直ク左下ノ工事及其左ノ工事ニ據レル敵

目標

一番右ニ在ル兵ハ大キナ松ノ直ク右ノ工事ニアル敵

次ノ三名ハ大キナ松ノ直ク左ノ輕機其他ハ其左ノ小銃兵

分隊ノ射撃目標

大キナ松ノ直ク右ニアル工事ノ中央ヨリ左笠松ノ直ク左ノ輕機關銃陣地ニ亘ル間ノ敵

第二分隊ハ火線ヲ增加シ其ヨリ左ノ敵ヲ射撃ス

附圖第四 指導要圖

附表第五

鐵條網破壞班教育指導計畫

立案ノ基礎　二年兵ノ第一期末ニ於テ別項主要演練事項ヲ徹底セシメ以テ比較的實施回數少ナキ此種動作ノ特異ナル點ヲ會得セシメントス

課目及主要演練事項　輕易ナル障碍物ヲ有スル陣地ニ對スル攻撃ニ於テ小隊ノ突撃路開設ノ爲派遣セラレタル鉄條網破壞班ノ強行破壞ノ動作

一、煙幕及射撃援護ノ下ニ近接ノ要領（築教三八三）

二、強行破壞法（築教二〇二、二〇五、二〇七、三七四）

三、破壞後ノ處置（築教三八一、三八二）

教令

一、敵ハ實員及幕的的標旗ヲ以テ示ス

二、工事幕的ハ立射散兵壕トス

三、鉄條網ハ實物及擬製ヲ以テ示ス

四、稍〻破壞セラレタル箇所ハ我カ砲撃ニ依ルモノトス

五、隣接部隊ハ藍色旗ヲ以テ示ス

六、敵陣地前ノ煙ハ我カ煙幕射撃ノ狀態ヲ示ス

演習部隊ニ關スル事項

一、編成　伍長　一、兵卒　四

二、服裝　軍裝（入組品ヲ除ク）

三、携行品　鉄條鋏四、手旗一組、白帶各人空包五發、白帶所要筆記具

四、集合場所　南ノ森南端

五、集合時刻　午前九時

友軍ノ標示

一、人員　兵卒　四

二、材料　五人連續幕的　二
赤白旗（大）一
發煙劑　三

三、集合場所　南ノ森東南端

四、集合時刻　午前八時

一、人員　上等兵一、卒一五、
内一〇ハ鉄條網設備後演習部隊ニ參加ス

二、服裝　軍裝（背嚢ヲ除ク）
空包、輕機關銃百發
小銃五〇發　輕機關銃（屬品共）一、幕的的二〇、擬製鉄條網若干、工事幕的五、
鉄線（八番）若干
輕機關銃標旗　二、

三、携行品

四、集合場所　笠松臺

五、集合時刻　午前八時

假設敵ニ關スル事項

戰況	著眼	指導要領	原案	時間
一、敵ハ一昨日來此ノ前面ニ於テハ小室高地ヨリ大松高地笠松臺ヲ經テ歩兵作業場附近ニ亘リ陣地ヲ占領シ在リ 此敵ヲ攻撃スル中央大隊ノ左第一線タル當中隊ハ笠松臺ノ敵ヲ攻撃シ其後端ノ線ニ進出セントス 二、第二小隊ハ中隊ノ第一線左小隊トシテ現在地附近ニ於テ突撃ノ準備中ナリ機關銃小隊ハ彼ノ位置ニ於テ中隊ノ突撃ニ協力ス 三、當分隊ハ第二小隊ノ第四分隊トス、第二小隊ハ右ヨリ第五、第一、第六、第二分隊援隊、左翼後、其ノ關係位置現在見ル通リ 四、第二小隊ノ突撃ニ關スル命令（破壞班ニ必要ナルモノノミ） 1. 小隊ハ(33)ノ陣地ヲ奪取シテ(57)ノ線ニ進出セントス 2. 某伍長ハ部下四名ヲ以テ第二破壞班トナリ我煙幕及射撃援護ノ下ニ(33)西方彼ノ鉄條網ノ位置ニ先行シ突撃路ヲ開設スヘシ（出發時機ハ後命ス） 任務達成後ハ其ノ位置ニ止リテ突撃部隊ト共ニ突入スヘシ 3. 第一破壞班ハ砲撃ニ依リ開設セルアノ突撃路ノ破壞ヲ補足ス	一、出發準備	一、敎令、戰況ヲ示シ小隊長トシテ命令ヲ與ヘ演習開始時ノ隊勢ヲ取ラシメタル後狀況開始ヲ命シ著眼第一ヲ檢ス 班長ノ意ノ如ク動作セシメ若シ不備ナル點アラハ注意ヲ述ヘ原案ヲ示ス	一、分隊中ニ於テ勇敢ナル兵卒四名ヲ選定シ殘餘ハ先任上等兵ヲシテ分隊長代理ヲ命シ指揮セシム 背嚢ヲ卸シ器具及鉄條鋏ヲ腰ニ着ケ運動自由ナル服裝ヲナサシム（二〇六） 部下ニ任務ヲ下達シ良ク其開設位置ヲ了解セシメ最初破壞スル者ト豫備員トニ區分シ置ク（A） 林縁（B）マテ前進シ小隊長ノ出發命令（煙幕射撃開始）ヲ待チツツ前進ノ機ヲ伺フ 破壞完了ノ記號ヲ小隊長ト約束	30分間

四、第二小隊ノ突撃ニ關スル命令（破壊班ニ必要ナルモノノミ）

1. 小隊ハ(33)ノ陣地ヲ奪取シテ(57)ノ線ニ進出セントス
2. 某伍長ハ部下四名ヲ以テ第二破壊班トナリ我煙幕及射撃援護ノ下ニ(33)西方彼ノ鉄條網ノ位置ニ先行シ突撃路ヲ開設スヘシ（出發時機ハ後命ス）
3. 第一破壊班ハ砲撃ニ依リ開設セルアノ突撃路ノ破壊ヲ補足ス

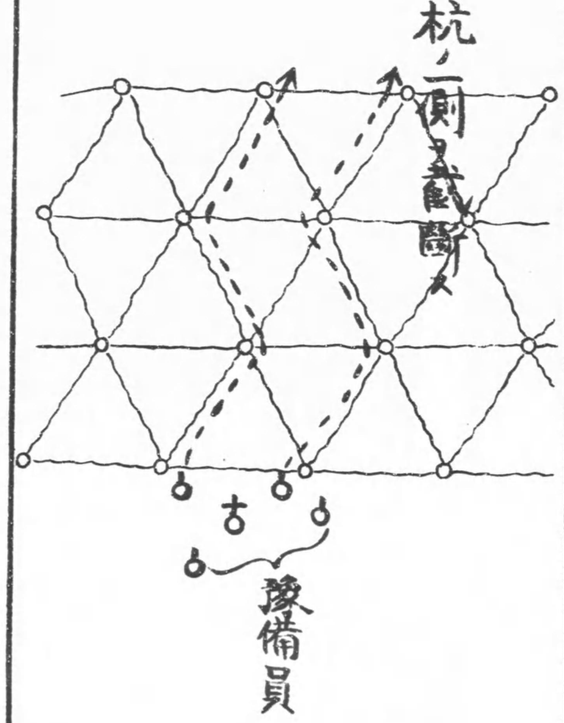
任務達成後ハ其ノ位置ニ止リテ突撃部隊ト共ニ突入スヘシ

時間	原案	要領	指導	著眼	況
30分間	一、分隊中ニ於テ勇敢ナル兵卒四名ヲ選定シ殘餘ハ先任上等兵ヲシテ分隊長代理ヲ命シ指揮セシム 背嚢ヲ卸シ器具及鉄條鋏ヲ腰ニ着ケ運動自由ナル服裝ヲナサシム（二〇六） 部下ニ任務ヲ下達シ良ク其開設位置ヲ了解セシメ最初破壊スル者ト豫備員トニ區分シ置ク（A） 林縁（B）マテ前進シ小隊長ノ出發命令（煙幕射撃開始）ヲ待チツツ前進ノ機ヲ伺フ 破壊完了ノ記號ヲ小隊長ト約束ス 二、早駈ヲ以テ一擧ニ開設位置（鉄條網前端）マテ前進ス 此ノ際煙幕ノタメ箇所ヲ誤ラサルヲ要ス	一、敎令、戰況ヲ示シ小隊長トシテ命令ヲ與ヘ演習開始時ノ隊勢ヲ取ラシメタル後狀況開始ヲ命シ著眼第一ヲ檢ス 班長ノ意ノ如ク動作セシメ若シ不備ナル點アラハ注意ヲ述ヘ原案ヲ示ス	一、出發準備	
15分間	二、我カ火線各分隊ヲ約二、三十米前進セシメ戰況標示掛ヲシテ發煙劑ニ點火セシメ出發ヲ命ス 班長ノ意ノ如ク動作セシメ要スレハ注意ヲ述フ	二、前進法			
15分間	三、鉄條網帶ニ直交セシ杭ノ一側ノミ鉄線ヲ截斷スルヲ要ス（要圖參照）（築敎二〇五、三八二） 四、敵火ノ損害ヲ顧慮スルコトナク迅速ニ之ヲ行フ（築敎二〇二） 班長ハ敵及部下ノ動作ヲ監視シ常ニ我作業ヲ妨碍スル敵ニ注意シ要スレハ援助射撃ヲ行フ 作業者負傷スレハ長ノ命ヲ待ツコトナク直ニ之ニ應シ交代シ作業ス	三、破壊スヘキ箇所 四、破壊ノ迅速 五、豫備員ノ動作		
15分間	六、破壊作業將ニ終ラントスルヤ時速ニ豫備ノ兵ヲシテ記號ヲ以テ小隊長ニ報告ス 破壊終レハ速ニ附近ノ彈痕ヲ利用シテ監視ス（築敎三八） 任務達成後ナルヲ以テ爾後ハ敵火ノ損害ヲ蒙ラサル如ク又我砲兵ノ集中射撃ヲモ顧慮シ部下ヲ掌握シ且後方突撃部隊ノ狀態ニ注意ス 七、砲兵ノ射程延伸セハ直ニ射撃ヲ開始シ我突撃部隊ノ到着マテ前面ノ敵ヲ猛射ス 小隊突入ト共ニ協力突入ス	六、友軍火線分隊ハ目下突撃ノ機ヲ伺ヒ我カ砲兵ハ前ノ臺上ニ集中射撃ヲ開始セリトノ狀況ヲ與フ 長ノ意ノ如ク動作セシム 要スレハ所見ヲ述ヘ原案ヲ示ス 七、突撃ニ協力	六、破壊後ノ處置	

附圖第五

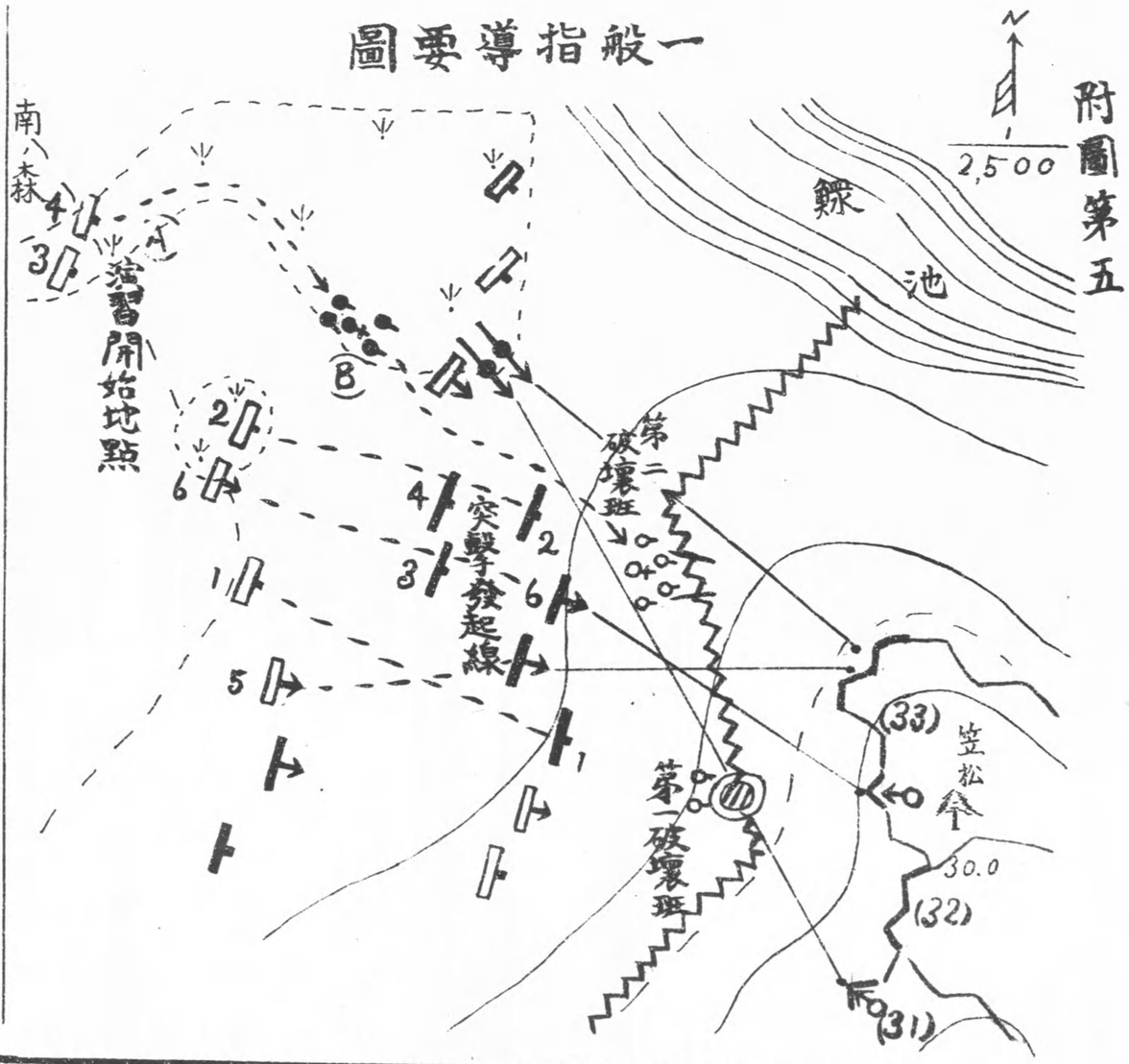
破壞要領圖

下



一般指導要圖

附圖第五



處置	
七、突撃ニ協力	ヲ伺ヒ我カ砲兵ハ前ノ臺上ニ集中射撃ヲ開始セリトノ狀況ヲ與フ 長ノ意ノ如ク動作セシム 要スレハ所見ヲ述ヘ原案ヲ示ス
七、	砲兵ノ射程ヲ延伸シ小隊ヲシテ突撃ヲ發起セシム
七、	ニ豫備ノ兵ヲシテ記號ヲ以テ小隊長ニ報告ス 破壞終レハ速ニ附近ノ彈痕ヲ利用シテ監視ス（築教三八） 任務達成後ナルヲ以テ爾後ハ敵火ノ損害ヲ蒙ラサル如ク又我砲兵ノ集中射撃ヲモ顧慮シ部下ヲ掌握シ且後方突撃部隊ノ狀態ニ注意ス 砲兵ノ射程延伸セハ直ニ射撃ヲ開始シ我突撃部隊ノ到着マテ前面ノ敵ヲ猛射ス 小隊突入ト共ニ協力突入ス
15分間	

附表第六

小銃分隊ノ突撃及敵陣内攻撃指導計畫

立案ノ基礎	歩兵操典二〇四—二〇七ノ一部ヲ訓練シ以テ此種戰闘ニ於ケル分隊長ノ獨斷應用ノ能力ヲ向上練磨セシメントス 被教育者ノ程度 分隊長　新任下士 兵卒　二年兵ノ第二期末
演習課目及主要演練事項	輕易ナル障碍物ヲ有スル陣地ニ對スル突撃及敵陣内ノ攻撃 一、突撃ノ諸準備 二、突撃發起及突入ノ動作 三、陣地奪取後ノ動作 四、比隣分隊トノ協同 五、敵陣内ニ於ケル機宜ニ適スル獨斷專行
演習部隊ニ關スル事項	編成　小銃一分隊(下士一、卒一〇)軍裝 其他　空包一〇〇發　擬手榴彈各人二發 集合　場所　笠松台西方二〇〇米 時間　午前九時開始
假設敵及其他ニ關スル事項	人員及材料　長下士一、兵卒六 輕機一(分隊長、射手、第一彈藥手ノミ)　空包二四〇發 五人連續幕的五、工事幕三、擬鉄條網若干、機關銃旗一、石灰若干 集合　場所　笠松台、時間　午前八時
友軍標示	人員材料　兵卒七(内五ハ分隊長) 白紙旗五(分隊号ヲ墨書ス) 機關銃旗一、赤旗一
敎令	敵ハ帽ニ白帶ヲ附セル實員、工事幕ハ陣地ヲ、五人連續幕的一ハ敵一〇名ヲ示ス、小隊内ノ分隊、友軍機關銃及第三小隊ハ標旗ヲ以テ示ス

戰況

一、敵ハ一昨日來小室高地ヨリ大松高地笠松臺ヲ經テ歩兵作業塲附近ニ亘リ陣地ヲ占領シアリ

二、中隊ハ此敵ヲ攻撃スル中央大隊ノ第一線左中隊トシテ笠松臺ヲ攻撃シ其後端ニ進出セントス

三、中隊ハ右ヨリ第一第二小隊ヲ第一線ニ、第三小隊ヲ豫備隊トシテ現在地附近迄ニ突撃ヲ準備ス

四、第二小隊現在ノ隊勢ハ右ヨリ第一、第五、第六、第二分隊火線、第三、第四分隊援隊、左翼後ニ在リ

五、當分隊ハ第二小隊ノ第一分隊

六、第二小隊長ノ下セル突撃命令(第一分隊ニ必要ナルモノノミ)

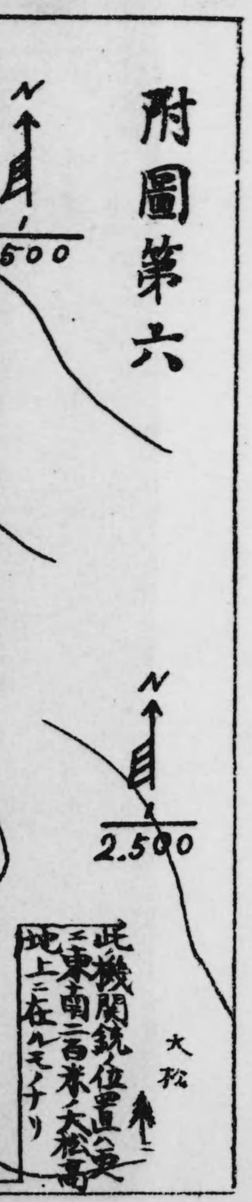
一、小隊ハ(33)ノ陣地ヲ奪取シテ(57)ノ線ニ進出セントス

二、第一分隊ハ(B)突撃路ヨリ(33)ノ輕機關銃陣地ニ突入スヘシ

三、第六分隊ハ主トシテ第一分隊ノ突撃ニ協力ス

第一回次

著眼點	指導要領	原案
一、任務、意圖ノ指示法	一、演習開始地點ニ於テ戰況ヲ示シ隊形ヲ取ラシム 情況 敵輕機關銃ノ火力猛烈ニシテ彈丸四周ニ來リテ土砂飛散シ部下ハ火力ノ發揚ニ專念シ彼我ノ銃聲熾烈ナリ 分隊長ノ任意ニ動作セシメテ著眼第一ヲ檢シ原案ヲ示ス	一、突撃發起ノ直前假令任務下達ノタメト雖モ分隊ノ射撃ヲ停滯セシムルハ不可、即チ分隊長ハ散兵線ニ匐匍シテ前進シ二、三ノ箇所ニ移動シテ其徹底ヲ圖ルヘシ、此時此危險ヲ冒シテ尙部下ヲ指導セントスル分隊長ノ努力コソ部下ノ信頼ヲ高メ分隊ノ團結ヲ鞏固ニシ肉彈克ク鉄壘ヲ破ルノ攻撃精神ヲ旺盛ナラシメ得ヘシ
二、突撃路ノ通過法	二、分隊長ノ任意ニ實施セシメ所見ヲ述ヘテ原案ヲ示ス	二、任務意圖指示ノ一例(歩操二四〇) 「分隊ハアノ突撃路ヲ通ツテアノ陣地(指示)ニ突入スル、突撃路ノ通過ハ中央ノモノ先頭ト[illegible]リ突撃路ノ[illegible]



附圖第六

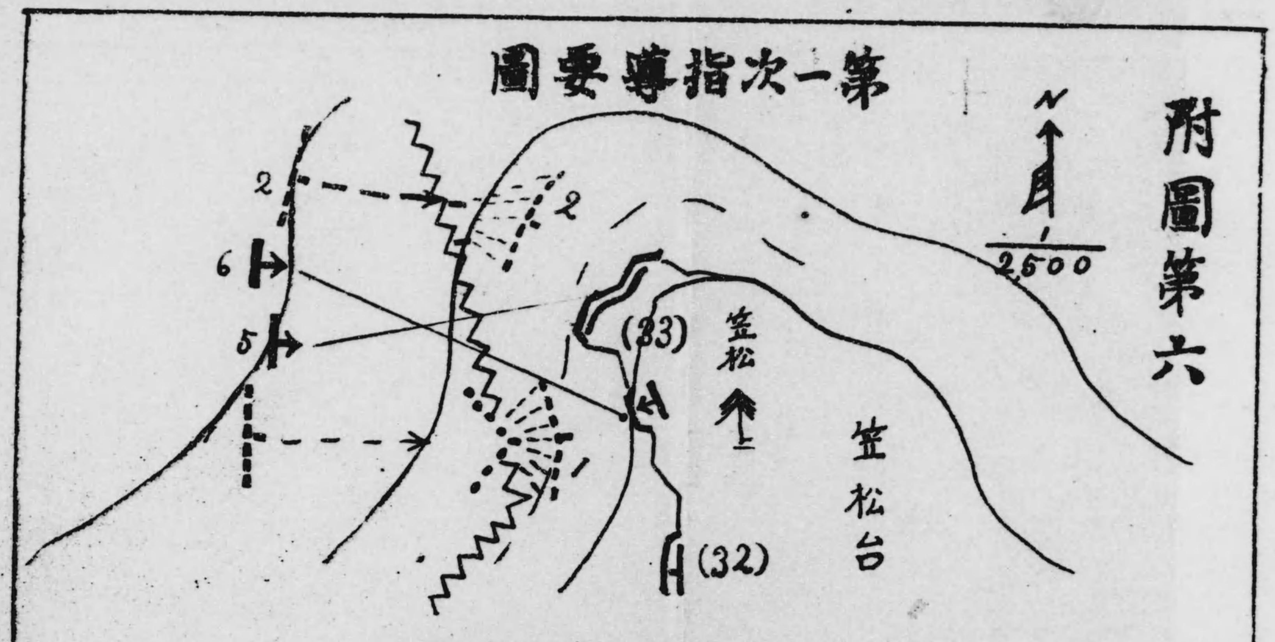
通過法	ヲ述ヘテ原案ヲ示ス	四〇）「分隊ハアノ突擊路ヲ通ツテアノ陣地（指示）ニ突入スル、突擊路ノ通過ハ中央ノモノ先頭トナリ突擊路ヲ出タナレハ兩翼兵ハ舊ノ通リ左右ニ延ヒテ隊勢ヲ整ヱヨ、第六分隊カ分隊ノ突入ヲ援助スル」
三、手榴彈ノ用法	三、兵卒ハ各自二發宛手榴彈ヲ携行シアルコトヲ傳ヱ分隊長ノ意志ノ通リ實施セシメ所見ヲ述ヘテ原案ヲ示ス	三、分隊ノ突擊目標タル敵ノ輕機ハ比較的集結シアルヲ以テ本情況ニ於テハ寧ロ突入直前手榴彈三、四發ヲ使用スルヲ可トス、友軍輕機關銃ノ協力有ルモ分隊ハ又自ラ之ヲ制壓セサルヘカラス（步操二〇六）
四、突擊發起ノ動作	四、陣地前ニ石灰ヲ飛散シテ友軍砲擊ノ狀況ヲ現シ機ヲ見テ小隊長トシテ突擊ノ命令ヲ下シ火線小銃分隊（友軍標示）ヲ突擊前進セシム	四、直ニ突擊ノ號令ヲ下シ分隊長ハ率先々頭ニ立チテ敵陣ニ突入スルタメ猛烈果敢ナル前進ヲ起ス（步操二〇五）

第二次	一、突入マデノ動作	一、分隊ヨク團結シテ突擊路ヲ通過シ所命ノ通リ散開セルヲ見レハ一名ヲ減ス（突擊路ニテ一名戰死セシム）敵陣地附近ニハ友軍輕機關銃ノ彈丸集中シテ土煙揚リ敵ノ火力稍〻衰ウ（射擊ヲ緩徐ニセシム）
	二、突擊	二、分隊ノ突擊ヲ奏功セシムルト同時ニ笠松方向ヨリ敵約十名ヲ（33）ニ向ヒ突進セシム（五人連續幕的一、前進）
	三、豫メ受ケタル任務ニ向ヒ邁進スルヤ	三、小隊主力ノ突擊奏功ノ緒見ヱタル頃大松高地上ニ敵機關銃ヲ現出シ爾後ノ戰鬪ヲ進捗セシメス（大松高地ニ機關銃旗ヲ現ハス）
	四、比隣分隊殊ニ輕機分隊トノ協調	四、小隊長ノ部署ニヨル擲彈筒ノ煙幕射擊ニヨリ敵機關銃ハ煙ニ蔽ハレ火力稍衰ウ小隊長ハ（57）方向ニ前進ヲ督勵ス（機關銃旗ヲ撤シ友軍部隊ヲ前進セシム
	五、逆襲ニ對シ機先ヲ制シテ擊滅スルノ著意ト意氣アリヤ	五、小隊主力概ネ笠松附近ニ前進スルヤ大松方向ヨリ敵五十名逆襲シ來ル（五人連續幕的五ヲ前進セシム）豫備隊タル第三小隊ハ增加ノタメ笠松臺上ヲ前進中（赤旗一本ヲ前進セシム）
	六、部下ノ掌握	六、第三小隊ノ增加ト笠松臺ニ進出セル機關銃ノ射擊援助ニヨリ逆襲部隊ヲ擊破シ小隊ハ一擧ニ（57）ヲ奪取スヘク隊勢ヲ整ヱ前進ス（友軍部隊ヲ前進セシム）

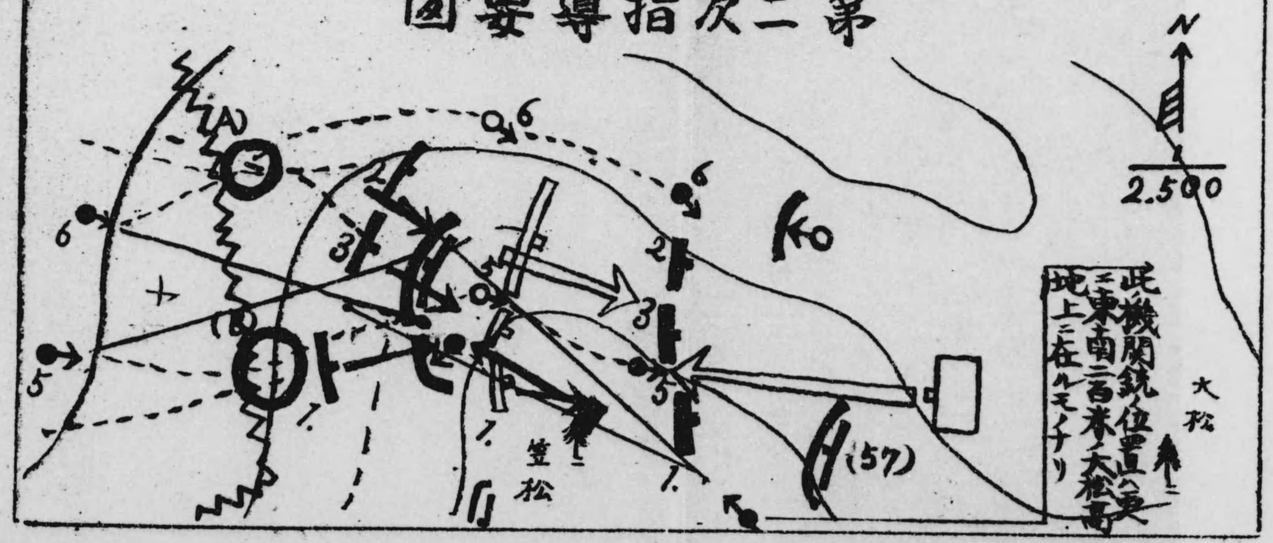
第二次	一、分隊長ハ率先先頭ニ立チ身ヲ以テ部下ヲ誘導シ適宜ノ地點ニ於テ手榴彈ノ投擲ヲ命シ其爆裂ノ機ヲ逸スル事ナク「突込メ」ヲ令シ敵輕機關銃陣地ニ突入ス（步操二〇五、二〇六）	一、分隊長ハ直ニ突進シ來リシ敵ヲ部下ニ指示シ敵ノ機先ヲ制シテ猛烈ニ突入ス、苦戰ノ後敵ヲ擊破シ隊伍ヲ整頓ス
	二、分隊長ハ直ニ部下ヲ附近適當ノ地點ニ停止セシメ敵機關銃ノ射擊ヲ被ルモ意トスルコトナク（57）ニ向ヒ續イテ攻擊近迫ニ努メ尙敵情ニ注意シ乘スヘキ弱點ノ看破ニ勉ム（步操二〇五）	三、分隊長ハ直ニ部下ヲ附近適當ノ地點ニ停止セシメ敵機關銃ノ射擊ヲ被ルモ意トスルコトナク（57）ニ向ヒ續イテ攻擊近迫ニ努メ尙敵情ニ注意シ乘スヘキ弱點ノ看破ニ勉ム（步操二〇五）
	四、疲勞セル部下ヲ激勵シテ第五分隊ト協調シ其ノ射擊ヲ妨害セサル如ク前進ニ勉ム（步操二〇五）	四、疲勞セル部下ヲ激勵シテ第五分隊ト協調シ其ノ射擊ヲ妨害セサル如ク前進ニ勉ム（步操二〇五）
	五、分隊長ハ勇躍、機先ヲ制スルコトニ勉メ且ツ手榴彈ヲ投擲セシム（步操二〇六、二〇七）	五、分隊長ハ勇躍、機先ヲ制スルコトニ勉メ且ツ手榴彈ヲ投擲セシム（步操二〇六、二〇七）
	六、前進間部下ノ掌握ヲ確實ニシテ（57）ノ陣地ヲ示シ大松高地ノ機關銃ニ對シ地形地物ヲ利用シテ（57）ニ肉迫ス（步操二〇五）	六、前進間部下ノ掌握ヲ確實ニシテ（57）ノ陣地ヲ示シ大松高地ノ機關銃ニ對シ地形地物ヲ利用シテ（57）ニ肉迫ス（步操二〇五）

附圖第六

第一次指導要圖



第二次指導要圖



徐ニセシム）

	次	50分間
二	二、突　撃	二、分隊ノ突撃ヲ奏功セシムルト同時ニ笠松方向ヨリ敵約十名ヲ(33)ニ向ヒ突進セシム（五人連続幕的ニ、前進）
三、豫メ受ケタル任務ニ向ヒ邁進スルヤ	三、小隊主力ノ突撃奏功ノ緒見エタル頃大松高地上ニ敵機關銃ヲ現出シ爾後ノ戰鬪ヲ進捗セシメス（大松高地ニ機關銃旗ヲ現ハス）	三、分隊長ハ直ニ部下ヲ附近適當ノ地點ニ停止セシメ敵機關銃ノ射撃ヲ被ルモ意トスルコトナク(57)ニ向ヒ績イテ攻撃近迫ニ努メ尚敵情ニ注意シ乘スヘキ弱點ノ看破ニ勉ム（歩操二〇五）
四、比隣分隊殊ニ輕機分隊トノ協調	四、小隊長ノ部署ニヨル擲彈筒ノ煙幕射撃ニヨリ敵機關銃ハ煙ニ蔽ハレ火力稍衰ウ小隊長ハ(57)方向ニ前進ヲ督勵ス（機關銃旗ヲ撤シ友軍部隊ヲ前進セシム	四、疲勞セル部下ヲ激勵シテ第五分隊ト協調シ其ノ射撃ヲ妨害セサル如ク前進ニ勉ム（歩操二〇五）
五、逆襲ニ對シ機先ヲ制シテ撃滅スルノ著意ト意氣アリヤ	五、小隊主力概ネ笠松附近ニ前進スルヤ大松方向ヨリ敵五十名逆襲シ來ル（五人連續幕的五ヲ前進セシム）豫備隊タル第三小隊ハ増加ノタメ笠松臺上ヲ前進中（赤旗一本ヲ前進セシム）	五、分隊長ハ勇躍、機先ヲ制スルコトニ勉メ且ツ手榴彈ヲ投擲セシム（歩操二〇六、二〇七）
六、部下ノ掌握	六、第三小隊ノ増加ト笠松臺ニ進出セル機關銃ノ射撃援助ニヨリ逆襲部隊ヲ撃破シ小隊ハ一擧ニ(57)ヲ奪取スヘク隊勢ヲ整エ前進ス（友軍部隊ヲ前進セシム）	六、前進間部下ノ掌握ヲ確實ニシテ(57)ノ陣地ヲ示シ大松高地ノ機關銃ニ對シ地形地物ヲ利用シテ(57)ニ肉迫ス（歩操二〇五）

附表第七

輕機關銃分隊ノ突撃及敵陣内攻撃指導計畫

立案ノ基礎	簡單ナル戰況ノ波瀾ヲ基礎トシ歩操二三一―二三三ノ動作ヲ訓練シ終始分隊長ノ意圖ニ從ヒ擊手恰モ一体ノ如ク戰鬪シ得シメントス 被敎育者ノ程度、二年兵ノ第一期末
主要演練事項	一、小銃分隊ノ突擊援助 二、小銃分隊突入後ノ動作 三、敵陣内ニ於ケル積極的動作及小銃分隊トノ協調 四、彈藥手ノ小銃使用
敎令	敵ハ帽ニ白帶ヲ附セル實員、工事幕ハ陣地ヲ、五人連幕一ハ敵十名ヲ示ス 擬鐵條網ノ切レ目ハ破壞孔トス 隣接分隊長及其位置ハ標旗ヲ以テ示ス

演習部隊ニ關スル事項	編成	輕機關銃一分隊（下士一、卒七）	
	其他軍裝	空包 三六〇發	
集合	場所	南ノ森東南端	
	時間	午前九時開始（二時間）	
假設敵人員及其ノ他ニ關スル事項		長下士一、卒一五（空包一〇〇發） 輕機一（分、射、第一彈ノミ） 空包 二四〇、五人連幕的 五、 工事幕 三、擬鐵條網 若干、 機關銃旗 一、	
材料			
集合	場所	笠松臺	
	時間	午前八時	
友軍標示		上等兵 五（小隊内ノ分隊長） 白紙旗 五（分隊名ヲ墨書ス）	

回次		戰況
著眼點	指導要領	原案
第一	一、部下ニ任務ノ徹底	一、敵ハ一昨日來小室高地ヨリ大松高地、笠松臺ヲ經テ、歩兵作業場附近ニ亘リ陣地ヲ占領ス 二、此敵ヲ攻擊スル中央大隊ノ左第一線タル當中隊ハ笠松臺ヲ攻擊シ其後端ニ進出セントス 三、中隊ハ第一第二小隊ヲ第一線、第三小隊ヲ豫備隊トシテ現在地附近迄ニ突擊準備ヲ完了セリ 四、第二小隊ハ中隊ノ左第一線右ヨリ第一、五、六、二、分隊火線、第三、四分隊ハ援隊左翼後ニ在リ 五、當分隊ハ第二小隊ノ第六分隊 六、第二小隊ノ突擊命令（第六分隊ニ必要ナルモノノミ） (1) 小隊ハ(33)ノ陣地ヲ奪取シテ(57)ノ線ニ進出セントス (2) 第一分隊ハ(B)突擊路ヨリ(33)ノ輕機關銃陣地ニ突入ス (3) 第六分隊ハ主トシテ第一分隊ノ突擊ニ協力スヘシ
	二、任務ニ基ク銃ノ位置	
	三、小銃分隊突擊ノ際ノ火力援助	
第一	一、演習開始地點ニ於テ戰況ヲ示シ左右ノ關係、目標ノ情ヲ指示シテ隊形ヲ取ラシメ著眼ノ一ヲ點檢敎育ス	一、部下ニ分隊ノ任務自己ノ意圖及敵陣地ノ狀況等現地ヲ指示シツツ詳細ニ示シ第一分隊長ト突入前後ノ協調ヲナス
	二、第一分隊ノ突擊路ト突入スル陣地トノ關係ヲ顧慮シ其ノ位置ヲ選定セシメ適否ヲ檢ス	二、斜方向ヨリ火力ノ援助ヲナス而シテナルヘク長ク協力スル爲ニハ第二分隊ノ行動ヲ妨害セサル限リ左前方ニ位置スルヲ要ス
	三、小隊長トシテ突擊命令ヲ下シ小銃分隊ヲ突擊セシム 小銃分隊突擊路ヲ通過シ了ラントスルヤ笠松方向ヨリ約一〇〇名ノ敵ヲ(33)方向ニ增加セシメ、敵ノ輕機關銃ノ射擊ヲ中止セシメ故障ノ狀況ヲ現ス	三、敵ノ輕機ヲ猛射ス（歩操二三三）彈藥手モ彈藥ノ遞送ニ支障ナキ限リ小銃ヲ使用シ火力ヲ增加ス（歩操二二六） 友軍ニ危害ヲ及ホササル限リ前進スル敵ヲ射擊ス （薙射）（歩操二三三）

セントス

三、中隊ハ第一第二小隊ヲ第一線、第三小隊ヲ豫備隊トシテ現在地附近迄ニ突撃準備ヲ完了セリ

四、第二小隊ハ中隊ノ左第一線右ヨリ第一、五、六、二、分隊火線、第三、四分隊ハ援隊左翼後ニ在リ

五、當分隊ハ第二小隊ノ第六分隊

六、第二小隊ノ突撃命令（第六分隊ニ必要ナルモノノミ）

(1) 小隊ハ(33)ノ陣地ヲ奪取シテ(57)ノ線ニ進出セントス

(2) 第一分隊ハ(B)突撃路ヨリ(33)ノ輕機關銃陣地ニ突入ス

(3) 第六分隊ハ主トシテ第一分隊ノ突撃ニ協力スヘシ

第一次（50分）

回次	著眼點	指導要領	原案
一、部下ニ任務ノ徹底	一、演習開始地點ニ於テ戰況ヲ示シ左右ノ關係、目視シ得ル敵情ヲ指示シテ隊形ヲ取ラシメ著眼ノ一ヲ點檢教育ス	一、部下ニ分隊ノ任務自已ノ意圖及敵陣地ノ狀況等現地ヲ指示シツツ詳細ニ示シ第一分隊長ト突入前後ノ協調ヲナス	
二、任務ニ基ク銃ノ位置	二、第一分隊ノ突撃路ト突入スル陣地トノ關係ヲ顧慮シ其ノ位置ヲ選定セシメ適否ヲ檢ス	二、斜方向ヨリ火力ノ援助ヲナス而シテナルヘク長ク協力スル爲ニハ第二分隊ノ行動ヲ妨害セサル限リ左前方ニ位置スルヲ要ス	
三、小銃分隊突撃ノ際ノ火力援助	三、小隊長トシテ突撃命令ヲ下シ小銃分隊ヲ突撃セシム小銃分隊突撃路ヲ通過シ了ラントスルヤ笠松方向ヨリ約一〇名ノ敵ヲ(33)方向ニ增加セシメ、敵ノ輕機關銃ノ射撃ヲ中止セシメ故障ノ狀況ヲ現ス	三、敵ノ輕機ヲ猛射ス（步操二三三）彈藥手モ彈藥ノ遞送ニ支障ナキ限リ小銃ヲ使用シテ火力ヲ增加ス（步操二二六）友軍ニ危害ヲ及ホササル限リ前進スル敵ヲ射撃ス（薙射）（步操二三三）	
四、前進ノ時機	四、第六分隊ノ猛射ニヨリ敵ノ前進部隊ハ混亂シ小銃分隊ハ喊聲ヲ揚ケテ敵陣ニ突入シ將ニ格鬪ニ移ラントス前進セントスルヤ第二彈藥手ヲ戰死ノ狀況トス	四、分隊ハ機ヲ失セス左ノ突撃路ヨリ第二分隊ノ左前方地點ニ前進ス（步操二三三）分隊長ハ銃ノ位置選定及敵情觀察ノタメ先行スルヲ要ス別命ナクモ第三彈藥手ハ第二彈藥手ノ携帶彈藥及小銃ヲ携行シ後分隊長ニ報告シ分隊長ハ小銃ヲ第一彈藥手ニ持タシム	

第二次（50分）

回次	著眼點	指導要領	原案
一、小銃分隊ノ行動援助	一、突入セル小隊ハ劍戟相磨シ敵ト猛烈ナル格鬪中第六分隊勇躍シテ敵陣地附近ニ至ル此時大松方向ヨリ機關銃ノ射撃ヲ受ケテ小隊爲ニ動搖ス	一、分隊ハ取敢ス敵陣地ノ壕ヲ利用シテ停止直ニ機關銃ヲ射撃ス（連續點射）（步操二三二）彈藥手ノ小銃ヲ併用ス	
二、小銃ヲ以テスル掩護下ニ於ケル積極的行動	二、敵機關銃ヲ射撃中附近ニ殘存セル敵ヨリ手榴彈ヲ投ケラレ射ス手右手ヲ負傷	二、第一彈藥手ハ直ニ射手ト交代シ第一彈藥手ノ小銃ハ分隊長携行シ第五、六、彈藥手ハ左ニ迂回シテ突撃シ大松高地ノMG及ヒ(55)方向ニ對シ適當ナル射撃位置ヲ選定シテ分隊長ニ報告スルヲ要ス（步操二三三）	
三、逆襲ニ對スル動作	三、彈藥手ノ報告ニヨリ射撃位置ノ移動了ラントスルヤ大松高地方向ヨリ敵兵約五〇名逆襲シ來ル　彈藥手未タ來ラス中隊豫備隊ノ增加及友軍MGノ援助ニヨリ當面ノ敵ヲ撃破シ小隊ハ(57)ニ向ヒ攻撃前進ス	三、直ニ分隊長ノ携行セル彈藥ヲ以テ逆襲部隊ヲ射撃ス（薙射）（步操二三〇、二三二）彈藥手來ルヤ直ニ塡實ス直ニ凹地ヲ利用シ小隊ノ左前方ニ進出シ猛烈ナル火力ヲ以テ小隊ノ前進ヲ援助シ敵陣深ク侵入ス（步操二三二）	

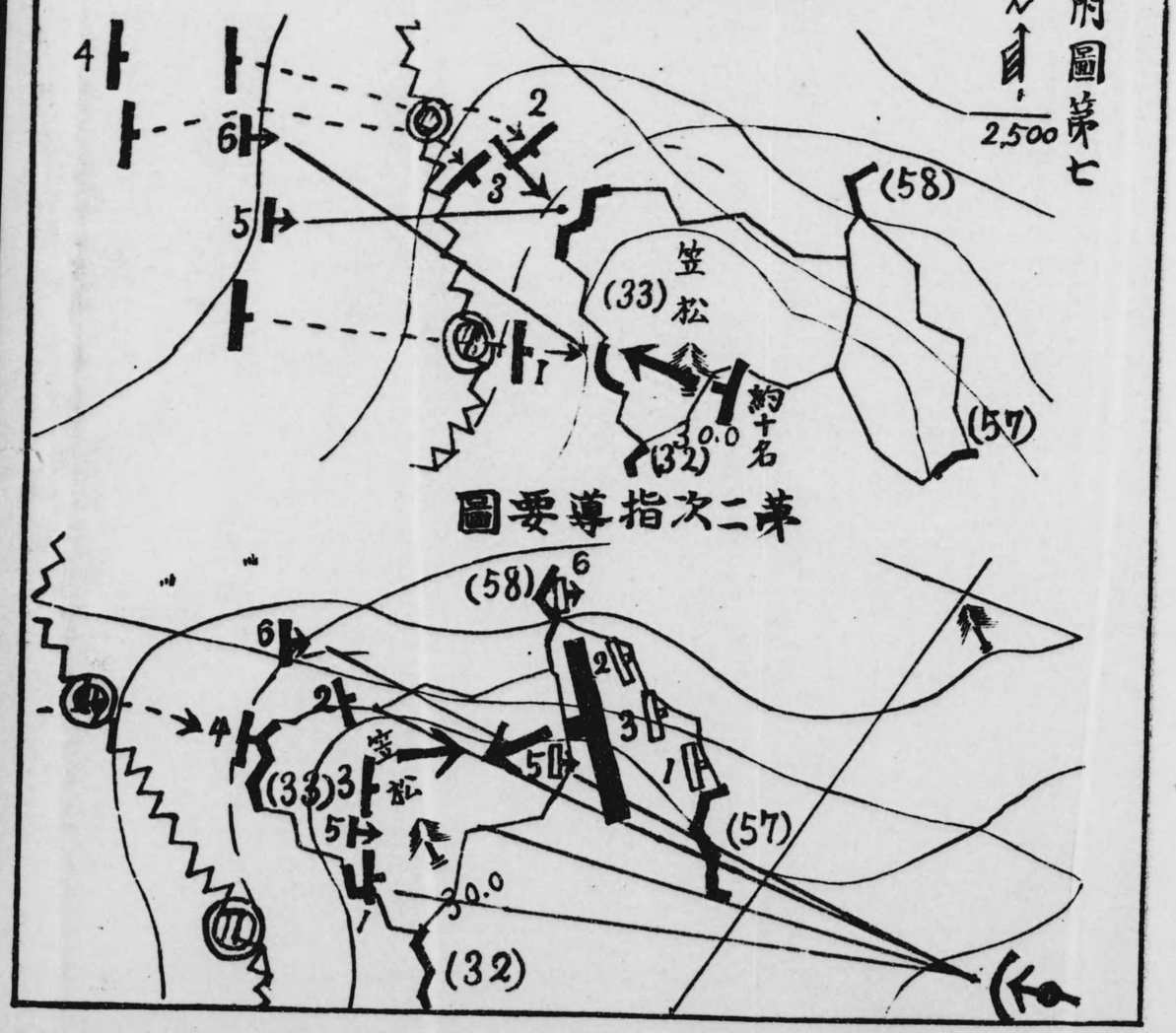
講評

笠松臺上ニ集合

敎練中ノ所見ヲ述ヘ演習ノ參

第一次指導要圖

附圖第七



第二次指導要圖

	第二次（50分）	講評
一、小銃分隊ノ行動援助	一、突入セル小隊ハ劍戟相磨シ敵ト猛烈ナル格闘中第六分隊勇躍シテ敵陣地附近ニ至ル此時大松方向ヨリ機關銃ノ射撃ヲ受ケテ小隊爲ニ動搖ス	笠松臺上ニ集合 教練中ノ所見ヲ述ヘ演習ヲ終ル
二、小銃ヲ以テスル掩護下ニ於ケル積極的行動	二、敵機關銃ヲ射撃中附近ニ殘存セル敵ヨリ手榴彈ヲ投ケラレ射ス手右手ヲ負傷	
三、逆襲ニ對スル動作	三、彈藥手ノ報告ニヨリ射撃位置ノ移動了ラントスルヤ大松高地方向ヨリ敵兵約五〇名逆襲シ來ル　彈藥手未タ來ラス	
	一、分隊ハ取敢ス敵陣地ノ壕ヲ利用シテ停止直ニ機關銃ヲ射撃ス（連續點射）（步操二三二） 彈藥手ノ小銃ヲ併用ス	
	二、第一彈藥手ハ直ニ射手ト交代シ第一彈藥手ノ小銃ハ分隊長携行シ第五、六、彈藥手ハ左ニ迂回シテ突撃シ大松高地ノMG及ヒ(55)方向ニ對シ適當ナル射撃位置ヲ選定シテ分隊長ニ報告スルヲ要ス（步操二三三）	
	三、直ニ分隊長ノ携行セル彈藥ヲ以テ逆襲部隊ヲ射撃ス（薙射）（步操二三〇、二三一） 彈藥手來ルヤ直ニ塡實ス 直ニ凹地ヲ利用シ小隊ノ左前方ニ進出シ猛烈ナル火力ヲ以テ小隊ノ前進ヲ援助シ敵陣深ク侵入ス（步操二三二）	

附表第八

中隊防禦配備ノ初期陣地前ニ在リテ警戒ニ任スル斥候教育計畫

立案ノ基礎	一、本計畫ハ別項主要演練事項ヲ徹底セシメ此種斥候ノ特異ノ點ヲ會得セシムルヲ目的トス 二、被教育者ハ一般斥候動作ノ概要ヲ會得セルモノトス
演習課目	稍ゝ緩ナル情況下ニ於テ防禦陣地ヲ構築ノ初期中隊ノ陣地前ニ派遣セラレタル斥候ノ捜索警戒ノ動作
演習部隊ニ關スル事項	一、人員　下士一、兵卒四 二、服裝　通常演習ノ服裝 三、集合場所　大松高地 四、集合時刻　午前九時 五、携行品　手旗一組、空包各人五發

戰況

一、敵ハ名古屋方向ヨリ東進中ニシテ午後二時乃至三時頃我陣地前ニ現出シ得ルノ距離ニアリ大隊ハ此敵ヲ拒止スル目的ヲ以テ笠松臺附近ヨリ小室高地ヲ經テ濱街道東方二軒屋ニ亘リ陣地ヲ占領シ中隊ハ其第一線右中隊トシテコノ笠松臺及大松高地ヲ占領セントス

第四中隊ノ一小隊ハ測點高地ヲ占領ス

右大隊ハ二軒茶屋ヨリ縣池東北地區ニ亘リ陣地ヲ占領スル筈

第三大隊ノ主力ハ警戒部隊トナリ向山、橋良、小濱ノ線ヲ占領スル筈

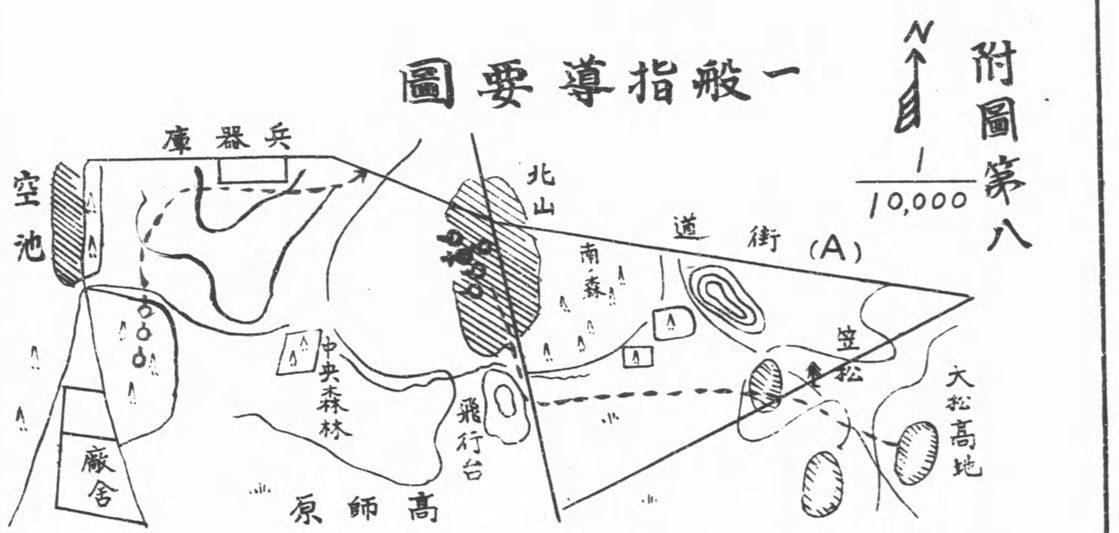
二、某軍曹ハ部下四名ヲ率ヒ中央森林東方台上ニ位置シ空池、觀測松、陸軍演習廠舍方向ニ對シ警戒スヘシ

主要演練事項	一、警戒位置ノ選定 二、捜索警戒ノ要領 三、通信連絡ノ方法
假設敵ニ關スル事項	一、人員　兵卒三 二、服裝　通常演習ノ服裝（背嚢ヲ除ク） 三、集合場所　觀測松 四、集合時刻　午前九時 五、携行品　白帶、空包十發、白旗一
教令	一、敵ハ帽ニ白帶ヲ附シタル實員 二、白旗ヲ携行セルモノハ敵騎兵斥候ヲ示ス

著眼指導要領	一、出發時ノ處置	一、全般ノ狀況及中隊長トシテ任務ヲ與ヘ演習ヲ開始シ著眼第一ヲ檢ス 二、斥候長ニ選定セシメ原案ノ如ク位置セシム 三、斥候北山西側附近ニ到ルヤ彼我ノ飛行機ノ盛ニ飛來セル狀況ヲ與フ 四、斥候長ハ說明ヲ加ヘ要圖ノ如ク位置セシム 五、現在地ニテハ水無川及演習廠舍附近ヲ十分監視シ得ス如何ナル方法ヲ採用スルヤ 六、如何ナル所ニ着意スルヲ可トス 七、現在地ニアリテハ村落ニヨリ中七、專任兵卒一名ヲ命シ記號ノ記入	一、任務ヲ復唱シ敵情ヲ充分諒解シ中隊長ト記號ヲ定メ任務及記號ヲ部下ニ告知ス 二、要圖ノ如シ 即チ陣地前ノ地形ノミナラス森林内及村落内ノ情況ヲモ偵察シ得且速ニ任地ニ到着シ得 三、斥候全員ニ僞裝ヲナシ蔭影ヲ利用シテ行動ス 四、中央森林ニ位置スレハ前方ノ通視良好ナレ共後方トノ連絡困難ニシテ且北山—空池道方面ノ狀況ニ對シ監視不十分ナリ 五、歩哨ノ動作ニ準ス、二名ヲ以テ監視セシメ一名ハ中央森林附近ニ時々派遣シ一名ハ直接報告等ノタメ斥候長使用ス 六、火藥庫附近、空池、林端、空池東南方森林、觀測松、廠舍附近	一、本計畫ハ別項主要演練事項ヲ徹底セシメ此種斥候ノ特異ノ點ヲ會得セシムルヲ目的トス 二、被教育者ハ一般斥候動作ノ概要ヲ會得セルモノトス 三、通信連絡ノ方法 四、警戒位置ノ選定 五、監視兵ノ配置 六、監視ノ要領 七、連絡ノ方法
時間	20分間		40分間
案			
原			
領			

附圖第八

一般指導要圖



中隊長ト特ニ定ムヘキ記号			
未ノ敵兵ヲ見ス	敵歩兵斥候現出ス	敵騎兵現出ス	敵兵退却ス
赤旗ヲ上下ス	赤旗ヲ丸ク振ル	白旗ヲ丸ク振ル	赤白旗ヲ左右ニ振ル
敵兵警戒線内ニ入ル			赤白旗ヲ上下ニ振ル

三、上空及地上ノ敵ニ對スル遮蔽	斥候北山西側附近ニ到ルヤ彼我ノ飛行機ノ盛ニ飛來セル狀況ヲ與フ	三、斥候各員ニ偽裝ヲ命ジ陰影ヲ利用シテ行動ス	
四、警戒位置ノ選定	斥候長ニ選定セシメ原案ノ如ク位置セシム 位置選定上注意スヘキ件ハ前方ノ通視良好ニシテ後方トノ連絡亦容易且上空及地上ノ敵ニ對シ遮蔽シアルコト等ナリ	四、斥候長ニ選定セシメ原案ノ如ク位置セシム ナラサル時ハ說明ヲ加ヘ要圖ノ	四、中央森林ニ位置スレハ前方ノ通視良好ナレ共後方トノ連絡困難ニシテ且北山—空池道方面ノ狀況ニ對シ監視不十分ナリ
五、監視兵ノ配置	五、現在地ニテハ水無川及演習廠舍附近ヲ十分監視シ得ス如何ナル方法ヲ採用スルヤ	五、步哨ノ動作ニ準ス、二名ヲ以テ監視セシメ一名ハ中央森林附近ニ時々派遣シ一名ハ直接報告等ノタメ斥候長使用ス	
六、監視ノ要領	六、如何ナル所ニ着意スルヲ可トスルヤ	六、火藥庫附近、空池、林端、空池東南方森林、觀測松、廠舍附近	
	20分間	40分間	

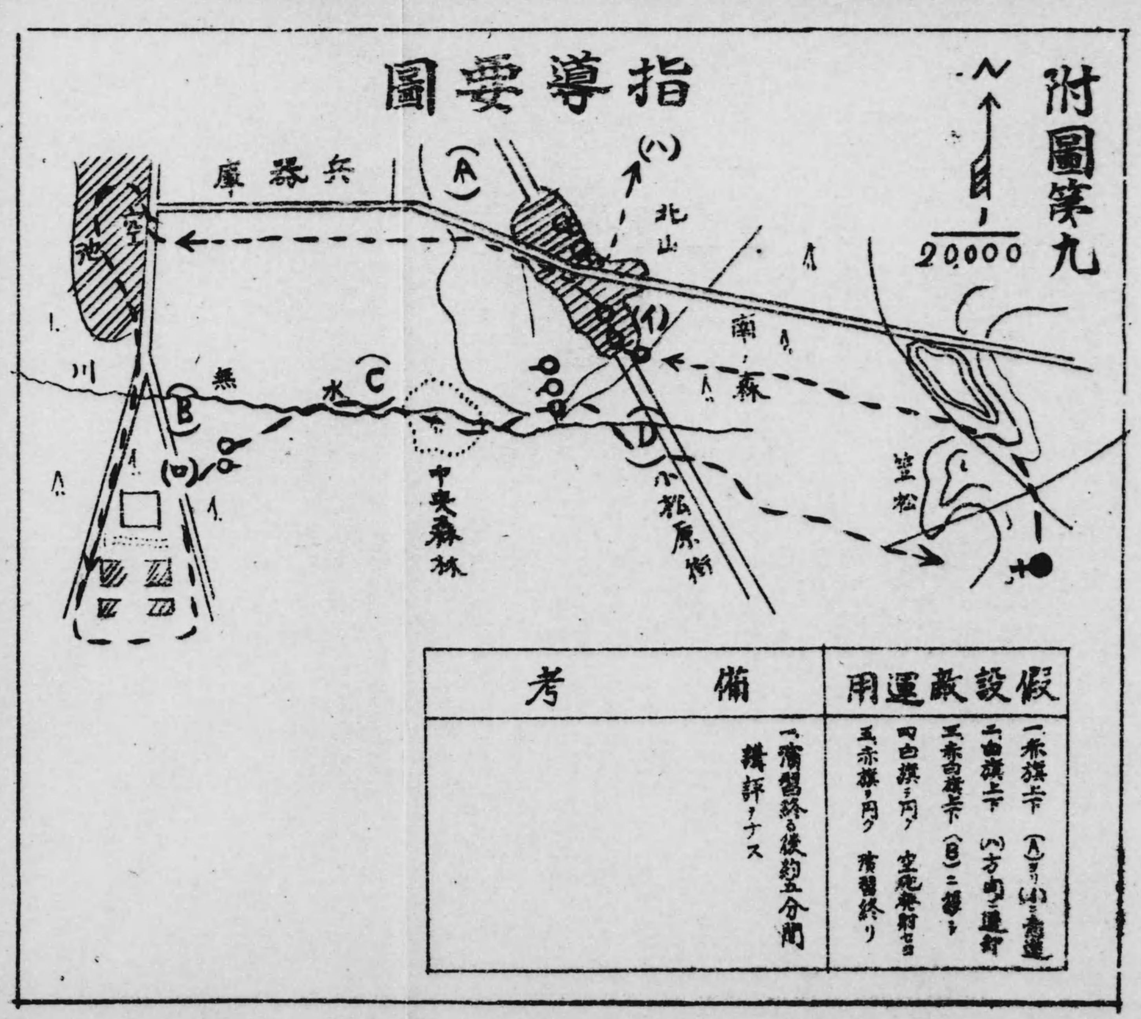
七、連絡ノ方法	七、現在地ニアリテハ村落ニヨリ中隊トノ連絡出來ス之ニ對シ如何ニスルヤヲ檢ス尙此場合手旗信號ノ通視距離ヲ試問ス	七、專任兵卒一名ヲ命シ記號ノ記入セルモノヲ交付シ連絡ノ際ハ飛行臺ヨリ實施セシム	
八、敵斥候ニ對スル動作	八、敵斥候二名ヲ空池方向ヨリ火藥庫南側ニ沿フ地區ヲ障碍物附近ヲ經テ小松方向ニ行動セシム（假設敵ニ對スル記號赤旗ヲ右左ニ振ル）敵斥候ハ我ヲ知レルヤ否ヤヲ試問シ斥候長ヲシテ意ノ如ク處置セシム	八、敵斥候ハ小松方向ニ前進シ更ニ迂回シテ侵入スル恐レアルヲ以テ斥候長ハ部下一名ヲシテ敵斥候ニ追尾セシメ其行動ヲ確メ同時ニ中隊ト連絡ス（手旗通信）	
	30分間		

附表第九

中隊防禦配備ノ初期陣地前方地區ノ捜索ニ任スル 斥候教育計畫

立案ノ基礎	斥候兵トシテノ動作ノ概要ヲ修得シタル兵卒ニ防禦配備ノ初期ニ於テ捜索ノタメ派遣セラレタル斥候長ノ動作ヲ教育スルヲ目的トス
主要演練事項	一、捜索計畫ノ要領 二、微弱ナル敵斥候ト遭遇セシ時ノ動作 三、地形ノ偵察法 四、友軍斥候トノ連絡法
演習部隊ニ關スル事項	一、人員　上等兵一、卒三 二、服裝　軍裝 三、集合場所　大松高地 四、集合時刻　午前八時三十分 五、携行品　手旗一、各自空包五

著眼指導要領	時間	教令	戰況
一、任務ノ了解 二、進路上ノ地形ヲ暗識 三、狀況判斷	20分間	一、人員　卒二 二、服裝　軍裝（背嚢ヲ除ク） 三、集合場所　北山十字路 四、集合時刻　午前八時 五、携行品　各自空包五、白帶ヲ要ス	一、敵ハ名古屋方向ヨリ續イテ東進中ニシテ概シテ午後二時乃至三時頃我陣地前ニ現出シ得ルノ距離ニアリ然レトモ騎兵ノ一部ハ既ニ豐川左岸地區ニ進入セルカ如シ　大隊ハ中地區隊ノ右第一線トシテ笠松附近ヨリ小室高地ヲ經テ濱街道東方二軒屋ニ亘リ陣地ヲ占領シ中隊ハ其ノ第一線右中隊トシテ此笠松臺ヨリ大松高地ニ亘リ陣地ヲ占領シ敵ヲ拒止ス 二、某上等兵ハ卒三名ヲ率ヒ南森、北山、空池、秣倉庫、廠舍及其附近ノ森ヲ捜索シ中央森林東方臺上ニ位置スル某斥候ト連絡ノ後中隊ニ歸還スヘシ　輕裝トス 特ニ南森ニ關シ部隊通過ノ難易及水無川ニ沿フ凹地ニツキ遮蔽ノ度ヲ報告スルヲ要ス
一、長ノミニ情況第二項ノ任務ヲ與フ 二、中隊ノ位置ニ至リ部下ヲ選定セシム（要務令一一二）　部下ノ服裝及携行品ノ點檢ヲナシ捜索計畫ヲ立案セシム 三、部下選定ハ教育附帶事項トシテ若干ノ教育ヲナス		一、人員　卒二 二、服裝　軍裝（背嚢ヲ除ク） 三、集合場所　北山十字路 四、集合時刻　午前八時 五、携行品　各自空包五、白帶ヲ要ス	一、敵ハ帽ニ白帶ヲ附ス實員ヲ以テ示シ白旗ヲ持ツモノハ其騎兵トス 二、脫帽者ハ戰傷シタルヲ示ス
一、示サレタル經路及特ニ要求サレタル事項ヲ圖上ニ記入シ復唱ス 二、進路上ノ地形特ニ南森、空池等捜索セントスル附近ノ狀態ヲ概ネ暗識ス 三、進路上ニ敵近接シアリヤヲ一般情況及任務ニ依リ判斷ス　部下ニ任務ヲ下達ス（要旨ヲ摘ミ現地ヲ指示シツツ）捜索上特ニ必要ナル地點及斥候止ムヲ得ス離散シタル時ノ集合位置ヲ示ス	40分間	一、人員　卒二 二、服裝　軍裝（背嚢ヲ除ク） 三、集合場所　北山十字路 四、集合時刻　午前八時 五、携行品　各自空包五、白帶	一、敵ハ名古屋方向ヨリ續イテ東進中ニシテ概シテ午後二時乃至三時頃我陣地前ニ現出シ得ルノ距離ニアリ然レトモ騎兵ノ一部ハ既ニ豐川左岸地區ニ進入セルカ如シ　大隊ハ中地區隊ノ右第一線トシテ笠松附近ヨリ小室高地ヲ經テ濱街道東方二軒屋ニ亘リ陣地ヲ占領シ中隊ハ其ノ第一線右中隊トシテ此笠松臺ヨリ大松高地ニ亘リ陣地ヲ占領シ敵ヲ拒止ス 二、某上等兵ハ卒三名ヲ率ヒ南森、北山、空池、秣倉庫、廠舍及其附近ノ森ヲ捜索シ中央森林東方臺上ニ位置スル某斥候ト連絡ノ後中隊ニ歸還スヘシ　輕裝トス 特ニ南森ニ關シ部隊通過ノ難易及水無川ニ沿フ凹地ニツキ遮蔽ノ度ヲ報告スルヲ要ス
四、報告ノ時機及要領 五、敵ト遭遇スルモ我ヲ知ラサル時ノ動作 六、南森ノ偵察法 七、水無川凹地ノ偵察	40分間	一、人員　卒二 二、服裝　軍裝（背嚢ヲ除ク） 三、集合場所　北山十字路 四、集合時刻　午前八時 五、携行品　各自空包五、白帶	一、敵ハ帽ニ白帶ヲ附ス實員ヲ以テ示シ白旗ヲ持ツモノハ其騎兵トス 二、脫帽者ハ戰傷シタルヲ示ス
四、斥候南森ノ經テ（イ）ニ至ルヤ（A）方向ヨリ南進スル敵ト不意ニ遭遇セシム　斥候ノ沈着剛膽ナルコトノ必要ナル所以ヲ敎育シ且報告ノ時機ヲ（要務令八三）ニ依リ指導ス 五、空池—廠舍ノ捜索ヲナシ（ロ）ニ至ルヤ（B）ニ於テ敵騎兵斥候ノ停止ン捜索中ナルヲ發見ス 六、南森（蔭蔽地）通過ハ豫メ目標ヲ定メ且部下ニモ示シ置クヲ可トスヘシ 七、遮蔽ノ度ヲ偵察スルニハ自ラ現地ヲ踏査シ實際ニ敵トシテ（B）—（C）—（D）間ヲ偵察ス	40分間	四、斥候ハ速ニ此敵ヲ擊退シテ中隊長ニ其旨報告ス 報告要領（要務令二九） 日時、場所、兵種、員數、動作 五、機ヲ失セス之ヲ射殺ス 六、目標トシテ北山ノ南端ヲ示シ斥候長ヲ基準トシテ八歩間隔ニテ前進ス　特ニ凹凸地、障碍物、密林ノ狀態ヲ偵察ス 七、（B）—（C）—（D）間ヲ偵察ス 特ニ笠松臺ノ陣地ニ對シ（B）—	



四、報告ノ時機及要領	四、斥候南森ノ縁ヲ(イ)ニ至ルヤ(A)方向ヨリ南進スル敵騎兵ト不意ニ遭遇セシム　斥候ノ沈着剛膽ナルコトノ必要ナル所以ヲ敎育シ且報告ノ時機ヲ(要務令八三)ニ依リ指導スル(要務令二九)ニ至ルヤ(B)ニ於テ敵騎兵斥候ノ停止ヲ捜索中ナルヲ發見スル時ノ動作	四、斥候ハ速ニ此敵ヲ撃退シテ中隊長ニ其旨報告ス 報告要領(要務令二九) 日時、場所、兵種、員數、動作
五、敵ト遭遇スルモ我ヲ知ラサル時ノ動作	五、空池—廠舎ノ捜索ヲナシ(ロ)ニ至ルヤ(B)ニ於テ敵騎兵斥候ノ停止ヲ捜索中ナルヲ發見ス	五、機ヲ失セス之ヲ射殺ス
六、南森ノ偵察法	六、南森(蔭蔽地)通過ハ豫メ目標ヲ定メ且部下ニモ示シ置クヲ可トスヘシ	六、目標トシテ北山ノ南端ヲ示シ斥候長ヲ基準トシテ八歩間隔ニテ前進ス　特ニ凹凸地、障碍物、密林ノ狀態ヲ偵察ス
七、水無川凹地ノ偵察法	七、遮蔽ノ度ヲ偵察スルニハ自ラ現地ヲ踏査シ實際ニ敵トシテノ行動ヲトリ偵察スルヲ要ス　特ニ(C)附近ニ於テ綿密ナルヲ要ス	七、(B)—(C)—(D)間ヲ偵察ス　特ニ笠松臺ノ陣地ニ對シ(B)—(C)間ハ立姿ニテ遮蔽シ得ル所及其幅ヲ又川底ハ部隊通過ニ支障ナキヤ等ヲ偵察ス
八、連絡ニ際シ敵ニ對スル動作	八、中央森林東方臺上ニ駐止スル友軍斥候トノ連絡ニ際シ近接スル時及出發スル時敵ニ其位置ヲ判斷セシメサルコトニ注意セシム	八、部下ハ蔭蔽地ニ停止セシメ長ノミ其位置ニ到ル
九、連絡スヘキ件	九、兩斥候ノ得タル敵情、地形其他ノ事項ノ通報要領ヲ檢ス	九、敵情ニ就テ敵斥候ノ件ヲ知ラシ且先方ノ得タル情況ヲ聞ク　地形ニ就キ中央森林以西ノ地區及秣倉庫附近ノ狀態ヲ通告ス、其他中隊長ニ傳フヘキ件ナキヤヲ尋ス
	40分間	40分間

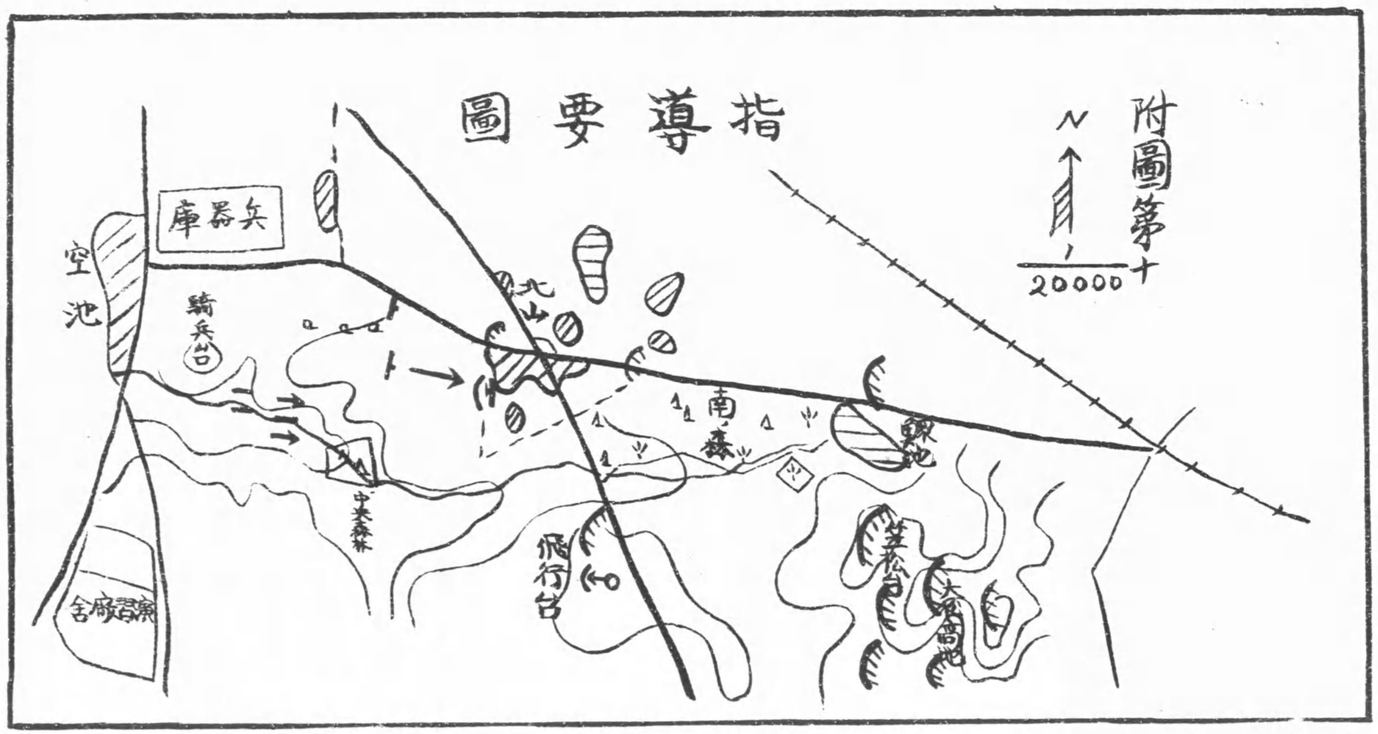
附表第十

中隊陣地前ニ出ス監視部隊教育計畫（其一）

立案ノ基礎	本計畫ハ改正歩兵操典ニ明記セラレタル監視部隊ノ要領ヲ兵卒ニ普及シ前哨勤務ノ歩哨トノ差異ヲ知悉セシメ併セテ別項主要演練事項ヲ徹底セシムルヲ以テ目的トス
主要演練事項	一、監視連絡ノ動作 二、工事實施ノ著眼 三、敵ノ攻撃ニ對スル動作 四、後退時機及其要領
演習部隊ニ關スル事項	一、人員　上等兵一、卒四 二、服裝　軍裝 三、集合時刻　午前十一時 四、集合場所　大松高地 五、携行品　手旗一組

戰況	教令
一、名古屋方向ヨリ東進セル敵ハ續テ前進中ニシテ概ネ本日午後二時乃至三時頃ニハ我陣地前ニ現出スルノ距離ニアリ　大隊ハ中地區隊ノ中央大隊トシテ笠松臺附近ヨリ濱街道ニ亘リ陣地ヲ占領ス 二、中隊ハ大隊ノ右中隊トシテ笠松臺及大松高地ヲ占領ス第四中隊ノ一小隊ハ測點高地ヲ占領シ第三大隊ノ主力ハ警戒部隊トナリ橋良、小濱、向山ノ線ヲ占領ス某軍曹ノ指揮スル斥候ハ北山西側附近ニアリテ警戒中ナリ 中隊長命令 某上等兵ハ部下四名ヲ指揮シ監視部隊トナリ北山二軒屋西側小松並木附近ニ至リ該地附近ニ警戒中ナル某軍曹ノ斥候ト交代シ特ニ小松西方及空池方向ヲ警戒スヘシ撤退ハ警戒部隊撤退後ニ於テ敵ノ部隊近接ニ伴ヒ南森南側森縁ニ沿ヒ後退スヘシ	一、敵ハ帽ニ白帶ヲ附ス 二、赤旗一本ハ敵ノ歩兵一小隊 三、連接幕的ハ一分隊ヲ示ス 四、小隊長ハ指導官之ヲ兼ヌ
假設敵ニ關スル事項	一、人員　卒七名 二、服裝　軍裝（背嚢ヲ除ク） 三、集合時刻　午前十一時 四、集合場所　中央森林 五、携行品　赤旗一、連接幕的一
友軍標示ノ材料	一、人員　五名 二、服裝　演習部隊ニ同シ 三、携行品　工事幕的一、手旗一組 各個幕的二、空包二〇

著眼	指導要領	原案
一、出發時ニ於ケル諸準備	一、一般ノ狀況及中隊長トシテ別項ノ命令ヲ下シ演習ヲ始ム 中隊トノ連絡ノ爲別項規定ノ記號ヲ示ス（筆記）	一、任務ヲ復唱シ服裝及彈藥ノ點檢ヲナシ部下ニ任務ヲ告知シ必要ナル注意ヲ與ヘ尚時計ヲ合ス
二、先方到着時ノ動作	二、進路ハ南森南側ヲ經テ前進スルナラン　任地ニ到着セハ某軍曹ノ斥候（假設）ヨリ左ノ申送リヲナサシム	二、上等兵ハ斥候長ヨリ申送リヲ受ケ直チニ任務ニ服シ二名ヲ監視者トナシ前哨勤務ノ歩哨ニ準シ特別守則ヲ與ヘ一名ヲ以テ北山西北側ニアル右中隊ノ監視部隊トノ連絡ヲ取リ一名ヲ以テ歩哨ノ僞裝ヲナス
三、監視連絡ノ處置	三、飛行台ヨリ連絡兵一名來ル 此方向ヘ後退スル豫定ナリト	三、選任卒一名ヲ以テ飛行臺ノ監視部隊トノ連絡ニ任セシム
四、工事ヲナスノ著意アリヤ及其實施要領	四、若シ工事ヲナスノ著意ナキ時ハ其不可ナルコト（原案）ヲ示シ實施セシム　監視部隊ハ持久防禦ナルヲ以テ時間ノ許限リ工事ヲ實施シ以テ任務達成ヲ容易ナラシムヘキコトヲ注意ス	四、敵ノ近接スルマテハ尚二時間半アリサレハ兵卒ハ先ツ各個ノ膝射用散兵壕ヲ構築ス但此間特ニ警戒ヲ怠ラサルコト緊要ナリ
五、警戒部隊撤退時ニ於ケル動作	五、空池方向ヨリ逐次警戒部隊ノ撤退セル狀況ヲ示ス	五、警戒部隊ヨリ敵情ヲ聽取ス
六、警戒部隊撤退後ニ於ケル警戒必設警戒ノ	六、中央森林及空池方向ヨリ敵歩兵ハ射撃ヲ以テ之ヲ撃退ス	六、全員監視ニ任シ選任連絡兵ハ後方ニ位置セシム　敵斥候近接セハ射撃ヲ以テ之ヲ撃退ス



	作
六、警戒部隊撤退後ニ於ケル警戒心及警戒ノ要領	五、空池方向ヨリ逐次警戒部隊ノ撤退セル狀況ヲ示ス 六、中央森林及空池方向ヨリ敵ノ徒歩斥候現出ノ狀況ヲ示ス
七、敵ノ攻撃ニ對スル動作	七、敵ノ主力ハ我ニ近接シ空池及觀測松附近ニ密集部隊アルカ如キ狀況ヲ與フ　斯クスル内約一小隊ノ敵ハ水無川ニ沿ヒテ前進シ來リ兩監視部隊ニ向ヒ前進シ來ルノ狀況ヲ與フ
八、後退ノ時機	八、此監視部隊ハ約一分隊又飛行臺隊ノモノハ約一小隊ノ攻撃ヲ受ケ右中隊ノ監視部隊ニハ約十數名ノ敵カ攻撃中ナルコトヲ示ス
九、後退ノ要領及後退路ノ選定	九、前面ノ敵ヲシテ猛烈ニ攻撃セシム　敵ノ約一小隊ハ逐次飛行臺ニ向ヒ近接中ニシテ中央森林附近ニハ約百名餘リノ敵ノ前進中ナルノ狀況ヲ與フ
十、隣接監視部隊トノ連繫協調	十、動作指導者ノ原案ニ反スレハ復行シ徹底セシムヘキコトヲ

	成ヲ容易ナラシム 注意ス
	六、全員監視ニ任シ選任連絡兵ハ後方ニ位置セシム　敵斥候近接セハ射撃ヲ以テ之ヲ撃退ス 中隊ニ徒歩斥候近接ノ狀況ヲ報告ス（手旗使用）
	七、敵ノ部隊ヲ發見スルヤ直チニ中隊ニ連絡スルト同時ニ飛行臺ノ監視部隊トモ連絡ス　漸次敵ノ近接ニ伴ヒ射撃ヲ以テ前進ヲ妨害ス此際特ニ一局部ニ捉ワレ敵ニ包圍セラレサルコト必要ナリ
	八、過早ニ後退スレハ飛行臺ノ友軍ニ危害ヲ及ホシ徐リ永ク抵抗セハ退路ヲ斷タルル虞レアリ而シテ任務ニ基キ成ルヘク永ク敵ノ前進ヲ妨害シ敵カ二三百米附近ニ來リシ時後退スルヲ可トス
	九、監視部隊ハ後退ス而シテ後退ノ途中小松原街道附近ニ於テ一時停止シ左監視部隊ノ翼ヲ掩護シ協力シツツ後退ス 中隊ノ陣地ニ歸來セハ中隊長ニ復命シ敵情ヲ報告シ其指示ヲ受ク

附表第十一

中隊陣地前ニ出ス監視部隊教育計畫（其二）

立案ノ基礎	監視部隊命令ヲ受ケ任務ニ就キ爾後敵ノ壓迫ヲ受ケテ中隊位置ニ後退スル迄ノ動作ノ要領ヲ基礎的ニ教育セントス
主要演練事項	一、任地ニ到着スルマデノ動作 二、任地ニ到着直後ノ動作 三、監視、連絡ノ方法手段 四、敵兵現出時ノ動作 五、後退ノ動作
戰況	一、名古屋方向ヨリ東進セル約一師團ノ敵ハ續テ前進中ニシテ概ネ本日午後二時乃至三時頃ニハ我陣地前ニ現出スルノ距離ニアリ　大隊ハ中地區隊ノ中央大隊ト中隊ハ大隊ノ右中隊トシテ笠松臺及大松高地ヲ占領ス第四中隊ノ一小隊ハ測點高地ヲ占領シ第三大隊ノ主力ハ警戒部隊トナリ橋良、小濱、向山ノ線ヲ占領ス 三、某軍曹ハ部下分隊及輕機第六分隊（第三彈藥手以下ヲ除ク）ヲ併セ指揮シ飛行台ニ至リテ監視部隊トナレ 四、特ニ二軒屋附近ニ在ル某監視部隊及測點高地ニ在ル占領部隊ト連絡シ成ル可ク長ク敵ノ近接ヲ妨害スヘシ 五、報告、連絡ハ手旗ヲ以テ行フヘシ之カタメ中隊ノ受信者ハ大松高地ニ出ス 六、敵ノ壓迫ヲ受クレハ南ノ森林緣ニ沿ヒ後退スヘシ
課目	一、人員　小銃分隊長　某軍曹 小銃一分隊（兵卒十名） 輕機一分隊（但シ第三彈藥手以下ヲ除ク）
著眼點	二、集合場所　大松高地 三、集合時刻　午前十一時
指導要領	四、服裝　軍裝
原案	
時間	

課目	著眼點	指導要領	原案	時間
任地ニ到着スルマデノ動作	一、陣地偵察	一、部下ニ仟務ノ要點下達	大松台上ニ於テ現地ニ指示シツツ命令ヲ與ヘ若干時ノ後任地ニ至ルマデノ腹案ヲ立テシメ適否ヲ教育シ原案ヲ示シテ次テ原案ヲ示シテ動作セシム	30分間
任地到着直後ノ動作	二、工事ノ立案 三、監視	二、前進法 三、前進ニ當リ長ノ處置	長ハ任務中主要ナル部分（監視部隊トナリ敵ノ近接妨害）等ヲ示而シテ現在ハ敵ニ對スル顧慮少キヲ以テ速ニ任地ニ直進ス、長ハ任地着後ノ動作ヲ迅速容易ナラシムルタメ部隊ノ引率ハ輕機分隊長ニ命シ卒一ヲ率ヒテ先行ス	20分間
監視及連絡ノ手段方法	一、左、右及中隊トノ連絡 二、近接ノ妨害 三、友軍斥候トノ協力	長ノ連絡ニ對スル着手遲キ時ハ命令四ヲ復唱セシメ、注意ヲ喚起ス	右監視部隊トノ連絡ハ日視ニテモ可ナリ第四中隊トノ連絡ハ上等兵ヲ用ヒ其配備、後退時、今迄ニ得タル敵情等ヲ知ルヲ要ス、中隊トノ連絡ハ後方道路附近ニ位置ヲ選定セシメ、中隊受信者ヘ「所命地到着」ヲ通信セシメ其能不能ヲ檢ス　監視ハ各分隊工事終ルマテ卒一、及長之ニ任シ工事終レハ各分隊一名宛ト分隊長之ニ任ス	30分間
	一、現出直後ノ動作 二、近接ノ妨害 三、友軍斥候トノ協力	是ヨリ先警戒部隊後退ノ狀況ヲ與フ 騎兵臺、觀測松方向ニ斥候二、三群ヲ行動セシメ次ニ空池方面ヨリ約一中隊ノ敵	敵ノ捜索ヲ妨害スル任務上斥候ト雖、我カ射界ニ入ラハ射殺又ハ驅逐スルヲ要ス、有力ナル部隊現出セハ直ニ中隊ニ報告スルト共ニ全力ヲ揮ヒ殊ニ輕機關銃威力ヲ利用シ極力近接動作ヲ妨害シテ我陣地	

監視及連絡ノ手段方法	一、左、右及中隊トノ連絡 二、近接ノ妨害 三、友軍斥候トノ協力	長ノ連絡ニ對スル着手遲キ時ハ命令四ヲ復唱セシメ、注意ヲ喚起ス	右監視部隊トノ連絡ハ目視ニテモ可ナリ第四中隊トノ連絡ハ上等兵ヲ用ヒ其配備、後退時、今迄ニ得タル敵情等ヲ知ルヲ要ス、中隊トノ連絡ハ後方道路附近ニ位置ヲ選定セシメ、中隊受信者ヘ「所命地到着」ヲ通信セシメ其能不能ヲ檢ス　監視ハ各分隊工事終ルマテ卒一、及長之ニ任シ工事終レハ各分隊一名宛ト分隊長之ニ任ス
			30分間
敵現出時ノ動作	一、現出直後ノ動作 二、近接ノ妨害 三、友軍斥候トノ協力	是ヨリ先警戒部隊後退ノ狀況ヲ與フ　騎兵臺、觀測松方向ニ斥候二、三群ヲ行動セシメ次ニ空池方面ヨリ約一中隊ノ敵現レ中央森林ニ入リ其一小隊ヲシテ森林北側地區ヨリ監視部隊ヲ攻擊セシム	敵ノ搜索ヲ妨害スル任務上斥候ト雖、我カ射界ニ入ラハ射殺又ハ驅逐スルヲ要ス、有力ナル部隊現出セハ直ニ中隊ニ報告スルト共ニ全力ヲ揮ヒ殊ニ輕機關銃威力ヲ利用シ極力近接動作ヲ妨害シテ我陣地ヲ掩蔽スルト同時ニ後方ノ敵情ヲ偵知シ報告ニ勉ム、此時中隊、大隊ヨリ出スル斥候ト緊密ナル連繫ヲナシ之カ報告ノ中繼トナリ或ハ之ヲ支援シテ其行動ヲ容易ナラシムル等敵ノ近接ニ從ヒテ最モ重要ナル價値ヲ發揮ス
			50分間
後退ノ動作	一、後退時期ノ看破 二、後退前ノ動作 三、後退ノ順序 四、後退中ノ動作 五、後退後ノ動作	敵ハ續テ攻擊前進シ右監視部隊ハ敵一分隊ノ攻擊ヲ受ケ逐次南ノ森方向ニ退却ス後退時期及後退ノ區署等ハ一時狀況ヲ中止シテ敎育シ、原案ノ如ク實施セシメ要スレハ復行セシメテ要領ヲ會得セシム	主陣地既ニ戰鬪準備ヲ完了セハ近接妨害ノ任務ヲ有スル小部隊徒ニ永ク留リテ離脫ノ機ヲ失ヒ決戰ヲ誘發スルハ戒メサルヘカラス、後退時機ノ看破ハ敵狀及左右ノ狀態ヲ顧慮シ連繫アル後退ヲ要ス、既ニ右監視部隊後退スルヤ其離脫ヲ支援シ敵二軒屋ヲ過クル頃中隊及四中隊ニ後退ノ通告ヲ爲シ先ツ輕機ヲ次テ小銃分隊ノ順序ニ水無川ニ沿ヒ後退ス、長ハ後尾ヨリ敵ノ前進方向、隊勢等ヲ偵知シツツ中隊ノ射擊ヲ妨害セサル如ク笠松臺北方ニ後退シ速ニ大松高地ニ在ル中隊長ノ許ニ至リ爾後ノ指示ヲ受ク
			50分間

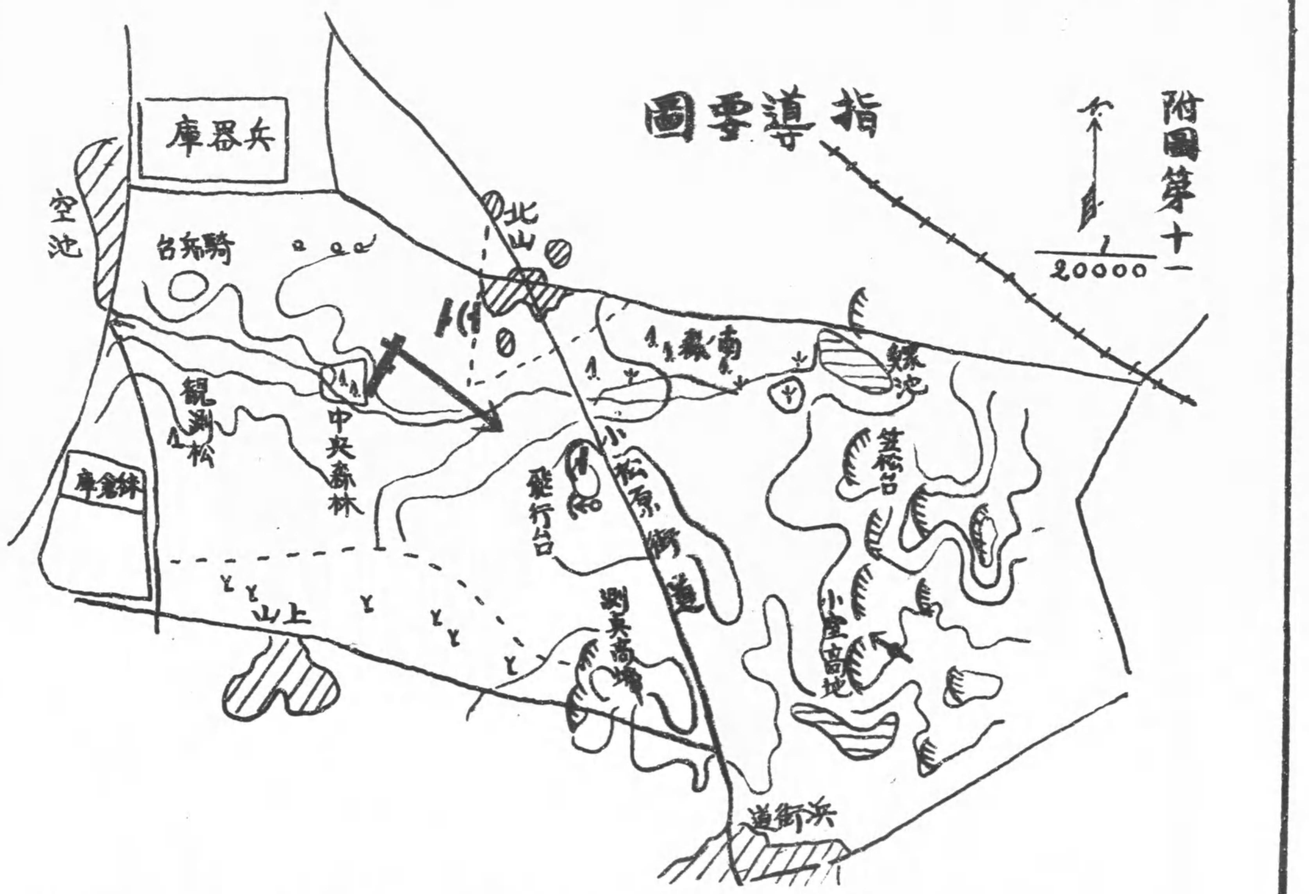
後退ノ動作	一、後退時期ノ看破	敵ハ續ヲ攻撃前進シ右監視部隊ハ敵一分隊ノ攻撃ヲ受ケ逐次南ノ森方向ニ退却ス
	二、後退前ノ動作	
	三、後退ノ順序	
	四、後退中ノ動作	後退時期及後退ノ區署等ハ一時狀況ヲ中止シテ敎育シ、原案ノ如ク實施セシメ要スレハ復行セシメテ要領ヲ會得セシム
	五、後退後ノ動作	
		主陣地既ニ戰鬪準備ヲ完了セハ近接妨害ノ任務ヲ有スル小部隊徒ニ永ク留リテ離脫ノ機ヲ失ヒ決戰ヲ誘發スルハ戒メサルヘカラス、後退時機ノ看破ハ敵狀及左右ノ狀態ヲ顧慮シ連繫アル後退ヲ要ス、既ニ右監視部隊後退スルヤ其離脫ヲ支援シ敵二軒屋ヲ過クル頃中隊及四中隊ニ後退ノ通告ヲ爲シ先ツ輕機ヲ次テ小銃分隊ノ順序ニ水無川ニ沿ヒ後退ス、長ハ後尾ヨリ敵ノ前進方向、隊勢等ヲ偵知シツツ中隊ノ射撃ヲ妨害セサル如ク笠松臺北方ニ後退シ速ニ大松高地ニ在ル中隊長ノ許ニ至リ爾後ノ指示ヲ受ク
		50分間

ナル價値ヲ發揮ス

附圖第十一

指導要圖

1/20000



監視部隊ト中隊間ノ連絡記号

赤旗ト白旗トヲ交又ス	起信
赤旗ヲ左右ニ振ル	警戒部隊引揚ノ
白旗ヲ左右ニ振ル	敵ノ斥候顯出ス
赤旗ト白旗トヲ左右ニ振ル	敵ノ部隊近接ス

輕機關銃分隊防禦戰鬪指導計畫

立案ノ基礎

一、本計畫ハ分隊長ニ對シ目標ノ景況ニ應シ別項主要演練事項ヲ敎育訓練スルヲ以テ目的トス

一、分隊長敎育ヲ主トスルモ射手ノ動作ハ勿論分隊內ノ一員トシテ各彈藥手ノ動作モ決シテ之ヲ等閑ニ附セス

主要演練事項

一、射法ノ撰定

二、分隊長ノ射擊指揮

實施時間

一時間三十分

敎令

一、敵ハ帽ニ白帶ヲ付シタル實員及連接幕的及標旗ヲ以テ示ス

二、彈著ノ景況ハ石灰ヲ以テ示ス

三、友軍標示ハ工事幕的ヲ以テ示ス

演習部隊ニ關スル指示事項

人員　分隊長一名　卒七名

服裝　軍裝

集合　午後一時　笠松台

彈藥　空砲百五十發（彈匣二個ニ挿入）

携行品　操典　射擊敎範

假設敵ニ關スル指示事項

人員　假設敵司令一名　卒八名

服裝　軍裝ニシテ背嚢ヲ除ク

集合　正午　飛行台

携行品　五人連接幕的三、LG標旗二、起伏的二、赤白旗一、石灰若干

戰況

一、小隊正面ノ敵ハ目下中央森林及飛行臺西側凹地附近ニ近接ス

二、笠松臺、大松高地、小室高地一帶ニ陣地ヲ占領セル大隊ノ右第一線タル第一中隊ハ笠松臺及大松高地ニ陣地ヲ占領ス小隊ハ中隊ノ右支點トナリ南森ノ南端ヨリ飛行台ヲ經テアノ地隙ニ互リ（現地指示）射擊スル如ク此台ニ陣地ヲ占領ス各分隊ノ關係位置見ルカ如シ（要圖參照）

三、當分隊ハ第六分隊　陣地占領ニ方リ小隊長ヨリ受ケタル任務左ノ如シ

第六分隊ハ鰥池西方小松叢及南森ノ各南端特ニ其突角ヲ射擊シ得ル如ク尙敵カ陣地直前ニ來リシトキ第一分隊ノ前面ヲ側防シ得ル如ク此地點ニ陣地ヲ占領スヘシ

尙同一目的ノ爲第二分隊ノ左翼ニ豫備陣地ヲ構築スヘシ

四、分隊ハ右ノ任務ニ基キ概ネ左ノ如キ强度ノ陣地ヲ構築ス

1. 分隊ハ概ネ立射用散兵壕ヲ構築シ終レリ
2. 鰥池西南側ハ若干射界ノ清掃ヲナス
3. 標定設備ハ完成ス
4. 交通設備ハ完全ナラス

順序

第一

著眼點	指導要領	原案
一、戰鬪ノ諸準備 敵兵未タ現出セサル間ノ動作	一、演習開始ニ先チ各分隊ノ陣地ヲ工事幕的ヲ以テ標示セシメ一般ノ情況及分隊ノ任務ヲ告知シ射擊開始前ノ諸準備ヲ整ヘシム 諸準備概ネ完了セルトキ左ノ命令ヲ下ス 第六分隊ハ南森ノ南ノ突端附近ニ注意シ有利ナル目標ヲ發見セハ直ニ射擊ヲ開始スヘシ	一、諸準備 1. 分隊ノ射擊區域ヲ射手及彈藥手ニ指示シテ誤解ナカラシム 2. 前地ノ地形ヲ解說シ主要地點ノ距離ヲ測定ス 3. 要點ニ簡單ナル名稱ヲ附ス（步操二三六） 分隊長ハ右準備終レハ第四彈藥手ト共ニ自ラ敵狀ヲ監視シ豫メ測定セル距離ニ基キ照尺六百ヲ裝セシメ他ノ彈藥手ハ努メテ遮蔽セシム（步操二三七）
二、機ヲ失セス射擊スルヤ 射擊方法適切ナリヤ	二、飛行台ニ在リシ監視部隊ハ敵ノ攻擊ヲ受ケ逐次撤退セル情況ヲ與フ且斥候ノ報告ニ依リ中央森林附近ニハ約一中隊前進セル情況ヲ知ル次テ（B）點附近ニ敵機關銃ヲ陣地進入セシム 分隊長及射手最初試射ヲナス著意ナク無謀ニ射擊ヲナス時ハ彈著ノ景況ヲ著シク惡ク表示シ其反省ヲ促ス（石灰ヲ以テ示ス）	二、分隊長ハ射手ヲ銃坐ニ就カシメ引續キ敵情ニ注意ス 敵ノMG陣地進入中ナルヲ見ルヤ（直チニ森ノ突角ノ重機連續射テ）ト令ス 射手ハ先ツ數發ノ試射ヲナシ分隊長之カ射彈ヲ觀測シ直チニ射手ニ告知シ射手ハ引續キ（要ス

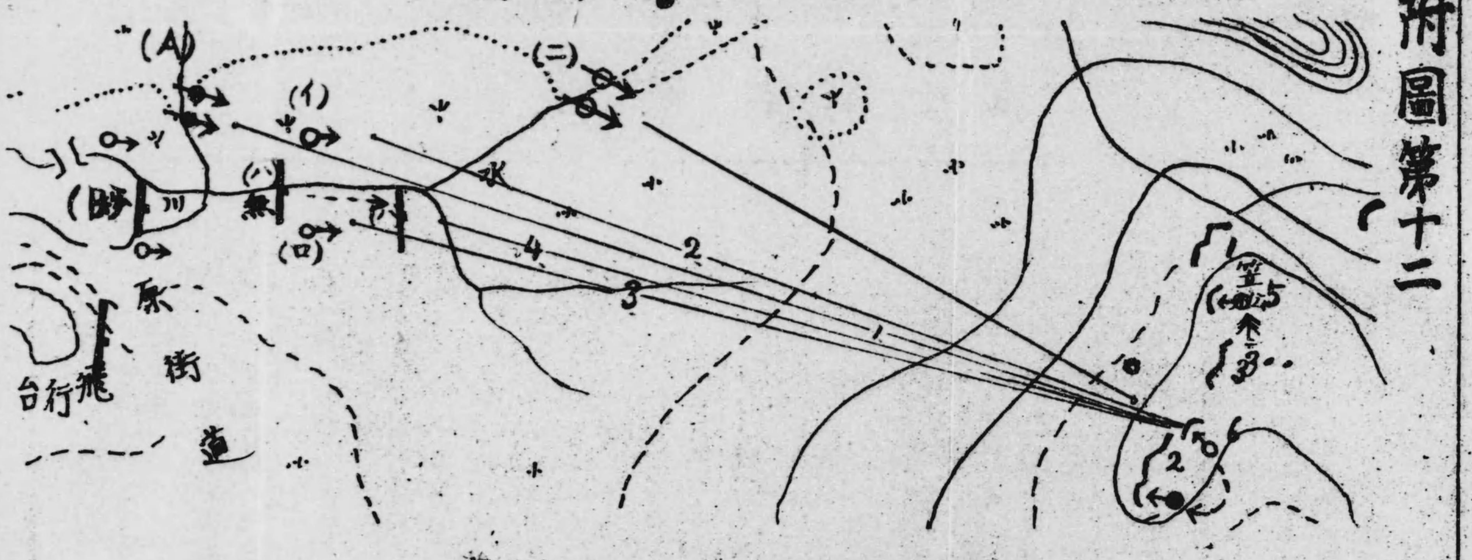
附圖第十二

一		次		40分間
射撃方法適切ナリヤ	林附近ニハ約一中隊前進セル情況ヲ知ル次テ(B)點附近ニ敵機關銃ヲ陣地進入セシム 分隊長及射手最初試射ヲナス著意ナク無謀ニ射撃ヲナス時ハ彈著ノ景況ヲ著シク惡ク表示シ其反省ヲ促ス(石灰ヲ以テ示ス)	三、目標變換ノ動作機敏ナリヤ	三、(A)ノ敵ヲ射撃中(B)ニ要圖ノ如ク敵ヲ現出ス (A)ノ敵ヲ林内ニ姿ヲ沒セシム	
		四、陣地變換ノ動作及此時機ニ於ケル火力ノ指向適當ナリヤ	四、(イ)ノ敵ハ故障ノタメ射撃セサル狀況ヲ與ヘ其他ノ敵ヲ一進一止射撃ヲナス 分隊長以下益々沈著シテ戰鬪ヲ從事スルヤ 此時機ニ於テ特ニ第五分隊ト協力シ其射撃ヲシテ遺憾ナカラシムルヲ要ス 分隊(ハ)ニ向ヒ射撃中(ニ)ノ敵ヨリ猛射ヲ受ケ第四彈藥手負傷ス	

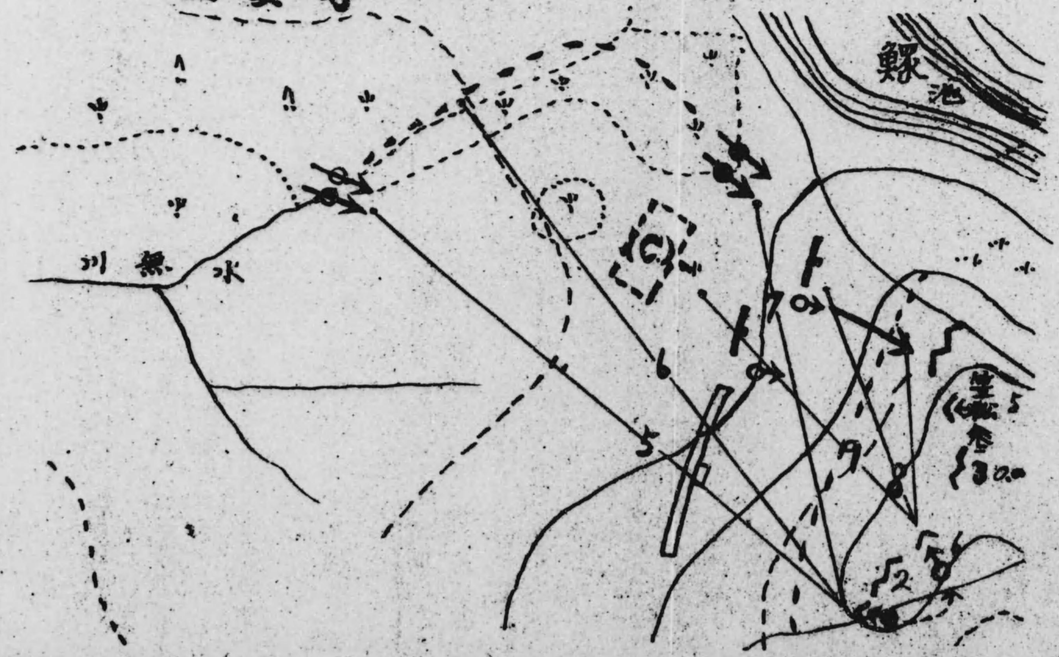
第		二		次		50分間
五、勉メテ遮蔽シテ進入シ不意ニ射撃スルノ著意アリヤ	五、第六分隊陣地變換後暴露シテ射撃セントスレハ再ヒ猛射ノ狀況ヲ與ヘ其反省ヲ促シ充分遮蔽シテ進入セハ(ニ)ニ向ヒ射撃セシム	五、分隊長ハ一度後方ニ退キ凹地ヲ利用シテ速カニ豫備陣地ニ就キ(ニ)ヲ射撃ス (ニ)ノ敵前進スルヲ見ハ直ニ之ニ連續點射ヲ爲ス此場合ノ要領原案第二ノ如シ(歩操二四三)	五、			
六、分隊長以下益々沈著シテ火力ヲ最高度ニ發揚スルノ著意アリヤ	六、攻者ハ勇敢ニ攻撃シ愈々敵ニ近接シ特ニ稍突出セル第一分隊正面ハ將ニ敵兵突入セントスル情況ヲ示ス	六、此時ニ於ケル防者就中輕機分隊ハ益々沈著シテ火力ヲ最高度ニ發揚スヘキ時ナリ即チ分隊ハ其任務ニ從ヒ第一分隊正面ノ敵ヲ側射ス	六、			
七、我逆襲ニ協力スル動作	七、我ノ猛烈ナル射撃ニ依リ敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘタルモ敵ハ援隊ヲ增加シ再三再四ノ突撃ヲ以テシ第一分隊ノ奪戰モ其効ナク遂ニ其陣地ヲ奪取セラル	七、分隊長ハ各彈藥手ニ正面ニ對シ小銃射撃ヲ命シ第一分隊ノ陣地ニ來レル敵ニ對シ猛烈ナル射撃ヲナス 此時ニ於ケル射撃ハ徹薙射(歩操二四四)	七、			
八、最後迄其位置ニ在リテ死守スルノ熱意アリヤ	八、第三小隊ヨリ配屬ノ輕機モ亦之ニ向ヒ射撃中援隊タル第四分隊ヨリ敵兵二三十名逆襲ニ轉ス 此時(C)附近ヨリ敵ノ前進中ナルヲ見ル之ニ對スル第六分隊ノ動作ヲ檢シタル後縱ヒ防者ト雖モ斯ノ如ク射撃ト逆襲ニ依リ勇敢ナル攻者ヲ敗滅シ得ルコトヲ肝銘セシメ且操典第二百四十四ノ主旨ヲ徹底セシメ演習ヲ終ル	八、突入セル敵ニ對シテハ各方面ヨリ射撃セル情況ヲ見ルヤ分隊長ハ直チニ其後方ヨリ戰果ヲ擴張セントスル敵ヲ求メテ之ニ猛射シ以テ敵ノ企圖ヲ一擧ニ挫折ス(歩操二四四)	八、			

附圖第十二

第一次指導要圖



第二次指導要圖



50分間	次	
		七、我逆襲ニ協力スル動作
	八、最後迄其位置ニ在リテ死守スルノ熱意アリヤ	

大ノ增害ヲ與ヘタルモ敵ハ援ヲ增加シ再三再四ノ突撃ヲ以テシ第一分隊ノ奮戰モ其効ナク遂ニ其陣地ヲ奪取セラル

八、第三小隊ヨリ配屬ノ輕機モ亦之ニ向ヒ射撃中援隊タル第四分隊逆襲ニ轉ス

此時(C)附近ヨリ敵兵二三十名前進中ナルヲ見ル之ニ對スル第六分隊ノ動作ヲ檢シタル後縱ヒ防者ト雖モ斯ノ如ク射撃ト逆襲ニ依リ勇敢ナル攻者ヲ敗滅シ得ルコトヲ肝銘セシメ且操典第二百四十四ノ主旨ヲ徹底セシメ演習ヲ終ル、

七、分隊長ハ各彈藥手ニ正面ニ對シ小銃射撃ヲ命シ第一分隊ノ陣地ニ來レル敵ニ對シ猛烈ナル射撃ヲナス

此時ニ於ケル射撃ハ徹薙射(歩操二四四)

八、突入セル敵ニ對シテハ各方面ヨリ射撃セル情況ヲ見ルヤ分隊長ハ直チニ其後方ヨリ戰果ヲ擴張セントスル敵ヲ求メテ之ニ猛射シ以テ敵ノ企圖ヲ一擧ニ挫折ス(歩操二四四)

側射ス

昭和四年五月七日印刷
昭和四年六月廿日發行

〔定價金壹圓〕
送料八錢

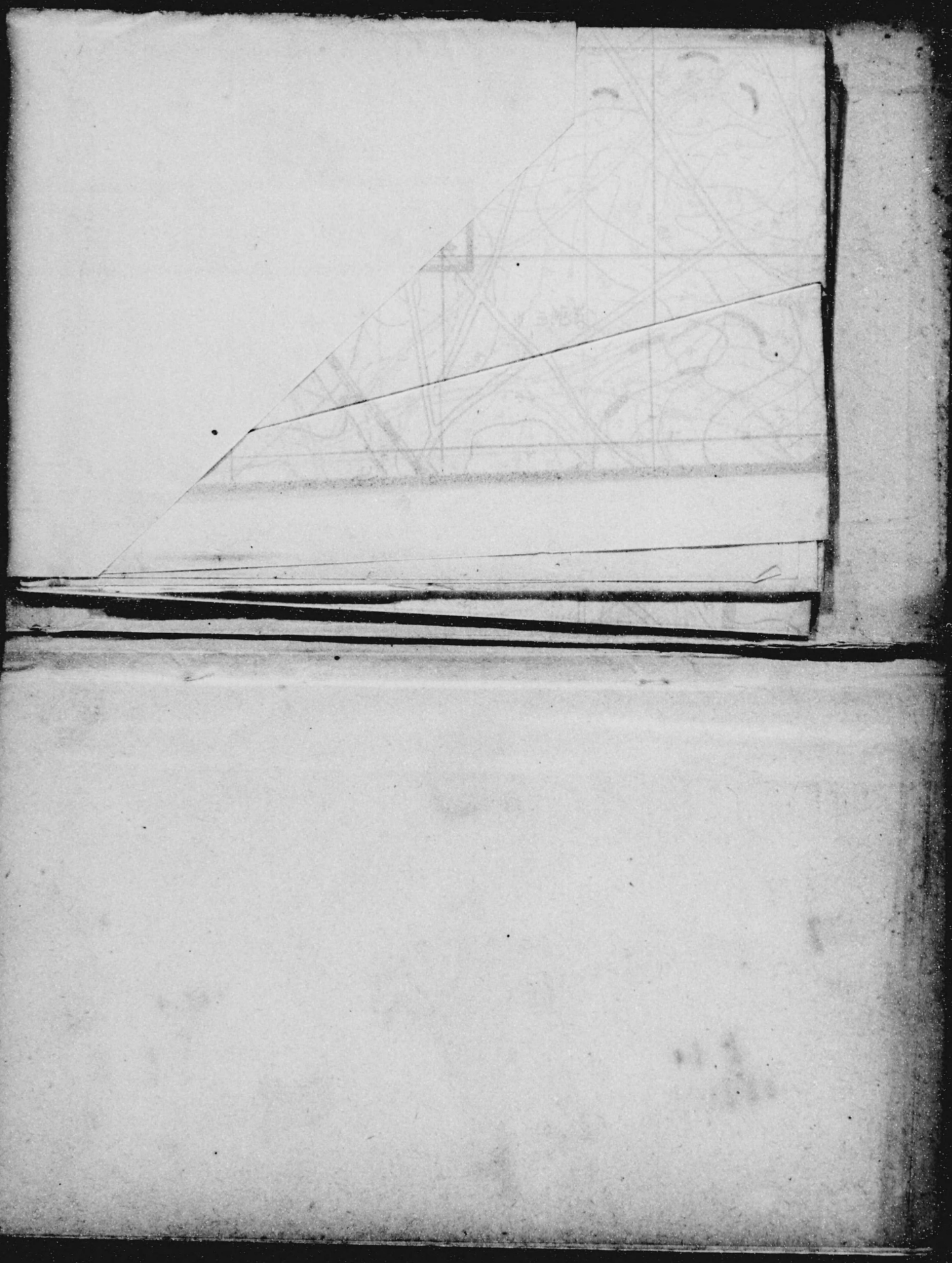
豐橋市東田町西脇九十七番地
著作者　榎本宮

豐橋市紺屋町十三番地
發行兼印刷人　竹下精二

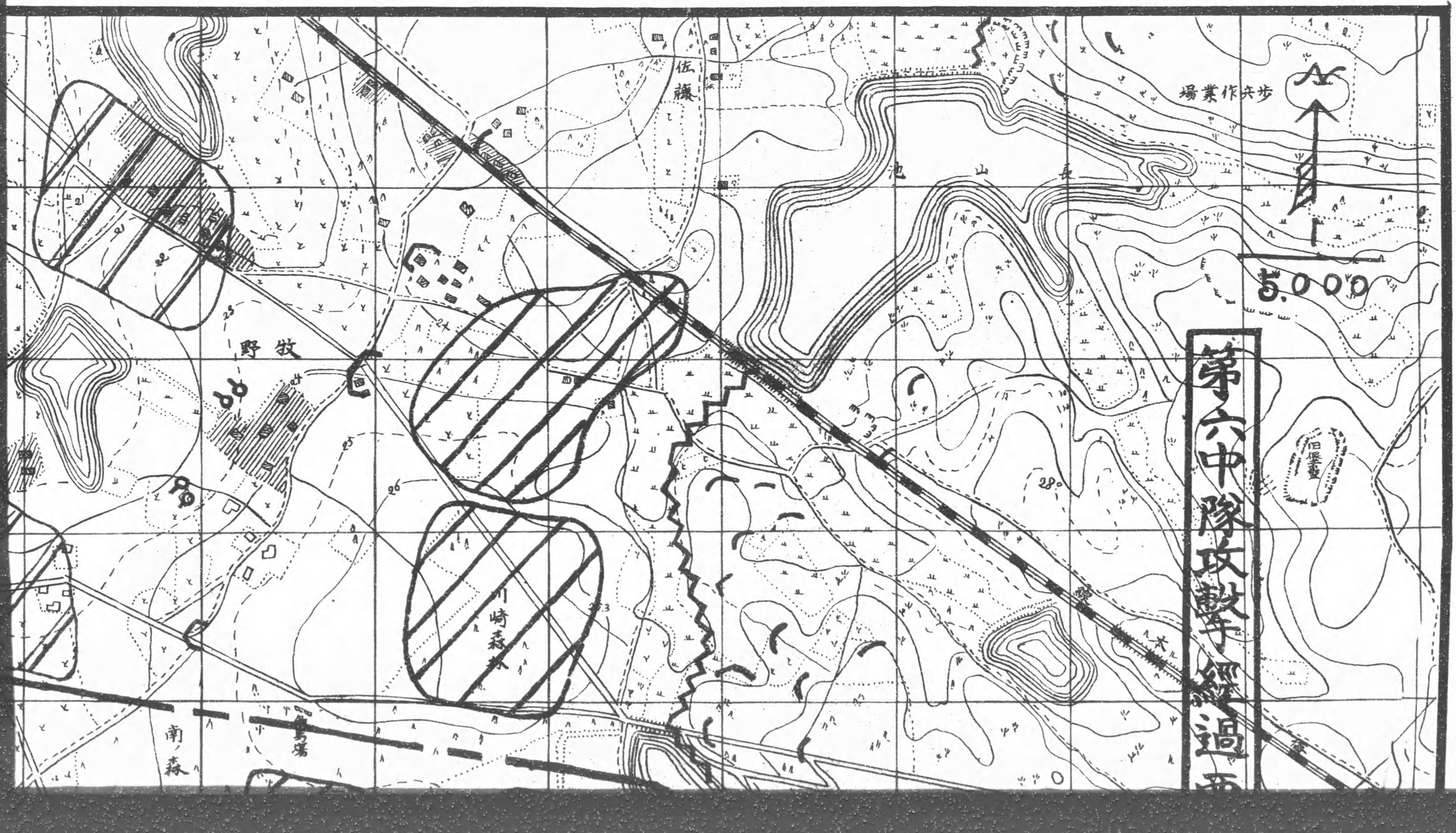
豐橋市紺屋町十三番地
印刷所　豐文堂印刷部

豐橋市紺屋町十三番地
發行所　豐文堂出版部
振替（名古屋一〇二〇五番
口座（東京三九五九八番
電話乙七五六番

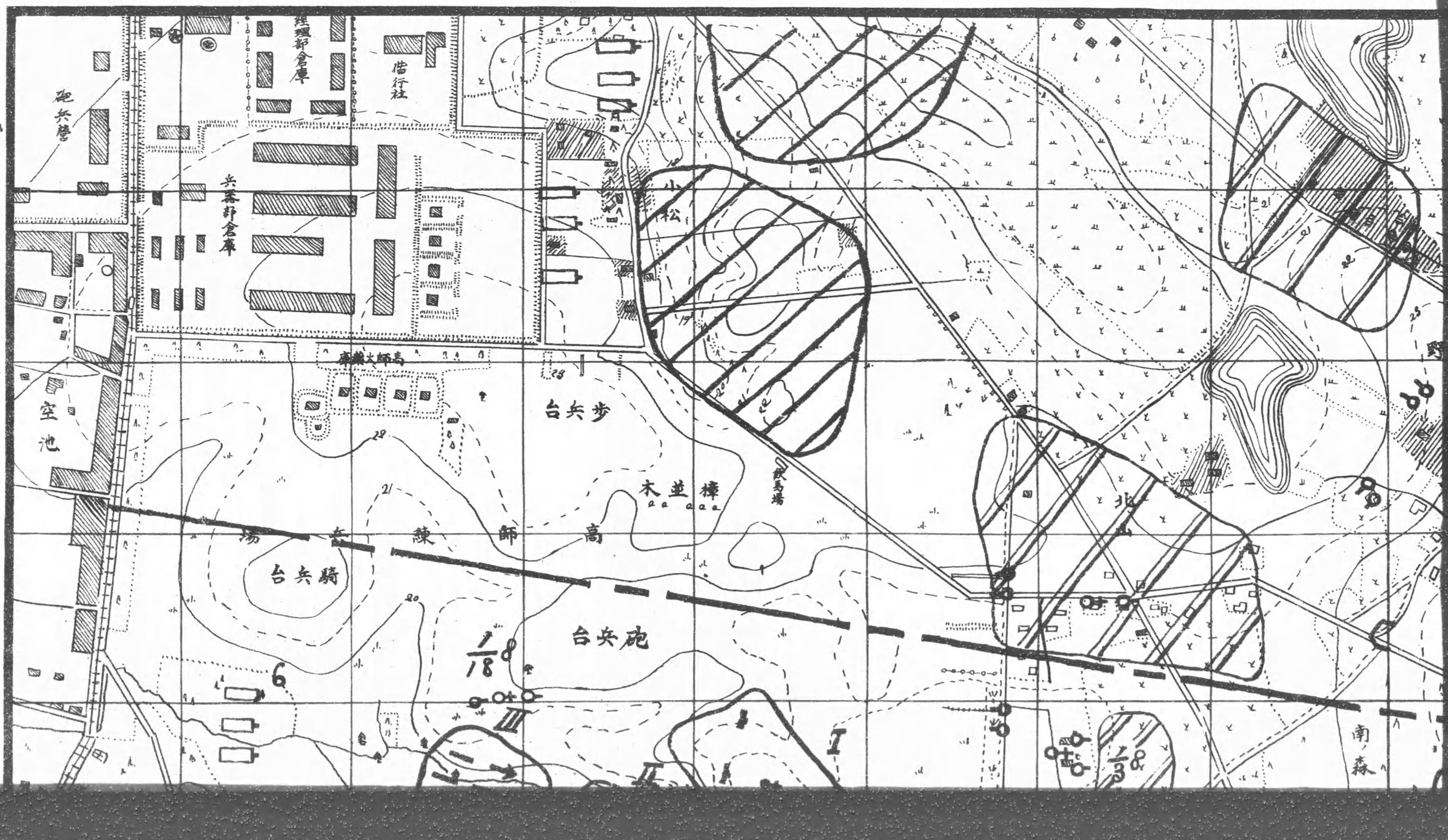
◎大取次　東京　武揚堂
同　京都　小林又七支店



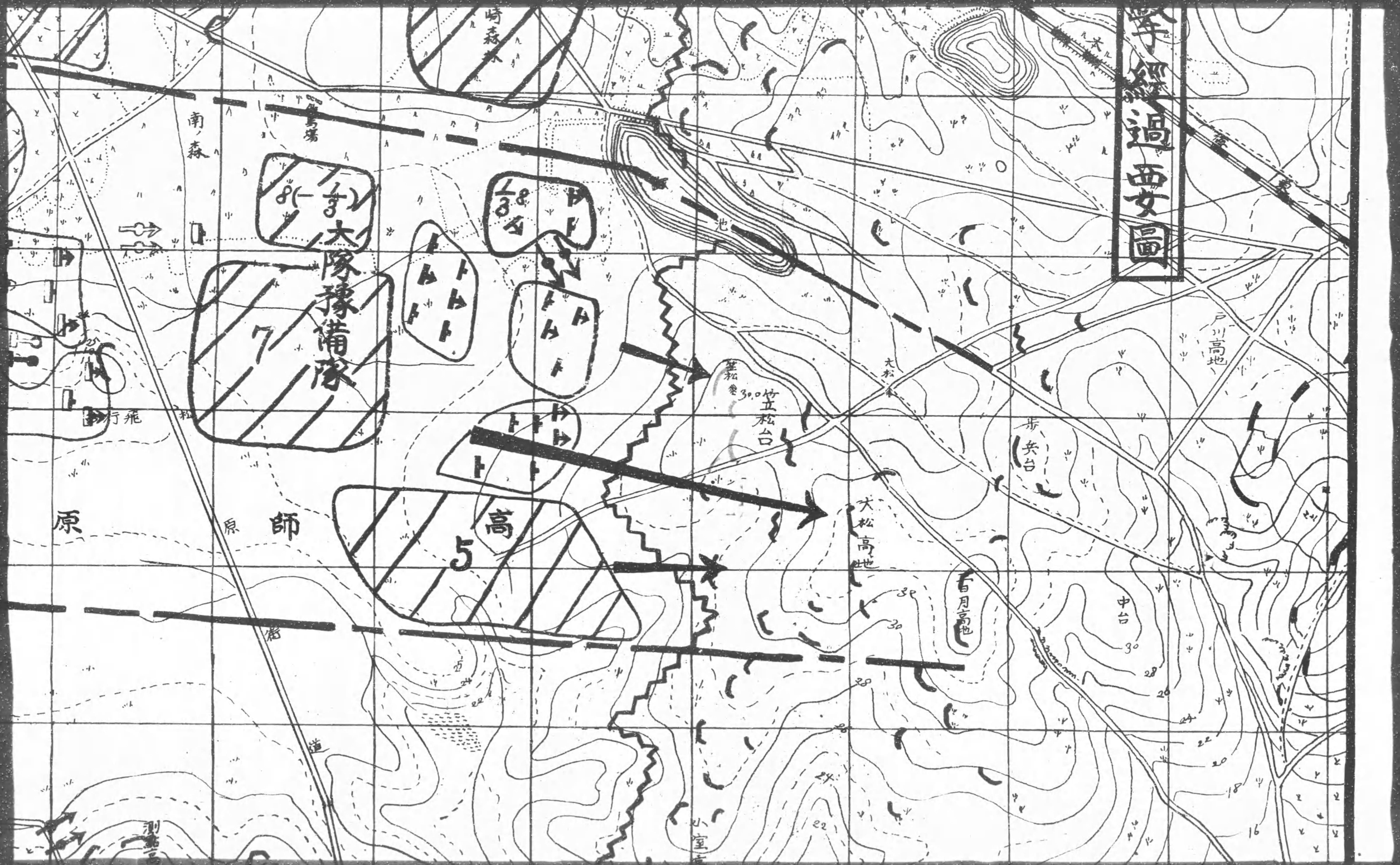
高師



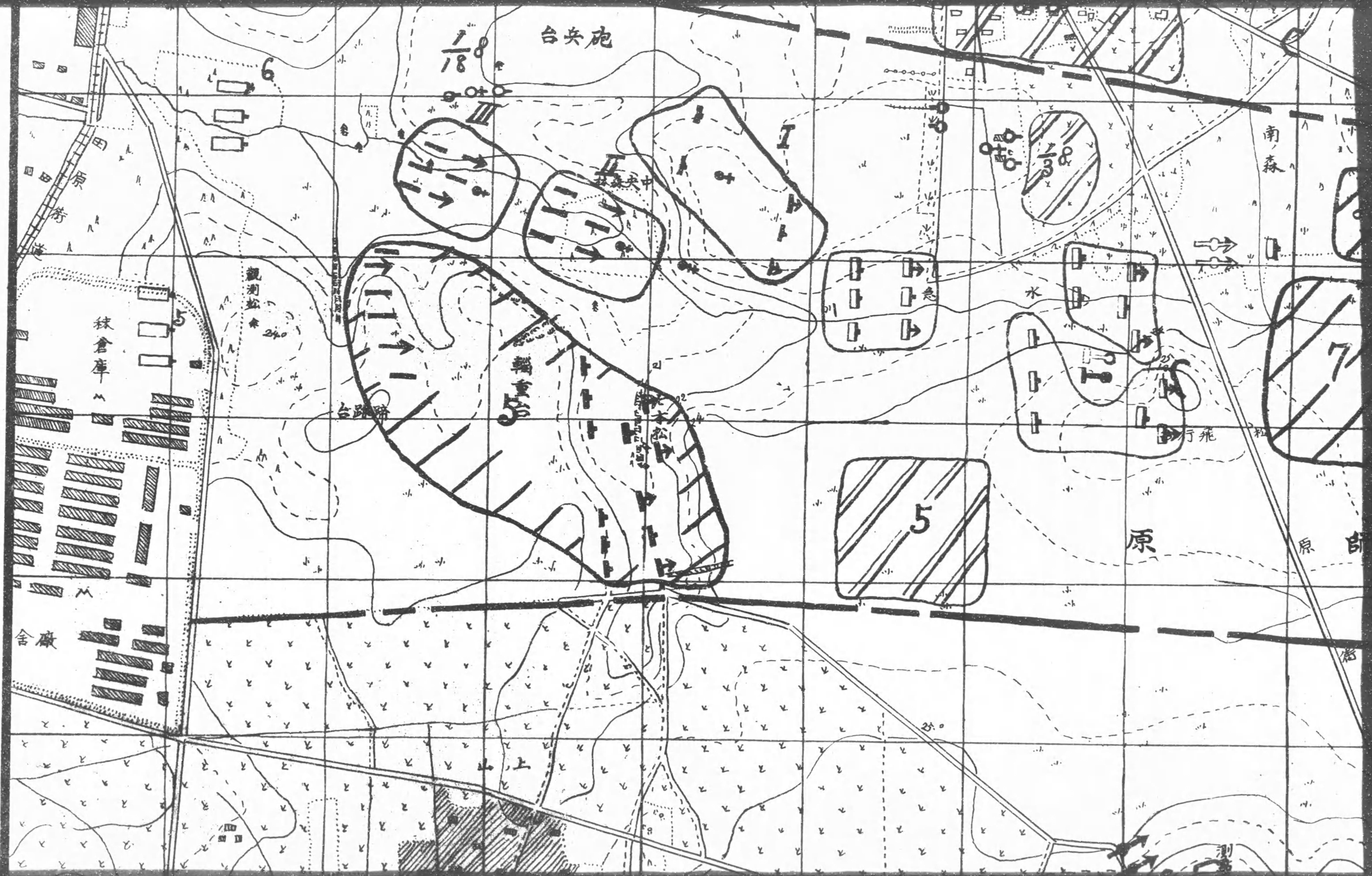
師原

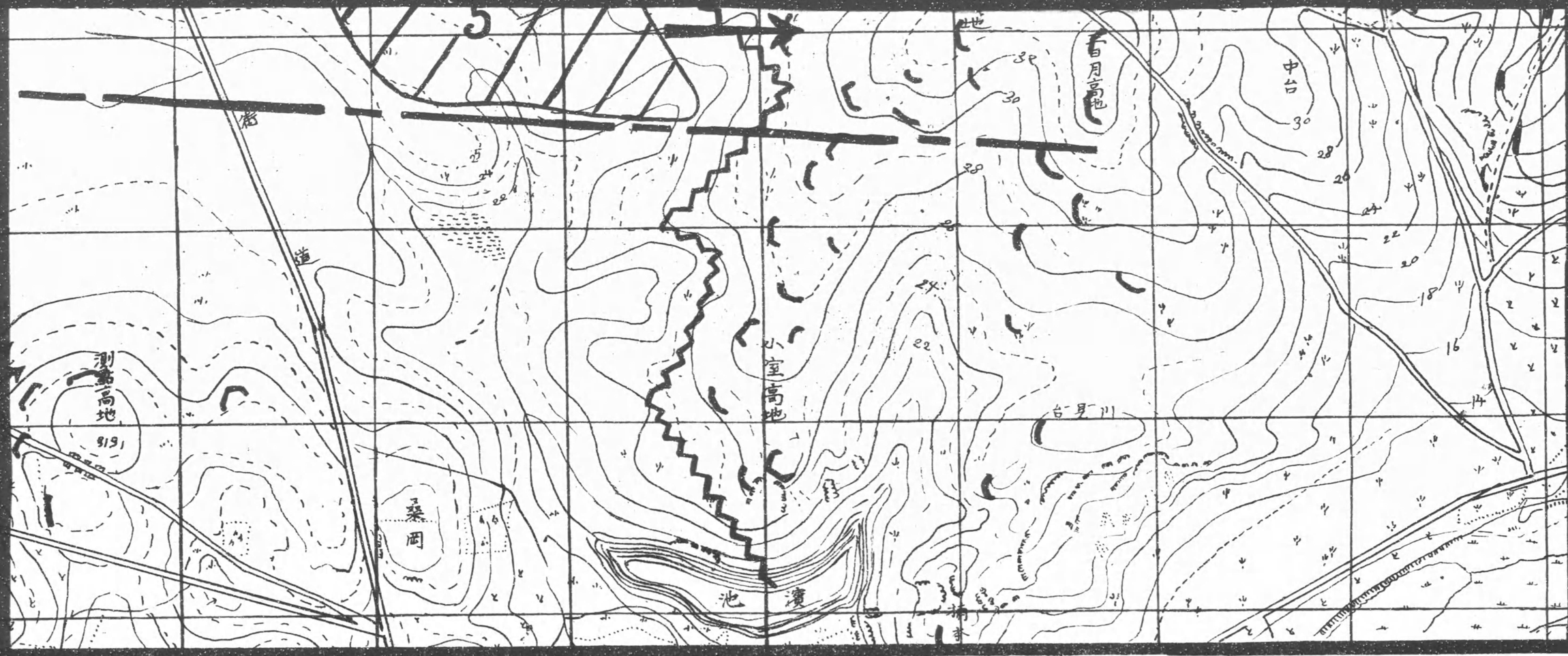


備考 一、方眼八二百米方眼トス

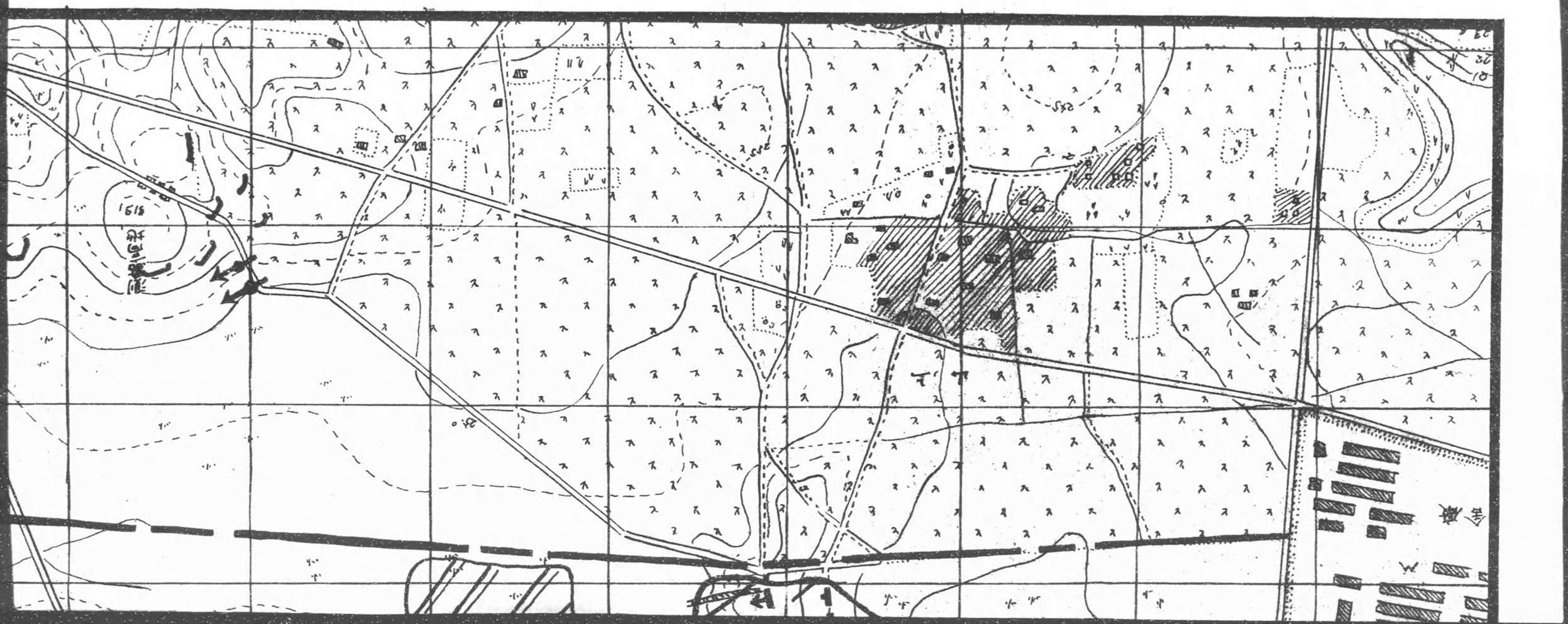


擊經過要圖
崎森林
南ノ森
大隊豫備隊
7
5
高
師
原
飛行
笠松台
大松高地
百月高地
中台
兵台
戸川高地

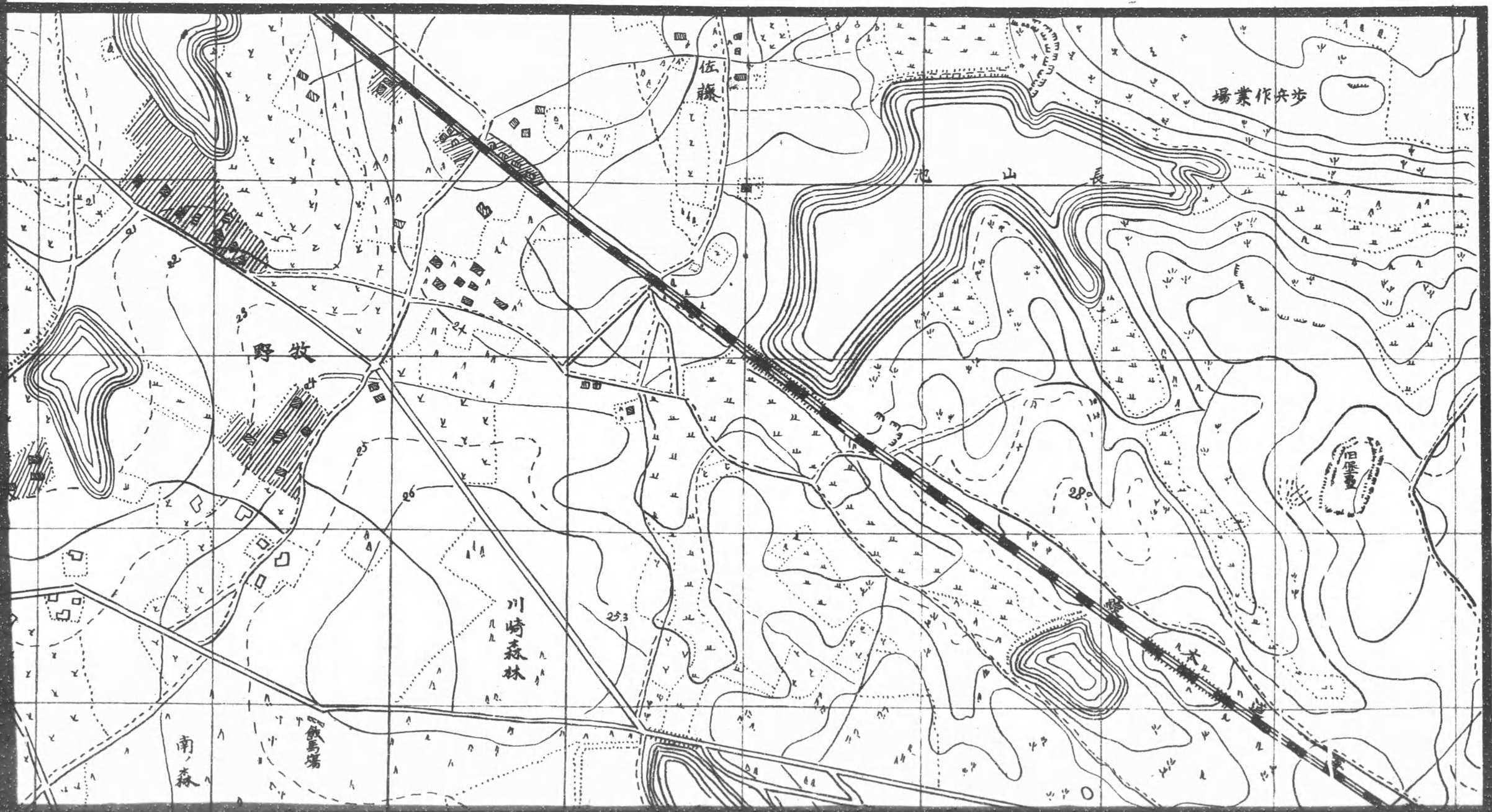

砲兵台
南森
中央森林
急
水
飛行
原
原
舎廠
上山



中台
小室高地
桑岡

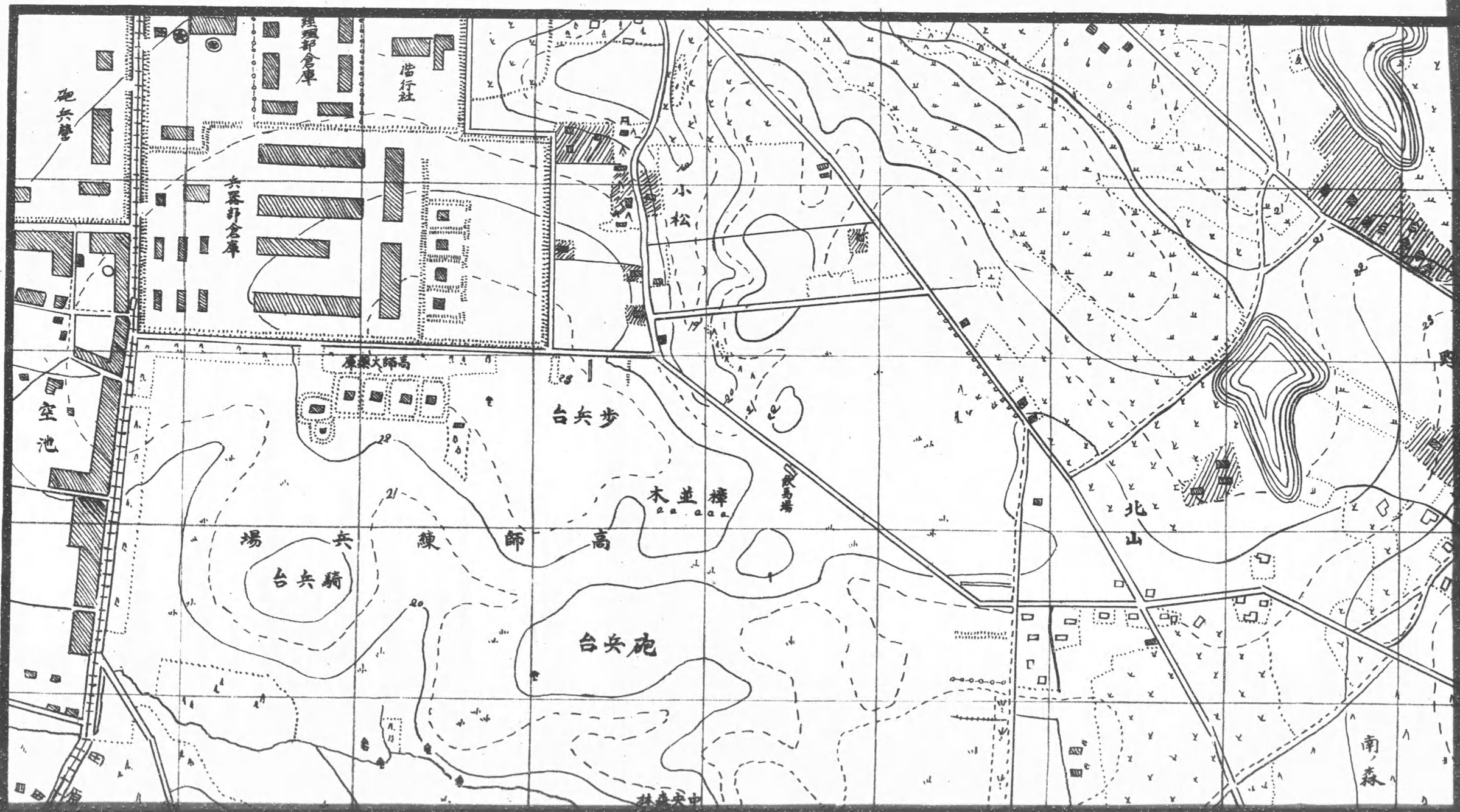


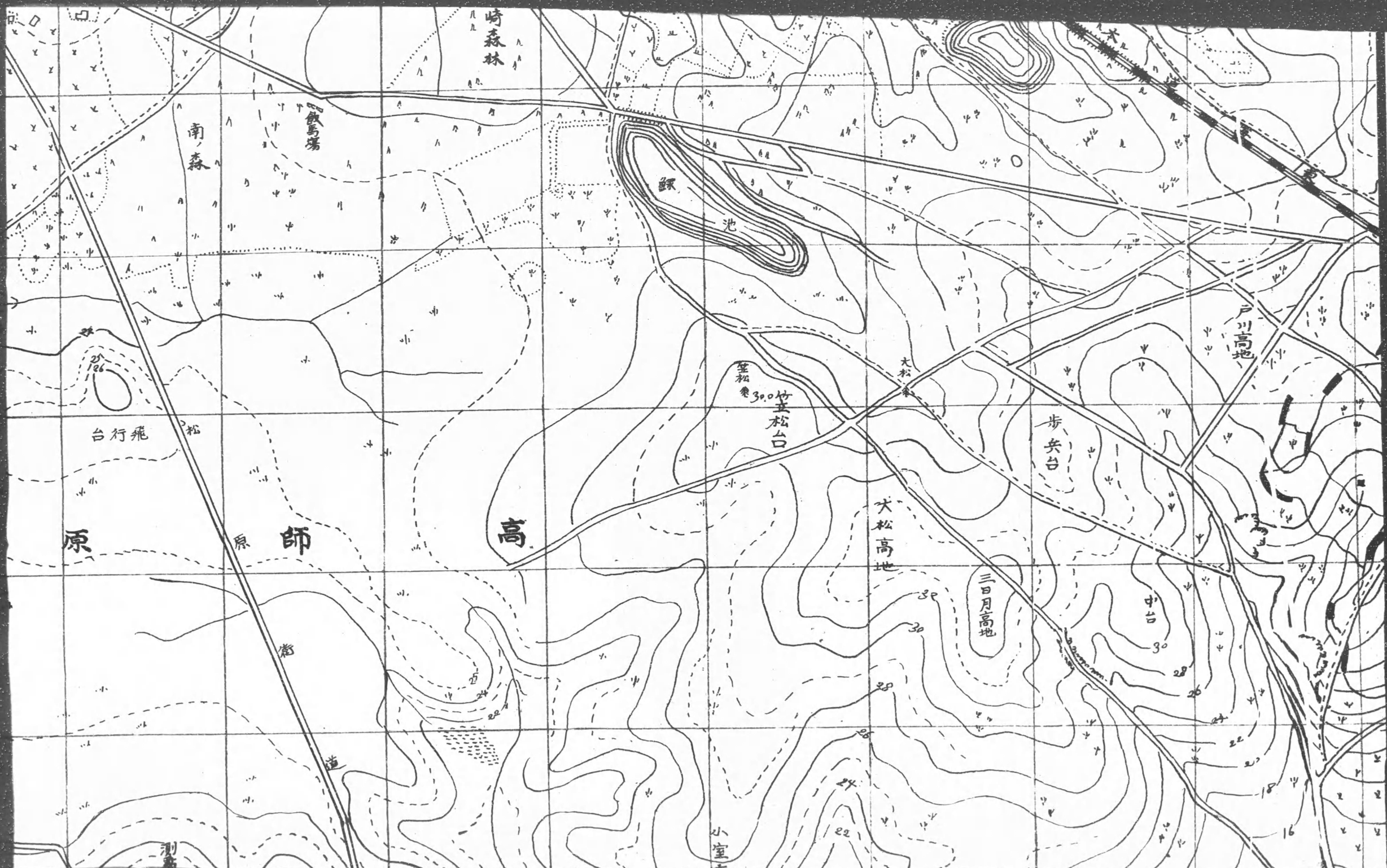
高師



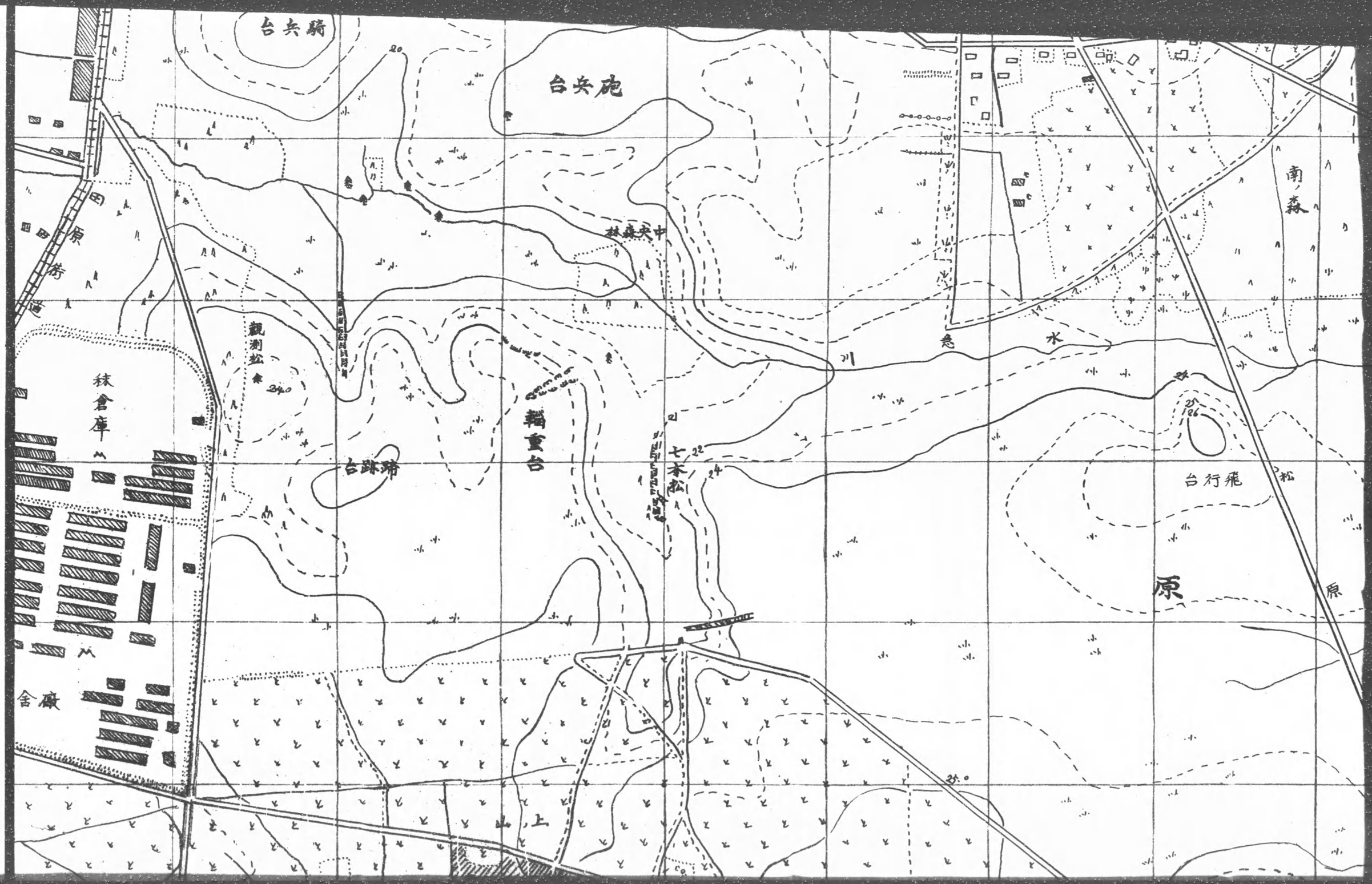
師原

備考 一方眼ハ二百米方眼トス

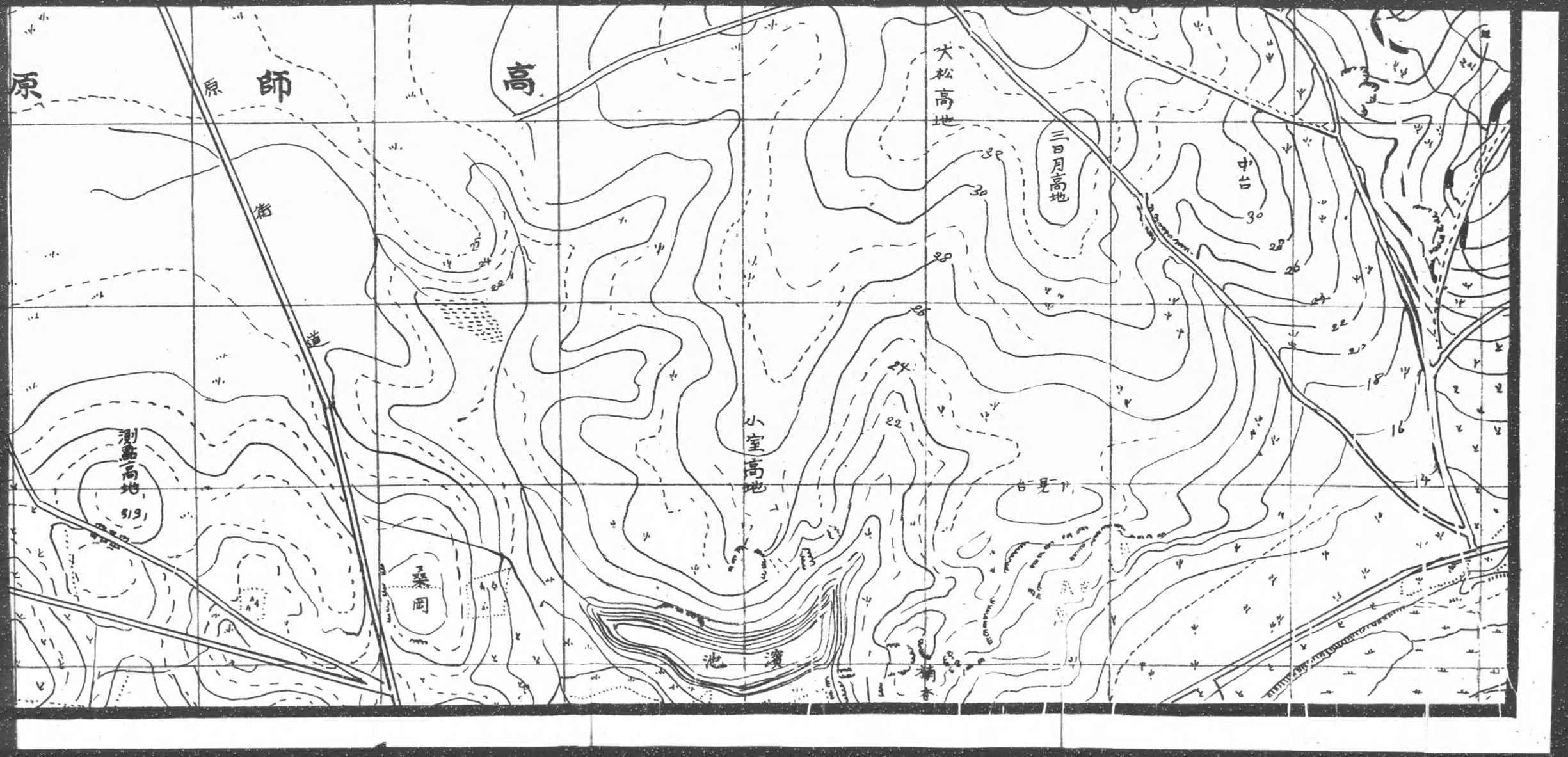


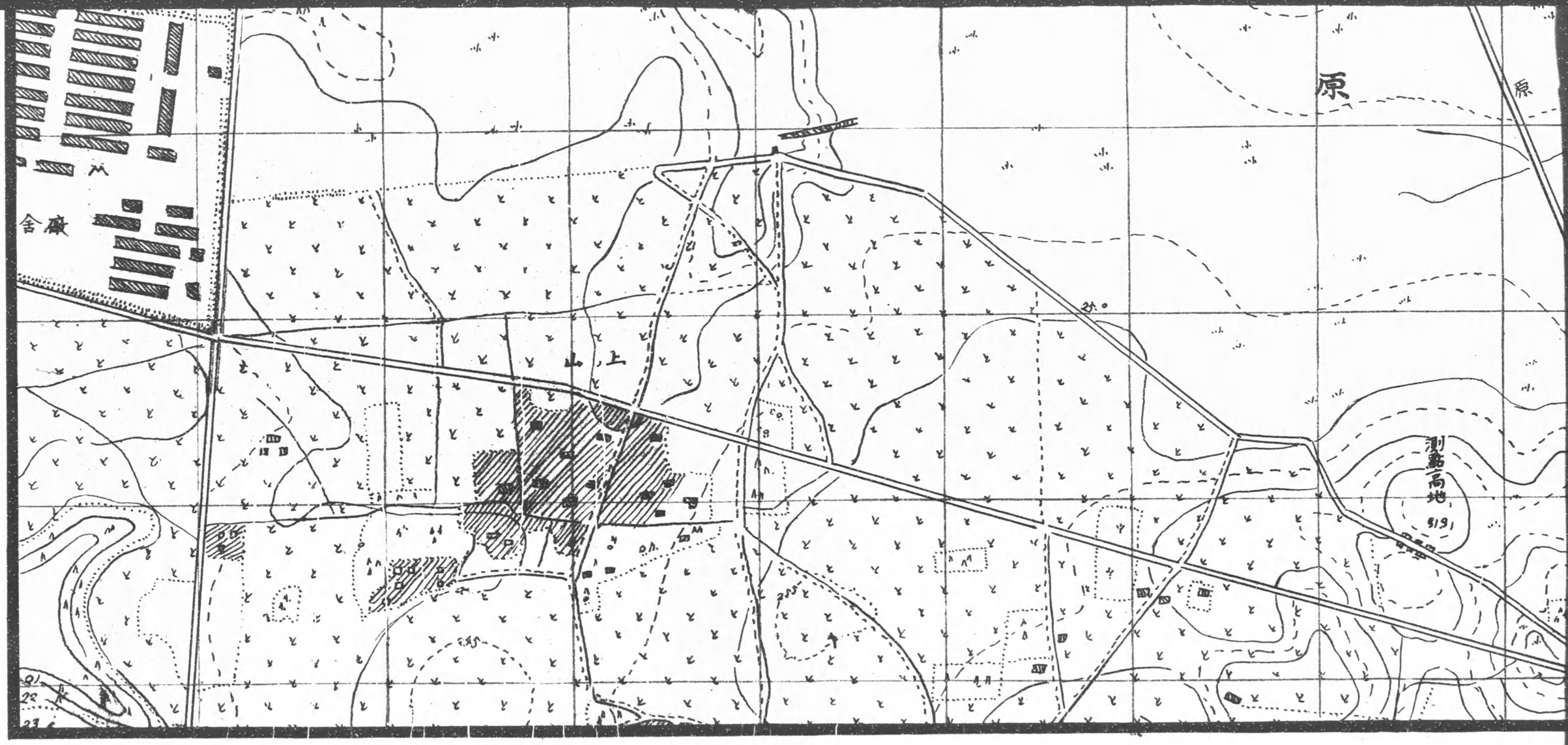


崎森林
南ノ森
飯馬場
鰥池
戸川高地
笠松台
大松
歩兵台
大松高地
三日月高地
中台
飛行台
松
原
師
高
衛
道
小室



騎兵台
砲兵台
中央森林
南森
水急川
觀測松
240
稼倉庫
輜重台
跡台
七本松
飛行台
松
原
原
舍廠
上山


原
師
高
大松高地
三日月高地
中台
小室高地
測點高地
桑岡
濱池


原
原
舍廠
上山
測點高地
319